



AX-Edge

パラメーター・ガイド



AX-Edge エディター

AX-Edge のトーン・パラメーターをエディットするには、スマートフォン・アプリ **「AX-Edge エディター」** を使用します。
アプリは、iOS 製品をお持ちの場合は App Store から、Android 製品をお持ちの場合は Google Play からダウンロードできます。

AX-Edge エディターは AX-Edge のシステム・パラメーターを除くすべてのパラメーターをエディットすることができます。

ショートカット一覧

「[A] + [B]」は、「[A] ボタンを押しながら、[B] ボタンを押す」という操作を表します。

ショートカット	説明
Value [-] + [+]	片方のボタンを押しながら、もう一方のボタンを押すと値が早く変わります。
[SHIFT] + Value [-] [+]	トップ画面では、プログラムのカテゴリーをジャンプします。 パラメーター変更画面では値を 10 ずつ変更します。
[SHIFT] + ARPEGGIO [ON]	Arpeggio Edit 画面にジャンプします。
[SHIFT] + Octave [-] [+]	鍵盤のキーを半音単位で上げ／下げします。
[SHIFT] + Favorite [Bank]	Battery Info の画面が表示されます。
[SHIFT] + [◀] [▶]	各パラメーターの分類 (COMMON や SWITCH など) をジャンプします。

名前入力画面のショートカット

ショートカット	説明
[SHIFT] + Value [-] [+]	小文字、大文字、数字を順番に切り替えます。

目次

ショートカット一覧	2
AX-Edge の構成	4
◇ AX-Edge の概要	4
◇ 音源部ブロック図	5
エフェクト	6
トーン	6
プログラム・パラメーター	7
◇ PROGRAM SOUND (プログラム・サウンド)	7
COMMON	7
SWITCH (Part1 ~ 4)	7
TONE (Part1 ~ 4)	7
PITCH (Part1 ~ 4)	8
SCALE TUNE (Part1 ~ 4)	8
MODIFY (Part1 ~ 4)	8
MFX (Part1 ~ 4)	8
MFX EDIT (Part1 ~ 4)	9
EQ (Part 1 ~ 4)	9
KEYBOARD (Part 1 ~ 4)	9
IFX	9
IFX EDIT	9
CHORUS	10
CHORUS EDIT	10
REVERB	10
REVERB EDIT	10
◇ PROGRAM CTRL (プログラム・コントロール)	10
CTRL RX (Part1 ~ 4)	10
MIDI RX (Part1 ~ 4)	10
MIDI OUT (Part1 ~ 4)	11
CTRL BUTTON (コントロール・ボタン)	11
CTRL KNOB (コントロールつまみ)	11
CTRL PEDAL (コントロール・ペダル)	12
CTRL RIBBON (コントロール・リボン・コントローラー)	12
CTRL MOD BAR (コントロール・モジュレーション・バー)	13
CTRL SRC SEL (コントロール・ソース・セレクト)	13
VOICE RESERVE (ボイス・リザーブ)	13
◇ ARPEGGIO (アルペジオ)	14
◇ VOCODER (ボコーダー)	14
SETTING	14
CRR TONE (キャリア・トーン)	14
CRR PITCH (キャリア・ピッチ)	15
CRR SCALE TUNE (キャリア・スケール・チューン)	15
CRR MODIFY (キャリア・モディファイ)	16
CRR MFX (キャリア MFX)	16
CRR MFX EDIT	16
CRR EQ (キャリア EQ)	16
CRR KEYBOARD (キャリア・キーボード)	16
CRR CTRL RX (キャリア・コントロール受信設定)	17
CRR MIDI RX (キャリア MIDI 受信設定)	17

トーン・パラメーター	18
COMMON (全体の設定)	18
SWITCH	19
MFX	19
OSC	20
KEYBOARD	21
STRUCTURE	22
PITCH	23
FILTER	24
AMP	25
LFO1 / LFO2	26
PARTIAL EQ	28
OUTPUT	28
CONTROL	28
MATRIX CONTROL	29

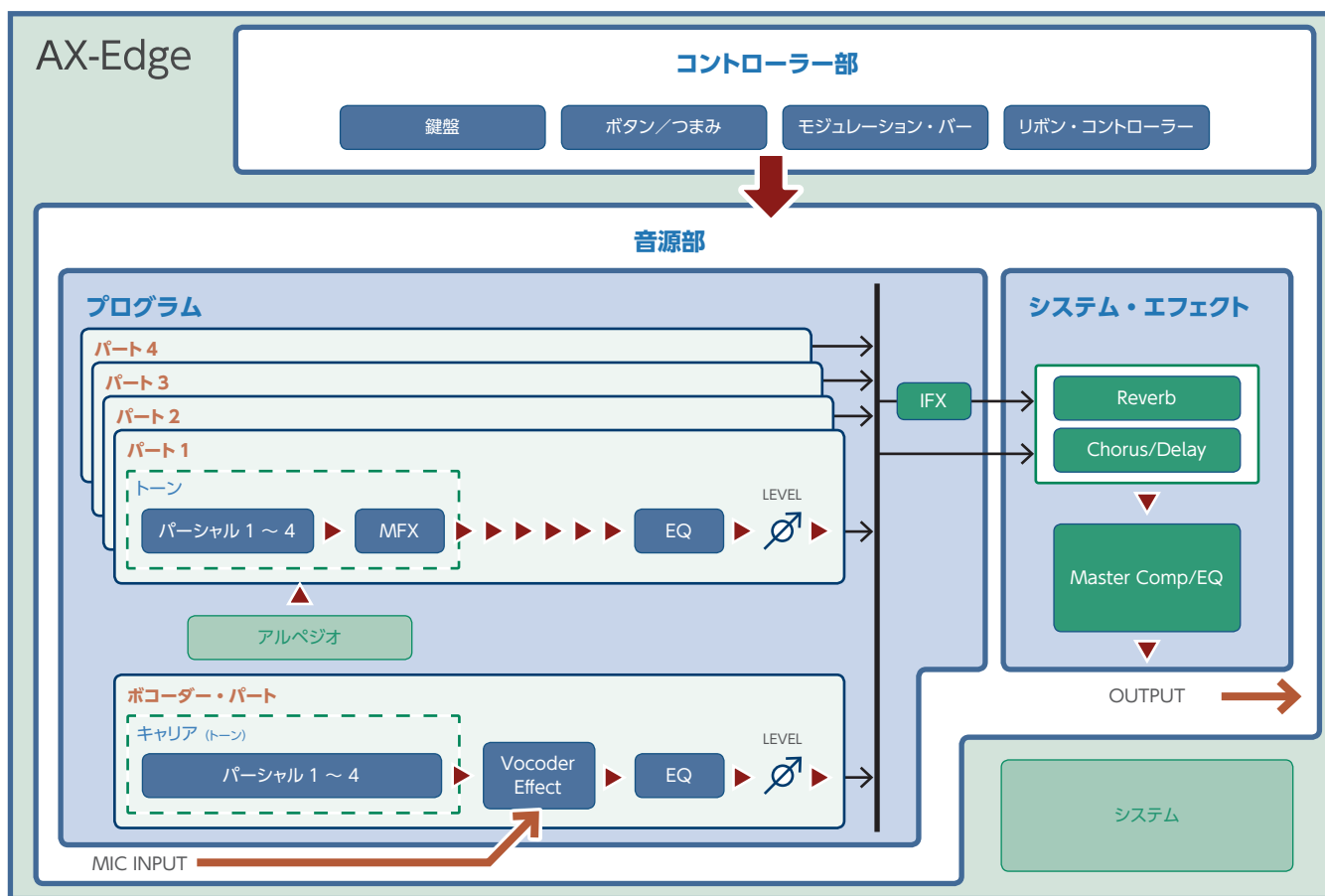
SYSTEM EFFECT パラメーター	31
◇ SYSTEM EFFECT (システム・エフェクト)	31
SYS CHORUS	31
SYS REVERB	31
MASTER COMP.	31
MASTER EQ	32
◇ コーラス・パラメーター	32
CHORUS	32
CE-1	32
SDD-320	32
DELAY	32
T-CTRL DELAY	32
DELAY → TREMOLO	33
2TAP PAN DELAY	33
3TAP PAN DELAY	33
JUNO-106 CHORUS	33
◇ リバース・パラメーター	34
INTEGRA	34
WARM HALL	34
HALL	34
GS	34
SRV2000	34
SRV2000 NONLINEAR	34
GM2 REVERB	35

システム・パラメーター	36
GENERAL	36
KEYBOARD	36
MIC	36
CTRL BUTTON	36
CTRL KNOB	37
CTRL PEDAL	37
CTRL RIBBON	38
CTRL MOD BAR	38
MIDI	39
MIDI TX	39
MIDI RX	39

MFX/IFX パラメーター	40
◇ 音符	77

AX-Edge の構成

AX-Edge の概要



コントローラー部

コントローラー部は、演奏する部分です。

鍵盤を押す/離す、モジュレーション・バーを押すなどの演奏情報を、音源部に送ります。

本機のコントローラー部には、鍵盤、モジュレーション・バー、リボン・コントローラー、パネル上のボタンやつまみが含まれます。

音源部

音源部は、音を発生させる部分です。

コントローラー部から送られてきた演奏情報を受けて、音を鳴らします。

プログラム

本機では、音を「プログラム」という単位で切り替えます。

プログラムは4つのパートとボコーダー用のパートで構成され、アルペジオやエフェクトの設定などもプログラム単位で記憶しています。

トーン

パートごとに1つのトーン（音色）を選ぶことができます。

トーンは4つの音素片（パーシャル）で構成されており、トーンごとにマルチエフェクト（MFX）を設定できます。

スマートフォン用のエディター（AX-Edge Editor）でトーンのエディットができます。

エフェクト

本機にはトーン用のマルチエフェクト（MFX）、プログラム単位で設定するマルチエフェクト（IFX）、最終出力にかかるエフェクト（システム・エフェクト）としてリバーブ、コーラス/ディレイ、コンプレッサー、EQが搭載されています。

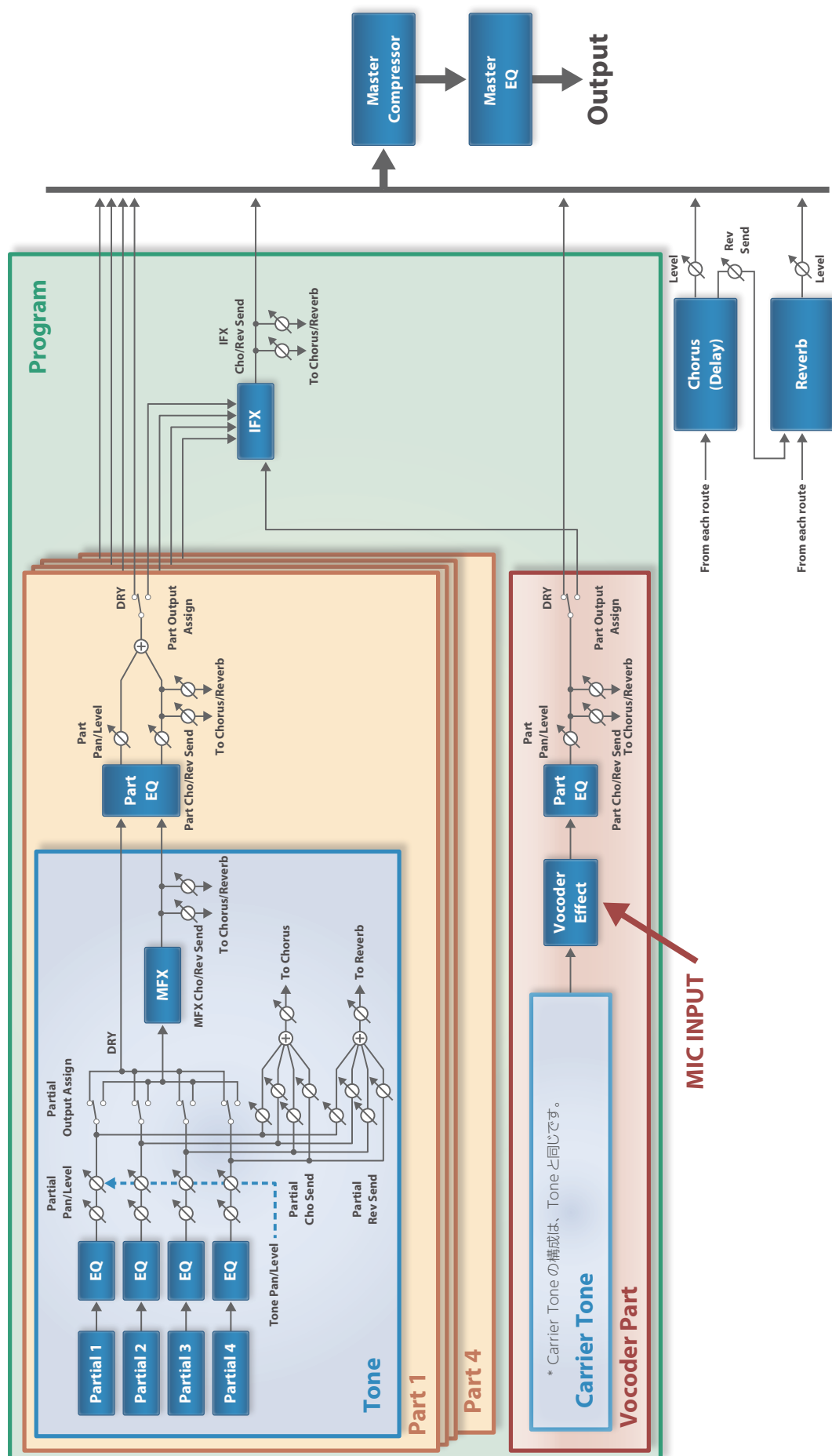
リバーブ、コーラス/ディレイはプログラムごとに設定して切り替えることもできます。

システム

AX-Edge の動作環境を決めるシステム・パラメーターの設定を記憶しています。

➡「システム・パラメーター」（P.36）

音源部ブロック図



エフェクト

本機には以下のエフェクトが内蔵されています。

トーンのエフェクト (AX-Edge Editor でのみエディット可能)

パースナル用イコライザー (EQ)

パースナルごとにかけられるイコライザーです。
高域／中域／低域ごとに独立して調節することができます。

マルチエフェクト (MFX)

マルチエフェクトです。
79 種類のタイプを持ち、その中から目的に合ったものを選んで使います。
ディストーション、フランジャーなどの単一のエフェクトで構成されたもの以外に、さまざまなタイプが用意されています。トーンごとに、1 つのマルチエフェクト設定を持っています。

メモ

マルチエフェクトの設定は、トーンごとに設定されています。
プログラム（パート単位）でマルチエフェクトの設定をしたい場合は、**[PROGRAM SOUND] → [MFX]** の中の **[FlwToneMfx]** の設定値を **[OFF]** にします (P.8)。

プログラムのエフェクト

パート用イコライザー (EQ)

パートごとにかけられるイコライザーです。
高域／中域／低域ごとに独立して調節することができます。

インサートエフェクト (IFX)

音そのものを変化させて、まったく違う種類の音に変える汎用インサート・エフェクトです。
79 種類のタイプを持ち、その中から目的に合ったものを選んで使います。
マルチエフェクトに加えて、さらにエフェクトをかけたいときに使います。

ボコーダーエフェクト

ボコーダーパートに搭載されているエフェクトです。
ボコーダーの出音を調整することができます。

システムのエフェクト

コーラス (Chorus) / ディレイ (Delay)

コーラスは、音に厚みや広がりを与えるエフェクトです。ディレイエフェクトも含まれています。

リバーブ (Reverb)

リバーブは、ホールで音を鳴らしているような響きを与えるエフェクトです。

メモ

コーラス／リバーブは出音全体にかかるシステム・エフェクトですが、プログラムごとに設定をすることもできます。プログラムで設定をしたい場合は、**[PROGRAM SOUND] → [CHORUS]** もしくは **[PROGRAM SOUND] → [REVERB]** の中の **[Source]** の設定値を **[PRG]** にします (P.10)。

マスター・コンプレッサー (Master Comp)

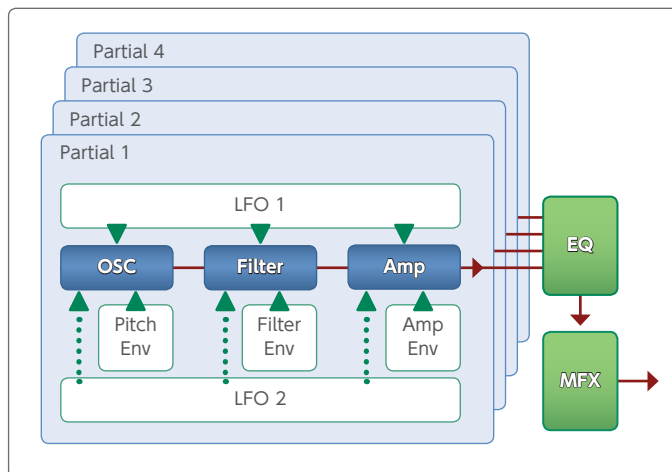
コンプレッサーは、指定した音量レベルよりも大きな音を圧縮し、音量のばらつきを抑えます。
高域／中域／低域ごとに、独立して調節することができます。

マスター EQ (Master EQ)

出音全体にかけるイコライザーです。
高域／中域／低域ごとに、独立して調節することができます。

トーン

1 つのトーンに、4 系統 (Partial 1 ~ 4) の OSC、Filter、AMP、LFO × 2、EQ の設定と、マルチエフェクト (MFX) の設定があります。
4 つのパースナルを組み合わせることで音作りができます。
パースナルはそれぞれオン／オフすることができ、どのパースナルを発音させるかを選ぶことができます。



OSC (オシレーター)

音の元になる波形を選び、音の高さ (ピッチ) の変化を設定します。

Filter (フィルター)

音の周波数成分の変化を設定します。

Amp (アンプ)

音量の変化とパンを設定します。

LFO (ロー・フリークエンシー・オシレーター)

LFO とは Low Frequency Oscillator (ロー・フリケンシー・オシレーター) の略で、非常に遅い周期の低周波発振器のことです。正弦波、三角波、矩形波、のこぎり波などなどの波形を出力することができます。

他の音声信号などを LFO で変調することによって、ビブラート、トレモロなどの効果を加えることができます。

プログラム・パラメーター

1. [MENU/WRITE] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

PROGRAM SOUND (プログラム・サウンド)	7 ページ
PROGRAM CTRL (プログラム・コントロール)	10 ページ
ARPEGGIO (アルペジオ)	14 ページ
VOCODER (ボコーダー)	14 ページ

3. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、[-] [+] ボタンで値を変更します。

PROGRAM SOUND (プログラム・サウンド)

プログラムの音に関する設定をします。

COMMON、IFX、CHORUS、REVERB 以外のパラメーターは、パートごとに設定します。

パートごとの設定画面では、液晶の右上端に「P1」～「P4」と表示され、どのパートの設定を見ているかが確認できます (P1 はパート 1)。

このとき、パネル上のボタン 1～4 を、パート 1～4 のパート選択 (切替) ボタンとして使用できます。選ばれているパートのボタンが点滅します。

またボタン 5～8 を、パート 1～4 のオン/オフボタンとして使用できます (5 がパート 1)。オンになっているパートが点滅します。



メモ

[SHIFT] ボタン + [◀] [▶] ボタンで、パラメーターの分類 (COMMON や SWITCH など) をジャンプすることができます。

COMMON

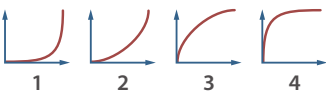
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Level	0 ~ 127	プログラム全体の音量を設定します。
Tempo	20 ~ 250	プログラム (アルペジオを含む) のテンポを設定します。

SWITCH (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Kbd Sw (Keyboard Switch)	OFF, ON	鍵盤で鳴らすパートのオン/オフを設定します。
Arp Sw (Arpeggio Switch)	OFF, ON	各パートのアルペジオのオン/オフを設定します。

TONE (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Bank	PRESET, USER	トーンのバンクを選びます。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
(Number/Name)	(Tone number/ Tone name)	トーンを選びます。
Level	0 ~ 127	各パートの音量を設定します。
Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	ステレオ出力するときの、各パートの音の定位を設定します。
Velo Curve (Velocity Curve Type)	OFF, 1 ~ 4	パートごとに、MIDI キーボードの鍵盤タッチに最適なベロシティ・カーブを次の 4 種類の中から選びます。本体鍵盤のベロシティ・カーブで発音するときは、「OFF」に設定します。 
Mono/Poly	MONO, POLY, TONE	パートに割り当てている Tone をモノフォニックで演奏するときは「MONO」、ポリフォニックで演奏するときは「POLY」に設定します。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Legato Sw (Legato Switch)	OFF, ON, TONE	モノフォニックで演奏するときは、レガートをかけることができます。「レガート」とは、音と音の間をなめらかに切れ目を感じさせないで演奏する方法です。ギターのハンマリング・オンやプリング・オフのような効果が得られます。レガートをかけるときは「ON」、かけないときは「OFF」に設定します。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Porta Sw (Portamento Switch)	OFF, ON, TONE	ポルタメントをかけるかどうかを設定します。ポルタメントをかけるときは「ON」、かけないときは「OFF」にします。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Porta Time (Portamento Time)	0 ~ 127, TONE	ポルタメント演奏時のピッチが変化する時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Unison Sw (Unison Switch)	OFF, ON, TONE	1 つの音色を重ねる機能です。ユニゾンで演奏するときは「ON」、演奏しないときは「OFF」にします。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。 ※ Unison Switch が On のパートは MONO になります。
VoiceAsgn (Voice Assign Mode)	同じキーを複数回押したときの発音のしかたを設定します。	
	SINGLE	同じキーの音は 1 音ずつしか鳴らしません。持続音の長い音を続けて鳴らしたとき、前の音を消して次の音を鳴らします。
	LIMIT	同じキーの音を重ねて鳴らします。持続音が長い音を続けて鳴らしたときには、ある程度の音数になると、前の音が消されていきます。
	同じキーの音を重ねて鳴らします。持続音が長い音を続けて鳴らしたときでも、制限なく前の音を消さずに重ねて鳴らします。	
	FULL	
Output (Output Assign)	出力先を選びます。	
	DRY	エフェクトを通さずに出力します。
	IFX	IFX に送ります。
Cho Send (Chorus Send Level)	0 ~ 127	コーラスへのセンド・レベルを設定します。
Rev Send (Reverb Send Level)	0 ~ 127	リバーブへのセンド・レベルを設定します。

PITCH (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Oct Shift (Octave Shift)	-3 ~ +3	鍵盤の音域を 1 オクターブ単位で動かすことができます。
Coarse Tune (Coarse Tune)	-48 ~ +48	半音単位でピッチ (音の高さ) を設定します。
Fine Tune (Fine Tune)	-50 ~ +50	ピッチを 1 セント単位で微調整します。
Bend Range (Bend Range)	0 ~ 24, TONE	リボン・コントローラーなどの操作子にピッチ・ベンドが割り当てられている場合に、操作子を動かしたときのピッチの変化量を半音単位で設定します (最大 2 オクターブ)。
Bend Mode (Bend Mode)	リボン・コントローラー等の操作子にピッチ・ベンドが割り当てられている場合に、操作子を動かしたときの挙動を設定します。	
	NORMAL	通常のピッチ・ベンド効果になります。
	C+L (CATCH + LAST)	最後に発音した音 (ノート) にのみ、ピッチ・ベンド効果が有効になります。ピッチ・ベンドした状態でノート・オンした場合、ピッチがセンター (中央) で発音します。操作子の位置がセンター (中央) を通過したときに初めてピッチが変化します。
	TONE	トーンの設定に従います。

SCALE TUNE (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Type (Scale Tune Type)	CUSTOM	カスタム : 調律法を設定することができます。
	EQUAL	平均律 : オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	JUST-MAJ	純正調 (長) : 5 度と 3 度の濁りをなくした調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きを持ちます。
	JUST-MIN	純正調 (短) : 純正調は長調と短調で調律が異なります。長調のときと同じ効果を短調で得ることができます。
	PYTHAGORE	ピタゴラス音律 : 哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、メロディーはきれいに聴こえます。
	KIRNBERGE	キルンベルガー : 中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます (第三法)。
	MEANTONE	中全音律 : 純正調を一部妥協させて、転調を可能にした音律です。
	WERCKMEIS	ベルクマイスター : 中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた調律です。すべての調での演奏ができます (第一技法第三番)。
	ARABIC	アラビア音階 : アラビア音楽に適した調律です。
Key (Scale Tune Key)	C ~ B	主音を設定します。
C ~ B	-64 ~ +63	ピッチを微調整します。

MODIFY (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Cutoff (Cutoff Offset)	-64 ~ +63	フィルターの開き具合を調節します。値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
Resonance (Resonance Offset)	-64 ~ +63	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセを付けます。設定値を上げすぎると、発振して音が歪むことがあります。値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
Attack (Attack Time Offset)	-64 ~ +63	キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。値を大きくすると立ち上がりが緩やかに、小さくすると立ち上がりが鋭くなります。
Decay (Decay Time Offset)	-64 ~ +63	音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
Release (Release Time Offset)	-64 ~ +63	キーを離してから、音が消えるまでの場合時間です。値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。
Vib Rate (Vibrato Rate)	-64 ~ +63	ビブラートの周期 (音の高さの揺れる速さ) を調節します。値を大きくするほど音の高さの揺れが速くなり、小さくするほど遅くなります。
Vib Depth (Vibrato Depth)	-64 ~ +63	ビブラート効果の深さ (音の高さを揺らす深さ) を調節します。値を大きくするほど音の高さの揺れ幅が大きくなり、小さくするほど揺れ幅も小さくなります。
Vib Delay (Vibrato Delay)	-64 ~ +63	ビブラート (音の高さの揺れ) 効果がかかり始めるまでの時間を調節します。値を大きくするほどかかり始めるまでの時間が長くなり、小さくするほど短くなります。
Velo Sens (Velocity Sens Offset)	-63 ~ +63	ペロシティーの感度を調節します。値を大きくするほど、感度が高くなります。

MFx (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
FlwToneMfx (Follow Tone MFx)	OFF, ON	パートに割り当てているトーンの MFx 設定に従うときは「ON」にします。「OFF」のときは、MFx タイプと各パラメーターを変更できます。
MFx タイプ (MFx Type)		MFx タイプを選びます。 [Enter] ボタンを押すと、MFx Edit 画面に入り、MFx のパラメーターを変更できるようになります。MFx Edit 画面から抜けるときは [EXIT] ボタンを押します。 ※ FlwToneMfx が ON の場合は、Tone の MFx 設定に従うため、値を変更できません。 ⇒ 「MFx/IFx パラメーター」 (P.40)

MFX EDIT (Part1 ～ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	エフェクトのオン/オフを設定します。
MFX パラメーター	(選ばれた MFX の各パラメーターが表示されます。)	
Cho Send (Chorus Send Level)	0 ～ 127	MFX をかけたあとの音の、コーラス・センド・レベルを設定します。
Rev Send (Reverb Send Level)	0 ～ 127	MFX をかけたあとの音の、リバーブ・センド・レベルを設定します。
MFX CTRL Src1 ～ 4 (MFX CtrlSrc 1 ～ 4)	MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。	
	OFF	MFX CONTROL を使いません。
	MOD: CC01 ～ 31	コントローラー・ナンバー 1 ～ 31
	CC33 ～ PHASR: CC95	コントローラー・ナンバー 33 ～ 95
	BEND	ピッチ・ベンド
	AFT	アフタータッチ
MFX CTRL Dst1 ～ 4 (MFX CtrlDst 1 ～ 4)	MFX CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。	
MFX CTRL Sens1 ～ 4 (MFX CtrlSens 1 ～ 4)	-63 ～ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。 設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいくほど変化は大きくなります。

MFX を MIDI でコントロールする (MFX CONTROL)

MFX のパラメーターのうち、代表的なものをコントロール・チェンジ・メッセージなどの MIDI メッセージで変更することができます。この機能を「MFX CONTROL (マルチエフェクト・コントロール)」と呼びます。

変更できるパラメーターは、MFX のタイプごとにあらかじめ決まっています。マルチエフェクト・コントロールは、4 つまで設定することができます。

マルチエフェクト・コントロールを使うときは、どの MIDI メッセージ (Source) で、どのパラメーター (Destination) を、どれくらいコントロール (Sens) するかを設定します。

EQ (Part 1 ～ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	イコライザー (EQ) のオン/オフを設定します。
In Gain (Input Gain)	-24 ～ +24 [dB]	入力音の増幅/減衰量を設定します。
Low Gain (Low Gain)	-24 ～ +24 [dB]	低域の増幅/減衰量を設定します。
Low Freq (Low Frequency)	20 ～ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Gain (Mid Gain)	-24 ～ +24 [dB]	中域の増幅/減衰量を設定します。
Mid Freq (Mid Frequency)	20 ～ 16000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
Mid Q (Mid Q)	0.5 ～ 16.0	中域の幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Gain (High Gain)	-24 ～ +24 [dB]	高域の増幅/減衰量を設定します。
High Freq (High Frequency)	20 ～ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

KEYBOARD (Part 1 ～ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Key Rng Low (Key Range Lower)	C-1 ～ G9	各パートの鍵域 (キー・レンジ) を設定します。 鍵域によってトーンを弾き分けるときなどに設定します。
Key Rng Upp (Key Range Upper)	C-1 ～ G9	設定する鍵域の下限 (Key Rng Low) と、上限 (Key Rng Upp) を指定します。
Key Fade Low (Key Fade Width Lower)	0 ～ 127	パートが Key Rng Low より低く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Key Fade Upp (Key Fade Width Upper)	0 ～ 127	パートが Key Rng Upp より高く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velo Rng Low (Velocity Range Lower)	1 ～ 127	トーンの鳴るベロシティの下限 (Velo Rng Low) と、上限 (Velo Rng Upp) を設定します。
Velo Rng Upp (Velocity Range Upper)	1 ～ 127	鍵盤を強く強さでトーンを鳴らし分けたいときに設定します。
Velo FadeLow (Velocity Fade Width Lower)	0 ～ 127	パートが Velo Rng Low より弱く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velo FadeUpp (Velocity Fade Width Upper)	0 ～ 127	パートが Velo Rng Upp より強く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。

IFX

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
IFX タイプ (IFX Type)	IFX タイプを選びます。 [Enter] ボタンを押すと、IFX Edit 画面に入り、IFX のパラメーターを変更できるようになります。IFX Edit 画面から抜けるときは [EXIT] ボタンを押します。 ※ MFX と IFX は選べるタイプ、パラメーターは同じです。 ⇒ 「MFX/IFX パラメーター」 (P.40)	

IFX EDIT

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	IFX のオン/オフを設定します。
IFX パラメーター	(選ばれた IFX の各パラメーターが表示されます。)	
Cho Send (Chorus Send Level)	0 ～ 127	IFX をかけたあとの音の、コーラス・センド・レベルを設定します。
Rev Send (Reverb Send Level)	0 ～ 127	IFX をかけたあとの音の、リバーブ・センド・レベルを設定します。

CHORUS

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG, SYS	コーラス設定がプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
コーラス・タイプ (Chorus Type)	CHORUS : Source が「PRG」のときは、コーラストイプと各パラメーターを変更できます。 コーラス・タイプのページで [Enter] ボタンを押すと、コーラスのパラメーターページに入ることができます。 ➡ 「コーラス・パラメーター」 (P.32)	

CHORUS EDIT

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	コーラスのオン/オフを設定します。
Level	0 ~ 127	コーラスをかけた音の出力レベルを設定します。
Rev Send (Reverb Send)	0 ~ 127	リバーブへのセンド・レベルを設定します。

REVERB

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG, SYS	リバーブ設定がプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
リバーブ・タイプ (Reverb Type)	REVERB : Source が「PRG」のときは、リバーブタイプと各パラメーターを変更できます。 リバーブ・タイプのページで [Enter] ボタンを押すと、リバーブのパラメーターページに入ることができます。 ➡ 「リバーブ・パラメーター」 (P.34)	

REVERB EDIT

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	リバーブのオン/オフを設定します。
Level	0 ~ 127	リバーブをかけた音の出力レベルを設定します。

PROGRAM CTRL (プログラム・コントロール)

操作子や MIDI の送受信に関する設定をします。
 これらの設定はプログラム単位で保存、切り替えができます。

メモ

[SHIFT] ボタン + [◀] [▶] ボタンで、パラメーターの分類をジャンプすることができます。

CTRL RX (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Ribbon Posi (Ribbon Position)	OFF, ON	リボン・コントローラーの操作 (位置情報) を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ribbon Pres (Ribbon Pressure)	OFF, ON	リボン・コントローラーの操作 (圧力情報) を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Mod Bar (Modulation Bar)	OFF, ON	モジュレーション・バーの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Aftertouch (After Touch)	OFF, ON	アフタータッチを受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ctrl Knob (Control Knob)	OFF, ON	コントロールつまみの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ctrl Pedal (Control Pedal)	OFF, ON	ペダルの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
S1 ~ S7	OFF, ON	[S1] ~ [S7] ボタンの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ext Volume (External Control Volume Knob)	OFF, ON	マスター・ボリュームの操作を送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。 外部 MIDI 機器の音量をマスター・ボリュームで調節したい場合にも、Ext Volume を ON に設定します。

MIDI RX (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Rx PC (Receive Program Change)	OFF, ON	プログラム・チェンジを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Bank (Receive Bank Select)	OFF, ON	バンク・セレクトを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Bend (Receive Pitch Bend)	OFF, ON	ピッチ・バンドを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Poly Pres (Receive Polyphonic Key Pressure)	OFF, ON	ポリフォニック・アフタータッチを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Ch Pres (Receive Channel Pressure)	OFF, ON	チャンネル・アフタータッチを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Mod (Receive Modulation)	OFF, ON	モジュレーションを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Volume (Receive Volume)	OFF, ON	ボリュームを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Pan (Receive Pan)	OFF, ON	パンを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Exp (Receive Expression)	OFF, ON	エクスプレッションを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Hold-1 (Receive Hold-1)	OFF, ON	ホールド 1 を受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

MIDI OUT (Part1 ~ 4)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Tx Mode (Tx Mode)	ON, OFF, MKB	MIDI 情報を送信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。 マスター・キーボードとして使用するときは「MKB」にします。
Mkb Ch (Master Keyboard Tx Ch) (*1)	1 ~ 16	キーボード・パートの MIDI メッセージの送信チャンネルを設定します。
Mkb MSB (Master Keyboard Bank MSB) (*1)	OFF, 0 ~ 127	プログラム・ナンバーやバンク・セレクト MSB / LSB を数値で入力して、外部 MIDI 機器の音色を切り替えます。
Mkb LSB (Master Keyboard Bank LSB) (*1)	OFF, 0 ~ 127	
Mkb PC (Master Keyboard Program Change) (*1)	OFF, 1 ~ 128	
Mkb Volume (Master Keyboard Volume) (*1)	0 ~ 127	外部 MIDI 機器の音量を調節します。

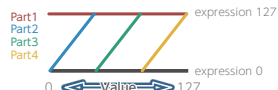
*1 MkbCH 以降のパラメーターは、TxMode = MKB のときに有効になります。

CTRL BUTTON (コントロール・ボタン)

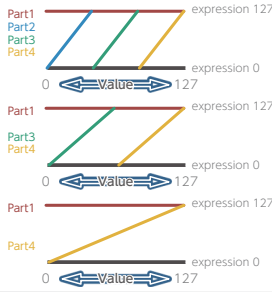
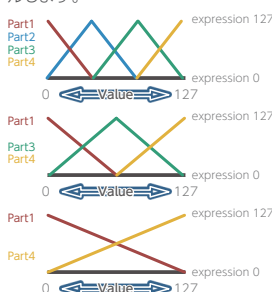
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG, SYS	[S1] ~ [S7] ボタンで、コントロールするパラメーターがプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
S1 (F) -S7 (F) (S1 ~ S7 (Function))	CTRL BUTTON : Source で「PRG」を選んだときの、各ボタンに割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31, 32 (OFF), 33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31, 32, 33 ~ 95
	AFT	アフタータッチ
	MONO/POLY	モノ/ポリを切り替えます。
	PRG DOWN (PROGRAM DOWN)	プログラムを前の番号に切り替えます。
	PRG UP (PROGRAM UP)	プログラムを次の番号に切り替えます。
	OCT DOWN (OCTAVE DOWN)	鍵域をオクターブ単位で下げます (-3 オクターブまで)。
	OCT UP (OCTAVE UP)	鍵域をオクターブ単位で上げます (+3 オクターブまで)。
	TRANS DOWN (TRANPOSE DOWN)	鍵域を半音下げます (-5 半音まで)。
	TRANS UP (TRANPOSE UP)	鍵域を半音上げます (+6 半音まで)。
	CHO SW (CHORUS SWITCH)	コーラスをオン/オフします。
	REV SW (REVERB SWITCH)	リバーブをオン/オフします。
	EQ SW (MASTER EQ SWITCH)	マスター EQ をオン/オフします。
	COMP SW (MASTER COMP SWITCH)	マスターコンプレッサーをオン/オフします。
	IFX SW (IFX SWITCH)	IFX をオン/オフします。
	ARP SW (ARPEGGIO SWITCH)	アルペジオをオン/オフします。
	ARP HOLD (ARPEGGIO HOLD)	アルペジオ・ホールドをオン/オフします。
	VOCODER SW (VOCODER SWITCH)	ボコーダーをオン/オフします。
	UNISON SW (UNISON SWITCH)	パート 1 のトーンのユニゾンをオン/オフします。
	BEND MODE	BEND MODE を切り替えます。 (NORMAL か C+L)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
S1 (F) -S7 (F) (S1 ~ S7 (Function))	START/STOP	Song Player を再生/停止します。
	TAP TEMPO	ボタンを押す間隔でテンポを設定します。 (タップ・テンポ)
S1 (M) -S7 (M) (S1 ~ S7 (Mode))		各操作子の動作を設定します。
	LATCH	ボタンを押すたびにオン/オフが切り替わります。
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、離すとオフになります。

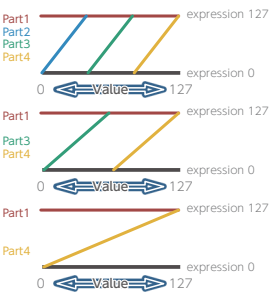
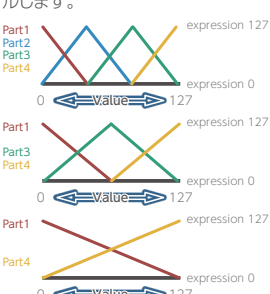
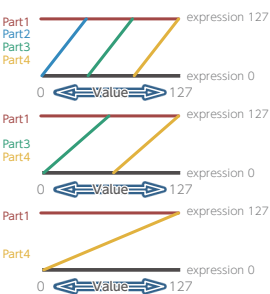
CTRL KNOB (コントロールつまみ)

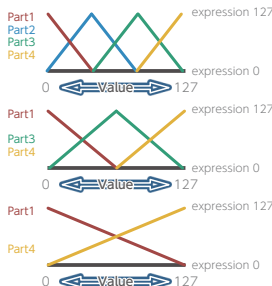
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG, SYS	コントロールつまみでコントロールするパラメーターがプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
Func (Function)	CTRL KNOB : Source で「PRG」を選んだときの、コントロールつまみに割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31, 32 (OFF), 33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31, 32, 33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0, CC71 (Resonance), CC72 (Release), CC73 (Attack), CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 

CTRL PEDAL (コントロール・ペダル)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG, SYS	PEDAL 端子に接続したペダルでコントロールするパラメーターがプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
Func (Function)	CTRL PEDAL : Source で「PRG」を選んだときの、ペダルに割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31, 32 (OFF), 33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	Pole (Pedal Polarity)	STANDARD、REVERSE PEDAL 端子に接続したペダルの極性を設定します。

CTRL RIBBON (コントロール・リボン・コントローラー)

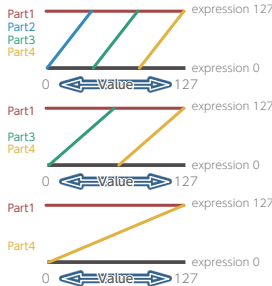
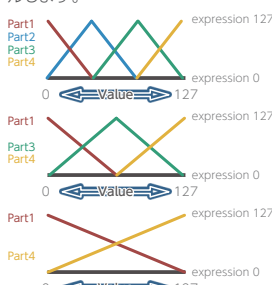
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG, SYS	リボン・コントローラーでコントロールするパラメーターがプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
Posi (Position Function)	CTRL RIBBON : Source で「PRG」を選んだときの、リボン・コントローラー (左右方向) に割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31, 32 (OFF), 33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ご注意ください Position Function に 0 ~ 127 の値を持つ CC を割り当てた場合、リボンに触れていない場合は中点 (64) の値になります。
	AFT	アフタータッチ
	PITCH BEND	ピッチを上げ下げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	Pres (Pressure Function)	リボン・コントローラーを押し込んだとき (圧力方向) の機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31, 32 (OFF), 33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
Pres (Pressure Function)	AFT	Aftertouch
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Pres (Pressure Function)	PART FADE2	1 ～ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 

VOICE RESERVE (ボイス・リザーブ)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Part1 ～ 4、 Vocoder (Voice Reserve Part1 ～ 4、 Vocoder)	1 ～ 10	最大発音数を超える演奏をした場合に、各パートが確保するボイス数を設定します。

CTRL MOD BAR(コントロール・モジュレーション・バー)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source	PRG、SYS	モジュレーション・バーでコントロールするパラメーターがプログラムの設定に従うか (PRG)、システム設定に従うか (SYS) を設定します。
Func (Modulation Bar Function)	CTRL MOD BAR:Source で「PRG」を選んだときの、モジュレーション・バーに割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ～ 31、32 (OFF)、33 ～ 95	コントローラー・ナンバー 1 ～ 31、32、33 ～ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ～ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ～ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ～ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ～ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 

CTRL SRC SEL (コントロール・ソース・セレクト)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Src1 ～ 4 (Control Source (1 ～ 4))	CC01 ～ 95、BEND、AFT	マトリックス・コントロールを使うとき、どの MIDI メッセージでトーン・パラメーターを変えるかを設定します。

ARPEGGIO (アルペジオ)

アルペジオに関する設定をします。

アルペジオの設定はプログラム単位で保存、切り替えができます。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	アルペジオをオン/オフします。
Hold	OFF, ON	「ON」にすると、鍵盤を押し続けなくてもアルペジオ演奏を持続させることができます。
Grid	アルペジオの拍子を決めます。「1 グリッド」をどの音符とみなすかを設定します。	
	1/4	4 分音符 (グリッド 1 個 = 1 拍)
	1/8	8 分音符 (グリッド 2 個 = 1 拍)
	1.5/8	付点 8 分音符
	1/16	16 分音符 (グリッド 4 個 = 1 拍)
	1.5/16	付点 16 分音符
	1/32	32 分音符 (グリッド 8 個 = 1 拍)
Motif	コードの構成音の鳴る順番を、以下の中から設定します。	
	UP	押した鍵の低い方から順番に鳴ります。
	DOWN	押した鍵の高い方から順番に鳴ります。
	UP&DOWN	押した鍵の低い方から高い方へ、さらに折り返して低い方へ順番に鳴ります。
	RANDOM	押した鍵の音がランダムに鳴ります。
	NOTE ORDER	キーを押した順番に鳴ります。順番を工夫すればメロディー・ラインを作ることができます。
Duration	0 ~ 100 [%]	アルペジオの各ノートの鳴る長さを設定します。音を短く切ってスタッカート気味に鳴らすか、十分に伸ばしてテヌート気味に鳴らすかを設定します。
Oct Range (Octave Range)	-3 ~ +3	アルペジオのシフト幅を設定します。1 周ごとにオクターブ単位でシフトします。上昇方向、下降方向それぞれに設定できます (最大 ± 3 オクターブ)。
Shuffle Rate (Shuffle Rate)	0 ~ 100 [%]	発音のタイミングを変化させて、シャッフルのリズムを作ることができます。「50%」のときは等間隔で音が鳴り、値が大きくなるにつれて、付点音符のような弾んだ感じになります。
ShuffleReso (Shuffle Resolution)	シャッフルの基準になる音符を設定します。	
	16TH	16 分音符
	8TH	8 分音符
Velocity (Keyboard Velocity)	REAL, 1 ~ 127	押さえたキーの発音の強さを設定します。キーを押す強さに応じてペロシティー値を変化させたい場合は設定を「REAL」にします。キーを押す強さに関係なく、常に一定のペロシティー値にしたいときは、その値 (1 ~ 127) を設定します。

VOCODER (ボコーダー)

ボコーダーに関する設定をします。

ボコーダーの設定はプログラム単位で保存、切り替えができます。

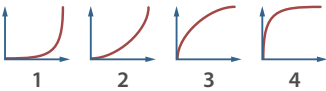
メモ

[SHIFT] ボタン + [◀] [▶] ボタンで、パラメーターの分類をジャンプすることができます。

SETTING

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	ボコーダーをオン/オフします。
Level	0 ~ 127	Vocoder を通した音の出力レベルを調節します。
Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	Vocoder を通した音の定位を調節します。
Envelope	発音の種類を選びます。	
	SHARP	人間の声が強調されます。
	SOFT	楽器の音が強調されます。
	LONG	余韻の長いピンテージ・サウンドが得られます。
CarrierLevel (Carrier Level)	0 ~ 127	楽器音の入力レベルを調節します。
Mic Sens	0 ~ 127	マイクの入力感度を調節します。
Mic Mix (Mic Mix Level)	0 ~ 127	Mic HPF を通ったマイク音声を、ボコーダーの出力に加える量を設定します。
Mic HPF (Mic High Pass Filter)	BYPASS, 1000 ~ 16000Hz	マイク音声にかかるハイ・パス・フィルター (HPF) の効き始める周波数を設定します。「BYPASS」に設定したときは効きません。
Arp Sw (Arpeggio Switch)	OFF, ON	Vocoder にアルペジオを適用するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

CRR TONE (キャリア・トーン)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Bank	PRESET, USER	
(Number/Name)	トーン・ナンバー／トーン名	キャリアにする楽器音を選びます。
Velo Curve (Velocity Curve Type)	OFF, 1 ~ 4	パートごとに、MIDI キーボードの鍵盤タッチに最適なペロシティー・カーブを次の 4 種類の中から選びます。本体鍵盤のペロシティー・カーブで発音するときは、「OFF」に設定します。 
Mono/Poly	MONO, POLY, TONE	キャリアをモノフォニックで演奏するときは「MONO」、ポリフォニックで演奏するときは「POLY」に設定します。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Legato Sw (Legato Switch)	OFF, ON, TONE	モノフォニックで演奏するときは、レガートをかけることができます。「レガート」とは、音と音の間をなめらかに切れ目を感じさせないで演奏する方法です。ギターのハンマリング・オンやプリング・オフのような効果が得られます。レガートをかけるときは「ON」、かけないときは「OFF」に設定します。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Porta Sw (Portamento Switch)	OFF, ON, TONE	ポルタメントをかけるかどうかを設定します。ポルタメントをかけるときは「ON」、かけないときは「OFF」にします。トーンの設定に従うときは「TONE」にします。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Porta Time (Portamento Time)	0 ~ 127, TONE	ポルタメント演奏時のピッチが変化する時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。 トーンの設定に従うときは「TONE」にします。
Unison Sw (Unison Switch)	OFF, ON, TONE	1つの音色を重ねる機能です。 ユニゾンで演奏するときは「ON」、演奏しないときは「OFF」にします。 トーンの設定に従うときは「TONE」にします。 ※ Unison Switch が On のパートは MONO になります。
VoiceAsgn (Voice Assign Mode)	同じキーを複数回押したときの発音のしかたを設定します。	
	SINGLE	同じキーの音は 1 音ずつしか鳴りません。持続音の長い音を続けて鳴らしたとき、前の音を消して次の音を鳴らします。
	LIMIT	同じキーの音を重ねて鳴らします。持続音が長い音を続けて鳴らしたときには、ある程度の音数になると、前の音が消されていきます。
	FULL	同じキーの音を重ねて鳴らします。持続音が長い音を続けて鳴らしたときでも、制限なく前の音を消さずに重ねて鳴らします。
Output (Output Assign)	出力先を選びます。	
	DRY	エフェクトを通さずに出力します。
	IFX	IFX に送ります。
Cho Send (Chorus Send Level)	0 ~ 127	コーラスへのセンド・レベルを設定します。
Rev Send (Reverb Send Level)	0 ~ 127	リバーブへのセンド・レベルを設定します。

CRR PITCH (キャリア・ピッチ)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Oct Shift (Octave Shift)	-3 ~ +3	鍵盤の音域を 1 オクターブ単位で動かすことができます。
Coarse Tune (Coarse Tune)	-48 ~ +48	半音単位でピッチ (音の高さ) を設定します。
Fine Tune (Fine Tune)	-50 ~ +50	ピッチを 1 セント単位で微調整します。
Bend Range (Bend Range)	0 ~ 24, TONE	リボン・コントローラーなどの操作子にピッチ・ベンドが割り当てられている場合に、操作子を動かしたときのピッチの変化量を半音単位で設定します (最大 2 オクターブ)。
Bend Mode (Bend Mode)	リボン・コントローラー等の操作子にピッチ・ベンドが割り当てられている場合に、操作子を動かしたときの挙動を設定します。	
	NORMAL	通常のピッチ・ベンド効果になります。
	C+L (CATCH + LAST)	最後に発音した音 (ノート) にのみ、ピッチ・ベンド効果が有効になります。ピッチ・ベンドした状態でノート・オンした場合、ピッチがセンター (中央) で発音します。操作子の位置がセンター (中央) を通過したときに初めてピッチが変化します。
	TONE	トーンの設定に従います。

CRR SCALE TUNE (キャリア・スケール・チューン)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Type (Scale Tune Type)	CUSTOM	カスタム : 調律法を設定することができます。
	EQUAL	平均律 : オクターブを均等に 12 分割してできた調律です。どの音程も同じくらいわずかな濁りが生じます。
	JUST-MAJ	純正調 (長) : 5 度と 3 度の濁りをなくした調律です。メロディーの演奏には不向きで転調はできませんが、美しい和音の響きを持ちます。
	JUST-MIN	純正調 (短) : 純正調は長調と短調で調律が異なります。長調のときと同じ効果を短調で得ることができます。
	PYTHAGORE	ピタゴラス音律 : 哲学者ピタゴラスによって考えられた 4 度と 5 度の濁りをなくした調律です。3 度の和音に濁りが生じますが、メロディーはきれいに聴こえます。
	KIRNBERGE	キルンベルガー : 中全音律と純正調を改良し、転調の自由度を高めた調律法です。すべての調での演奏ができます (第三法)。
	MEANTONE	中全音律 : 純正調を一部妥協させて、転調を可能にした音律です。
	WERCKMEIS	ベルクマイスター : 中全音律とピタゴラス音律を組み合わせた調律です。すべての調での演奏ができます (第一技法第三番)。
Key (Scale Tune Key)	C ~ B	主音を設定します。
	C ~ B	-64 ~ +63 ピッチを微調整します。

CRR MODIFY (キャリア・モディファイ)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Cutoff (Cutoff Offset)	-64 ~ +63	フィルターの開き具合を調節します。 値を大きくすると音が明るくなり、小さくすると暗くなります。
Resonance (Resonance Offset)	-64 ~ +63	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音にクセを付けます。設定値を上げすぎると、発振して音が歪むことがあります。値が大きくなるとクセが強くなり、小さくすると弱くなります。
Attack (Attack Time Offset)	-64 ~ +63	キーを押さえてから、音が立ち上がるまでの時間です。 値を大きくすると立ち上がりが緩やかに、小さくすると立ち上がりが鋭くなります。
Decay (Decay Time Offset)	-64 ~ +63	音が立ち上がってから、音量が下がっていくまでの時間です。 値を大きくすると音量が下がるまでの時間が長くなり、小さくすると短くなります。
Release (Release Time Offset)	-64 ~ +63	キーを離してから、音が消えるまでの場合間です。 値を大きくすると余韻の長い音になり、小さくすると歯切れの良い音になります。
Vib Rate (Vibrato Rate)	-64 ~ +63	ビブラートの周期 (音の高さの揺れる速さ) を調節します。 値を大きくするほど音の高さの揺れが速くなり、小さくするほど遅くなります。
Vib Depth (Vibrato Depth)	-64 ~ +63	ビブラート効果の深さ (音の高さを揺らす深さ) を調節します。 値を大きくするほど音の高さの揺れ幅が大きくなり、小さくするほど揺れ幅も小さくなります。
Vib Delay (Vibrato Delay)	-64 ~ +63	ビブラート (音の高さの揺れ) 効果がかり始めるまでの時間を調節します。 値を大きくするほどかかり始めるまでの時間が長くなり、小さくするほど短くなります。
Velo Sens (Velocity Sens Offset)	-63 ~ +63	ペロシティーの感度を調節します。 値を大きくするほど、感度が高くなります。

CRR MFX (キャリア MFX)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
FillwToneMfx (Follow Tone MFX)	OFF、ON	パートに割り当てているトーンの MFX 設定に従うときは「ON」にします。 「OFF」のときは、MFX タイプと各パラメーターを変更できます。
MFX タイプ (MFX Type)	MFX タイプを選びます。 [Enter] ボタンを押すと、MFX パラメーターが表示されます。 ※ FillwToneMfx が ON の場合は、Tone の MFX 設定に従うため、値を変更できません。 ⇒ [MFX/IFX パラメーター] (P.40)	

CRR MFX EDIT

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	エフェクトのオン/オフを設定します。
Cho Send (Chorus Send Level)	0 ~ 127	コーラス・センド・レベルを設定します。
Rev Send (Reverb Send Level)	0 ~ 127	リバース・センド・レベルを設定します。
MFX CTRL Src1 ~ 4 (MFX CtrlSrc 1 ~ 4)	OFF, CC01 ~ 31, CC33 ~ 95, BEND, AFT, SYS1 ~ 4	MFX CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
MFX CTRL Sens1 ~ 4 (MFX CtrlSens 1 ~ 4)	-63 ~ +63	MFX CONTROL の効果のかかり具合を設定します。 設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。
MFX CTRL Dst1 ~ 4 (MFX CtrlAsgn 1 ~ 4)		Source 1 ~ 4 でコントロールする MFX のパラメーターを選びます。 選べるパラメーターの種類は、MFX の種類によって異なります。

CRR EQ (キャリア EQ)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	イコライザー (EQ) のオン/オフを設定します。
In Gain (Input Gain)	-24 ~ +24 [dB]	入力音の増幅/減衰量を設定します。
Low Gain (Low Gain)	-24 ~ +24 [dB]	低域の増幅/減衰量を設定します。
Low Freq (Low Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Gain (Mid Gain)	-24 ~ +24 [dB]	中域の増幅/減衰量を設定します。
Mid Freq (Mid Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
Mid Q (Mid Q)	0.5 ~ 16.0	中域の幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Gain (High Gain)	-24 ~ +24 [dB]	高域の増幅/減衰量を設定します。
High Freq (High Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

CRR KEYBOARD (キャリア・キーボード)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Key Rng Low (Key Range Lower)	C-1 ~ G9	各パートの鍵域 (キー・レンジ) を設定します。 鍵域によってトーンを弾き分けるときなどに設定します。
Key Rng Upp (Key Range Upper)	C-1 ~ G9	設定する鍵域の下限 (Key Rng Low) と、上限 (Key Rng Upp) を指定します。
Key Fade Low (Key Fade Width Lower)	0 ~ 127	パートが Key Rng Low より低く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Key Fade Upp (Key Fade Width Upper)	0 ~ 127	パートが Key Rng Upp より高く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velo Rng Low (Velocity Range Lower)	1 ~ 127	トーンの鳴るペロシティーの下限 (Velo Rng Low) と、上限 (Velo Rng Upp) を設定します。
Velo Rng Upp (Velocity Range Upper)	1 ~ 127	鍵盤を強く強さでトーンを鳴らし分けたいときに設定します。
Velo FadeLow (Velocity Fade Width Lower)	0 ~ 127	パートが Velo Rng Low より弱く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velo FadeUpp (Velocity Fade Width Upper)	0 ~ 127	パートが Velo Rng Upp より強く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。

CRR CTRL RX (キャリア・コントロール受信設定)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Ribbon Posi (Ribbon Position)	OFF, ON	リボン・コントローラーの操作 (位置情報) を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ribbon Pres (Ribbon Pressure)	OFF, ON	リボン・コントローラーの操作 (圧力情報) を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Mod Bar (Modulation Bar)	OFF, ON	モジュレーション・バーの操作 (位置情報) を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Aftertouch (After Touch)	OFF, ON	アフタータッチを受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ctrl Knob (Control Knob)	OFF, ON	コントロールつまみの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ctrl Pedal (Control Pedal)	OFF, ON	ペダルの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
S1 ~ S7	OFF, ON	[S1] ~ [S7] ボタンの操作を受信するか (ON)、受信しないか (OFF) を設定します。
Ext Volume (External Control Volume Knob)	OFF, ON	マスター・ボリュームの操作を送信するか (ON)、送信しないか (OFF) を設定します。 外部 MIDI 機器の音量をマスター・ボリュームで調節したい場合にも、Ext Volume を ON に設定します。

CRR MIDI RX (キャリア MIDI 受信設定)

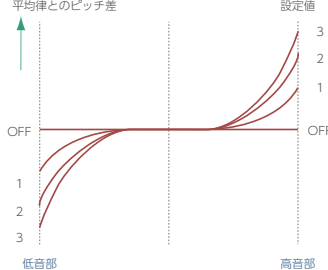
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Rx PC (Receive Program Change)	OFF, ON	プログラム・チェンジを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Bank (Receive Bank Select)	OFF, ON	バンク・セレクトを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Bend (Receive Pitch Bend)	OFF, ON	ピッチ・ベンドを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Poly Pres (Receive Polyphonic Key Pressure)	OFF, ON	ポリフォニック・アフタータッチを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Ch Pres (Receive Channel Pressure)	OFF, ON	チャンネル・アフタータッチを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Mod (Receive Modulation)	OFF, ON	モジュレーションを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Volume (Receive Volume)	OFF, ON	ボリュームを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Pan (Receive Pan)	OFF, ON	パンを受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。
Rx Exp (Receive Expression)	OFF, ON	エクスプレッションを受信するか (ON) しないか (OFF) を設定します。
Rx Hold-1 (Receive Hold-1)	OFF, ON	ホールド 1 を受信するか (ON)、しないか (OFF) を設定します。

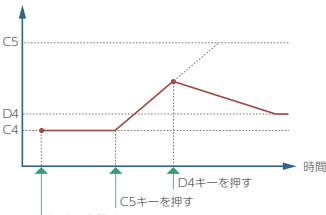
トーン・パラメーター

トーン・パラメーターは、エディター・アプリを使ってエディットするパラメーターです。

AX-Edge 本体からは変更できません。

COMMON (全体の設定)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
(Name)	トーン名	
Category	0 ~ 49	トーンのカテゴリを選びます。
Tone Level	0 ~ 127	トーン全体の音量を調節します。
Tone Pan	L64 ~ 0 ~ 63R	トーンのパンを設定します。[L64]で最も左、[0]で中央、[63R]で最も右に定位します。
Priority	最大同時発音数を超えたときにどのように発音するかを設定します。	
	LAST	あとから鳴るボイスを優先し、現在鳴っているボイスのうち先に鳴ったものから順に消えていきます。
	LOUDEST	音量の大きいボイスを優先し、現在鳴っているボイスのうち音量の小さいものから順に消えていきます。
Coarse Tune	-48 ~ +48 [semitone]	音の高さを半音単位 (±4 オクターブまで) で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを 1 セント単位 (±50 セントまで) で設定します。
Octave Shift	-3 ~ +3	トーンの高さをオクターブ単位 (±3 オクターブまで) で設定します。
Stretch Tune Depth	OFF, 1 ~ 3	高音域はより高く、低音域はより低くというピアノの独特の調律手法 (ストレッチ・チューニング) でピッチを設定します。「OFF」にすると平均律になり、「3」にすると高音域と低音域のピッチ変化が最も大きくなります。 図は横軸に音域、縦軸に平均律に対するピッチ変化としたもので、設定によって和音の響きが微妙に変わります。 
Analog Feel	0 ~ 127	発音しているトーンの高さや音量を時間変化させ、ゆらぎを与えます。値を大きくするほど、ゆらぎの量が多くなり不安定になります。
Mono/Poly	トーンの鳴らしかたをポリフォニック (POLY) にするか、モノフォニック (MONO) にするかを設定します。	
	MONO	1 音ずつ最後に押したキーの音だけを鳴らせます。
	POLY	複数の音を同時に鳴らせます。
Unison Switch	OFF, ON	1 つの音色を重ねる機能です。ユニゾン ON にすると押さえるキーの数に応じて、1 キーに対して重なる音の数が増えます。 - OSC Type が PCM のときはモノ発音に限定されます。 - Legato Sw を ON にしている場合、レガート中は Delay Time が無効になります。 - Legato Retrigger Interval を設定していても、動作は OFF になります。
Unison Size	2 ~ 8	ユニゾンが ON のときの、押さえるキー 1 つに対して割り当てられる音の数を設定します。 ※ Unison Size を増やすと発音数が増えるため、音切れしやすくなります。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Unison Detune	0 ~ 100	Unison Size の数で割り当てられた各音のチューニングをずらして、デチューン効果を出します。値が大きいくほど、各音のチューニングがずれていき、厚みのある音になります。
Legato Switch	OFF, ON	Mono/Poly が MONO に設定されている状態で、Legato Switch を ON にしたときに有効になります。あるキーを押しながら、他のキーを押すような演奏 (レガート演奏) をしたときに、なめらかに音高を変化させることができます。 変化のさせかたは、Legato Retrigger Interval によって変わります。
Legato Retrigger Interval	0 ~ 12, OFF	Legato Switch が有効になっていて、レガート演奏する際に、再発音するか (0 ~ 12)、しないか (OFF) を設定します。 OFF の場合は、現在発音しているトーンの音高のみ、キーの高さに応じて変化します。 1 ~ 12 に設定した場合は、レガート演奏の音高差が設定値を超えたときになめらかに再発音します。 たとえば 4 と設定した場合、C4 を基準音高として、Db4 ~ E4 までのレガート演奏は再発音せずピッチのみ変化しますが、C4 から 5 半音離れた F4 にレガートする際に F4 が再発音します。 このとき、F4 で再発音すると、今度は F4 がレガートの基準音高になります。 0 に設定した場合は、音高差に関係なく毎回、再発音する動作になります。 特にアコースティック系の音色では、ピッチのみ変化させても不自然になるので、Legato Retrigger Interval を調整する必要があります。
Portamento Switch	OFF, ON	ポルタメント効果をかけるか (ON)、かけないか (OFF) を設定します。 ※ ポルタメントとは、最初に弾いたキーと次に弾いたキーとの間の音程をなめらかに変化させる効果です。Mono/Poly が [MONO] のときにポルタメントをかけると、バイオリンなどのスライド奏法のような効果が得られます。
Portamento Mode	ポルタメント効果をかける演奏方法を設定します。	
	NORMAL	常にポルタメントがかかります。
	LEGATO	レガート奏法 (あるキーを押しながら他のキーを押す) のときにだけポルタメントがかかります。
Portamento Type	ポルタメント効果の種類を設定します。	
	RATE	音程に比例してピッチの変化時間が変わります。
	TIME	音程に関係なく、一定の時間でピッチが変わります。
Portamento Start	Pitch	ポルタメントはピッチの変化中に他のキーを押すと、新たにピッチ変化が始まります。これは、変化を始めるピッチを設定します。 

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Portamento Start	NOTE	ピッチ変化の終了する音程から新たなポルタメントが始まります。
Portamento Time	0 ~ 1023	ポルタメント演奏で、音の高さが変化する時間を設定します。値が大きくなるほど、次の音の高さに移動する時間が長くなります。
Bend Range Up	0 ~ 48 [semitone]	リボン・コントローラーの最も右を押さえたときの变化量を半音単位で設定します。たとえば、「12」に設定してリボン・コントローラーの右端を押さえると、ピッチが4オクターブ上がります。
Bend Range Down	0 ~ 48 [semitone]	リボン・コントローラーの最も左を押さえたときの变化量を半音単位で設定します。たとえば、「48」に設定してリボン・コントローラーの左端を押さえると、ピッチが4オクターブ下がります。
Bend Mode	NORMAL	通常のピッチ・ベンド・レバー効果になります。
	CATCH+LAST	最後に発音した音（ノート）にのみ、ピッチ・ベンド効果が有効になります。ピッチ・ベンドした状態でノート・オンした場合、ピッチがセンター（中央）で発音します。操作子の位置がセンター（中央）を通過したときに初めてピッチが変化します。
Soft Level Sens	0 ~ 100	ソフトペダル（CC#67）を変化させたときの音量変化具合を設定します。ピアノ音色で設定すると効果があります。
Portamento Curve Type		ポルタメントのピッチ変化カーブを設定します。
	LIN	線形カーブで変化します。
	EXP-L EXP-H	非線形カーブ（傾き緩やか）カーブで変化します。 非線形カーブ（傾き急）カーブで変化します。
Bend Range Fine Up	0 ~ 100	リボン・コントローラーなどの操作子にピッチ・ベンドが割り当てられている場合に、上方向に操作するときの変化量をセント単位で微調節します。
Bend Range Fine Down	0 ~ 100	リボン・コントローラーなどの操作子にピッチ・ベンドが割り当てられている場合に、下方向に操作するときの変化量をセント単位で微調節します。

SWITCH

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Partial Switch	OFF, ON	パーシャルをオン/オフします。
ADSR Envelope Switch	OFF, ON	アナログ・シンセサイザーに搭載されている、ADSR Envelope 動作を模擬します。ADSR Env Switch が ON になっているときは、Pitch/Filter/Amp Env Time の2が無効、Pitch/Filter/Amp Env Level の3のみが有効になります。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
PMT Velocity Control	OFF, ON, RANDOM, CYCLE	鍵盤を弾く強さ（ベロシティ）でパーシャルの鳴らしわけを設定します。 「ON」に設定すると、Velo Rng Low/Upp, Velo FadeLow/Upp で設定した値と、ベロシティに応じて鳴らし分けれます。 「RANDOM」、「CYCLE」の場合は、それぞれ各パーシャルがランダム、または巡回的に発音します。 「RANDOM」、「CYCLE」の場合で、Structure1-2 (3-4) が OFF 以外に設定されている場合は、パーシャル 1 と 2 (3 と 4) がペアでランダム、または巡回的に発音します。 「RANDOM」、「CYCLE」の場合、ベロシティは関係なくなりますが、各パーシャルで Velocity Range が被らないように設定する必要があります。
PMT Level Curve	EXP	Vel Ctrl で鳴らし分ける際のパーシャルのクロスフェード・レベルを非線形カーブで変化させます。
	LINEAR	Vel Ctrl で鳴らし分ける際のパーシャルのクロスフェード・レベルを線形カーブで変化させます。

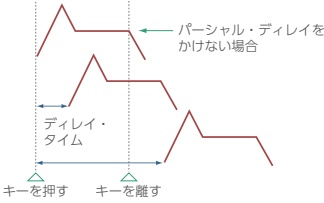
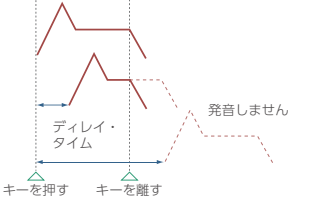
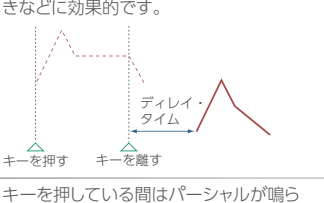
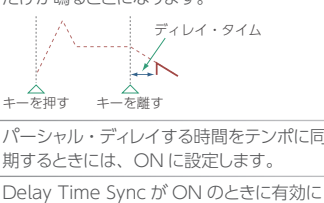
MFx

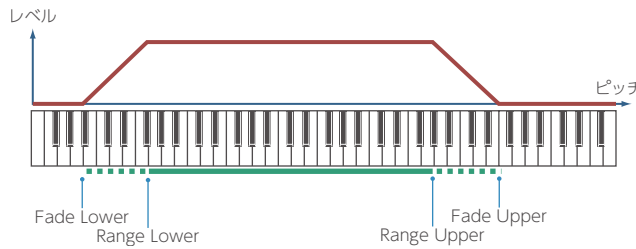
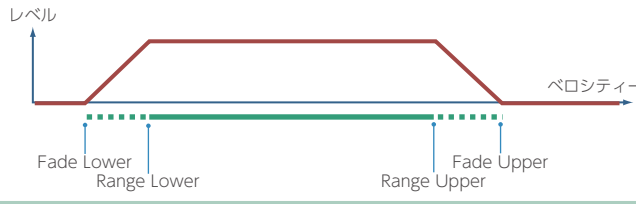
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Type		
Switch	OFF, ON	マルチエフェクトを使うか（ON）使わないか（OFF）を設定します。
Chorus Send Level	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を設定します。コーラスをかけないときは0に設定します。
Reverb Send Level	0 ~ 127	リバーブのかかり具合を設定します。リバーブをかけないときは0に設定します。
Control Source 1 ~ 4		MFx CONTROL を使うとき、どの MIDI 情報でパラメーターをコントロールするかを設定します。
	OFF	MFx CONTROL を使いません。
	CC01 ~ 31 CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31 コントローラー・ナンバー 33 ~ 95
	BEND AFT	ピッチ・ベンド アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	システム・パラメーターの SysCtrlSrc1 ~ 4 で設定しているコントローラーを使います。
Control Destination 1 ~ 4		MFx CONTROL を使って、マルチエフェクトのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは、マルチエフェクト・タイプによって異なります。
Control Sens 1 ~ 4	-63 ~ +63	MFx CONTROL の効果のかかり具合を設定します。設定したパラメーターの値を現在の値からプラス方向（大きい値、右方向、速いなど）に変化させるときはプラスの値に、マイナス方向（小さい値、左方向、遅いなど）に変化させるときはマイナスの値に設定します。数値が大きいほど変化は大きくなります。

OSC

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
OSC Type	オシレータータイプを設定します。	
	PCM	PCM 発音をします。Wave Group、Wave Number L/R で指定された番号の Wave を発音します。
	VA	演算によりアナログ・モデリング Wave を生成します。VA Waveform で指定された番号の Wave を発音します。
	PCM-Sync	PCM-Sync Wave Number で指定された波形の Wave を発音します。
	SuperSAW	SuperSAW を発音します。
Wave Group	Noise	WhiteNoise を発音します。
	INT A	OSC Type が PCM のときに発音する Wave グループを設定します。
	INT B	WAVE EXPANSION がインストールされている場合、INT C の下に WAVE EXPANSION 名が追加されます。
Wave Number L	INT C	
		Wave Group で指定された Group 内の Wave 番号を指定します。 モノで使用する場合は、左側 (L) だけを指定します。ステレオで使用する場合は、右側 (R) も指定します。
Wave Number R		モノで発音する場合は Wave Number L だけ設定して Wave Number R は 0 : OFF にしておきます。 Wave Number R だけ設定しても発音しません。
VA Waveform		OSC Type が VA のときに発音する Wave を設定します。
	SAW	のこぎり波
	SQR	矩形波
	TRI	三角波
	SIN	サイン波
	RAMP	傾斜波
	JUNO	変調鋸歯状波
	TRI2	三角波のバリエーション
	TRI3	三角波のバリエーション
	SIN2	サイン波のバリエーション
VA Waveform Invert Switch	OFF、ON	ON にすると VA 波形の位相が反転します。
PCM-Sync Wave Number		OSC Type が PCM-Sync のときに発音する Wave を設定します。PCM-Sync は Structure が SYNC のときに Slave (Sync 変調される側 Partial1、3) に設定すると効果的なオシレーターです。
Gain	-18 ~ +12 [dB]	波形のゲイン (振幅) を設定します。 値は 6dB (デシベル) ずつ変わります。 6dB 上がると、ゲインは 2 倍になります。
Pulse Width	0 ~ 127	パルス幅のデューティー比を変えて波形を変形させることで得られる効果です。 OSC Type が VA のときに有効で、SQR (矩形波) 以外にも効果を得ることができます。 ※ 値が 64 のときに 50% : 50% のデューティー比になります。
PWM Depth	-63 ~ +63	PW (パルス・ウィズ) にかける LFO のかかる量 (深さ) を設定します。 LFO は、LFO2 の設定のものに従います。
Super-SAW Detune	0 ~ 127	SuperSAW の Detune のかかり具合を調整します。値を大きくするほど、Detune 効果が深くなります。 ※ OSC Type に SuperSAW を選んだときのみ有効です。
Click Type	SOFT、HARD、NATURAL、OFF	発音開始位置を変更してアタック感を変更します。 OSC Type が VA の場合に有効になります。ただし、HARD が有効なのは、VA Waveform が TRI、TRI2、SIN、SIN2 のときになります。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Fat	0 ~ 127	低域を強調します。 OSC Type が VA のときに有効になります。
FXM Switch	OFF、ON	FXM を使うか (ON)、使わないか (OFF) を設定します。 ※ FXM (Frequency Cross Modulation) は、選んだ波形を特定の波形を使って周波数変調し、複雑な倍音を作り出します。激しい音や効果音を作るのに適しています。
FXM Color	1 ~ 4	FXM による周波数変調のしかたを設定します。値が大きくなるほどざらつきのある音に、値が小さくなるほど金属的な音になります。
FXM Depth	0 ~ 16	FXM による周波数変調の深さを設定します。
Delay Mode		パーシャル・ディレイ パーシャル・ディレイはキーを押してから (または離してから)、パーシャルが鳴り始めるまでの時間を遅らせるものです。設定によっては、パーシャルごとに発音するタイミングをずらすこともできます。 内蔵エフェクトのディレイとは異なり、遅れて発音するパーシャルの音質を変えたり、パーシャルごとにピッチを変えたりすれば、1 つのキーを押すだけでアルペジオのような演奏をすることもできます。 また、パーシャル・ディレイの時間を外部 MIDI シーケンサーのテンポに同期させることもできます。 Legato Retrigger Interval が OFF 以外の場合は、Delay Mode が NORMAL のときのみレガート動作をします。 また、このとき Legato Retrigger Interval は 0 として動作します (DelayTime ごとに再発音します)。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Delay Mode	NORMAL	キーを押してから、Partial Delay Time パラメーターで指定した時間のあとにパーシャルが鳴り始めます。 
	HOLD	キーを押してから、Partial Delay Time パラメーターで指定した時間のあとにパーシャルが鳴りますが、Partial Delay Time パラメーターで指定した時間より早くキーを離したときはパーシャルが鳴りません。 
	KEY-OFF-NORMAL	キーを押している間はパーシャルが鳴らず、キーを離したときから、Partial Delay Time パラメーターで設定した時間のあとにパーシャルが鳴り始めます。ギターなどのノイズ音をシミュレートするときなどに効果的です。 
	KEY-OFF-DECAY	キーを押している間はパーシャルが鳴らず、キーを離したときから、Partial Delay Time パラメーターで設定した時間のあとに、パーシャルが鳴ります。ただし、キーを押したときに TVA エンベロープの変化が始まるので、多くの場合は減衰部分の音だけが鳴ることになります。 
Delay Time Sync	OFF、ON	パーシャル・ディレイする時間をテンポに同期するときには、ON に設定します。
Delay Time (note)	1/64T ~ 2	Delay Time Sync が ON のときに有効になります。ディレイする時間を音符長で設定します。
Delay Time	0 ~ 1023	Delay Time Sync が OFF のときに有効で、ディレイする時間をテンポに無関係に設定します。
OSC Attenuator	0 ~ 255	OSC のレベルを設定します。255 が基準値となります。フィルターの自己発振だけで発音させる場合は、0 に設定します。

KEYBOARD		
		
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Key Range Lower	C- ~ G9	各パーシャルの鍵域（キー・レンジ）を設定します。鍵域によってトーンを弾き分けるときなどに設定します。
Key Range Upper	C- ~ G9	設定する鍵域の下限（Lower）と、上限（Upper）を指定します。
Key Fade Lower	0 ~ 127	パーシャルが Key Range Lower より低く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Key Fade Upper	0 ~ 127	パーシャルが Key Range Upper より高く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
		
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Velocity Range Lower	1 ~ 127	パーシャルの鳴るペロシティーの下限（Lower）と、上限（Upper）を設定します。
Velocity Range Upper	1 ~ 127	鍵盤を弾く強さでパーシャルを鳴らし分けたいときに設定します。
Velocity Fade Lower (PMT 1 ~ 4)	0 ~ 127	パーシャルが Velocity Range Lower より弱く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。
Velocity Fade Upper	0 ~ 127	パーシャルが Velocity Range Upper より強く弾かれた音を鳴らす度合い。鳴らさない場合は「0」にします。

STRUCTURE

Structure は、2 つのパーシャルを 1 組にして発音することができます。パーシャル 1 または 3（キャリア）に対して、他方のパーシャル 2 または 4（モジュレーター）で変調することによって、幅広い音色を作成することができます。

Structure は 2 つのパーシャルをペアで使用するため、キャリア、モジュレーターで共通に扱うパラメーターがあります。

以下のパラメーターについては、キャリア側のパーシャル設定のみが有効になります（モジュレーターの設定は無効になります）。

KEYBOARD

- Keyboard Range Lower
- Keyboard Range Upper
- Keyboard Fade Width Lower
- Keyboard Fade Width Upper
- Velocity Range Lower
- Velocity Range Upper
- Velocity Fade Width Lower
- Velocity Fade Width Upper

SWITCH

- Partial Switch

OSC

- Delay Mode (note)
- Delay Mode
- Delay Time Sync
- Delay Time (note)
- Delay Time

CONTROL

- Envelope Mode
- Receive Hold-1
- Redamper Switch
- Damper Free Note

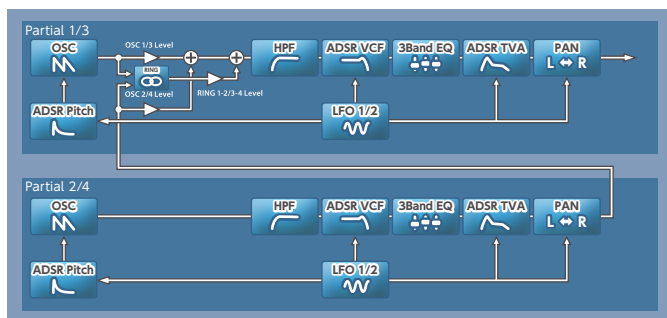
MATRIX CONTROL

- Destination : PMT
- Destination : CROSS-MOD

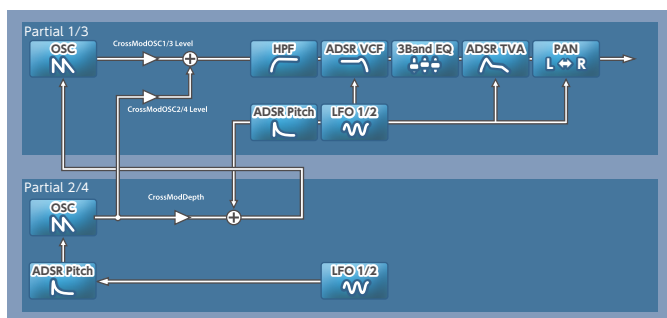
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Structure1-2	パーシャル 1 の発音をパーシャル 2 で変調します。	
	OFF	オフ
	SYNC	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているオシレーター・シンク機能を実現したものです。 Partial2 のピッチの周期で Partial1 のオシレーターをリセットします。OSC Type が VA または PCMSync のときのみ有効。
	RING	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているリング・モジュレーターを実現したものです。 Partial2 の出音を Partial1 に掛け合わせます。 ➡ [RING] (P.23)
	CROSS-MOD	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているクロス・モジュレーション機能を実現したものです。 Partial2 の出音を Partial1 のピッチとして与えます。
	CROSS-MOD2	CROSS-MOD2 では、パーシャル 1、3 で OSC Type が VA のときのみ有効です。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Structure3-4	パーシャル 3 の発音をパーシャル 4 で変調します。	
	OFF	オフ
	SYNC	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているオシレーター・シンク機能を実現したものです。 Partial4 のピッチの周期で Partial3 のオシレーターをリセットします。OSC Type が VA または PCMSync のときのみ有効。
	RING	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているリング・モジュレーターを実現したものです。 Partial4 の出音を Partial3 に掛け合わせます。 ➡ [RING] (P.23)
	CROSS-MOD	アナログ・シンセサイザーなどで搭載されているクロス・モジュレーション機能を実現したものです。 Partial4 の出音を Partial3 のピッチとして与えます。
	CROSS-MOD 2	➡ [CROSS-MOD] (P.23)
RING1-2 Level	0 ~ 127	Structure1-2 が RING のときの RING レベル。 ➡ [RING] (P.23)
RING3-4 Level	0 ~ 127	Structure3-4 が RING のときの RING レベル。 ➡ [RING] (P.23)
RING OSC1 Level	0 ~ 127	Structure1-2 が RING の場合に有効。 Partial1 の OSC レベル。 ➡ [RING] (P.23)
RING OSC2 Level	0 ~ 127	Structure1-2 が RING の場合に有効。 Partial2 の OSC レベル。 ➡ [RING] (P.23)
RING OSC3 Level	0 ~ 127	Structure3-4 が RING の場合に有効。 Partial3 の OSC レベル。 ➡ [RING] (P.23)
RING OSC4 Level	0 ~ 127	Structure3-4 が RING の場合に有効。 Partial4 の OSC レベル。 ➡ [RING] (P.23)
CrossMod1-2 Depth	0 ~ 10800 [cent]	Structure1-2 が CROSS-MOD の場合の Cross Modulation のかかる深さ。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)
CrossMod3-4 Depth	0 ~ 10800 [cent]	Structure3-4 が CROSS-MOD の場合の Cross Modulation のかかる深さ。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)
CrossMod OSC1 Level	0 ~ 127	Structure1-2 が CROSS-MOD の場合に有効。Partial1 の OSC レベル。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)
CrossMod OSC2 Level	0 ~ 127	Structure1-2 が CROSS-MOD の場合に有効。Partial2 の OSC レベル。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)
CrossMod OSC3 Level	0 ~ 127	Structure3-4 が CROSS-MOD の場合に有効。Partial3 の OSC レベル。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)
CrossMod OSC4 Level	0 ~ 127	Structure3-4 が CROSS-MOD の場合に有効。Partial4 の OSC レベル。 ➡ [CROSS-MOD] (P.23)
Partial Phase Lock	OFF、ON	OSC Type が VA のときに有効で、パーシャル間で波形の位相をロックします。CROSS-MOD2 で使用すると効果的です。
CrossMod2 1-2 Depth	0 ~ 127	Structure1-2 が CROSS-MOD2 の場合の Cross Modulation のかかる深さ。
CrossMod2 3-4 Depth	0 ~ 127	Structure3-4 が CROSS-MOD2 の場合の Cross Modulation のかかる深さ。

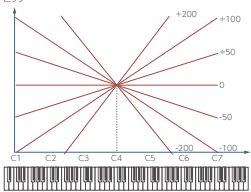
RING



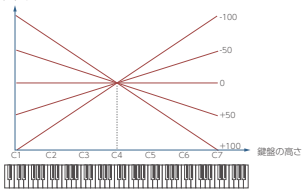
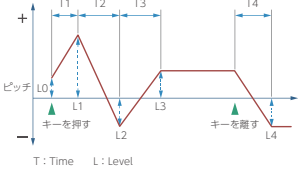
CROSS-MOD



PITCH

パラメーター [◀▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Coarse Tune	-48 ~ +48 [semitone]	音の高さを半音単位 (± 4 オクターブまで) で設定します。
Fine Tune	-50 ~ +50 [cent]	音の高さを 1 セント単位 (± 50 セントまで) で設定します。
Random Pitch Depth	0 ~ 1200 [cent]	キーを押すごとにピッチを不規則に変化させる変化幅を設定します。不規則に変化させないときは「0」にします。 ※ 値の単位はセント (半音の 100 分の 1) です。
Pitch Keyfollow	-200 ~ +200	キーを 1 オクターブ (12 キー) 上に移動したときのピッチの変化幅を設定します。通常のキーボードのようにピッチを 1 オクターブ変化させたいときは「+100」にします。ピッチを 2 オクターブ変化させたいときは「+200」に、逆にピッチを下げたいときはマイナスの値にします。どのキーを押しても同じピッチにするには「0」にします。 
Vibrato Pitch Sens	-100 ~ +100	プログラムの MODIFY : Vib Depth に応じて、LFO1 の Pitch Depth の変化量を設定します。
Stereo Detune	-50 ~ + 50 [cent]	ステレオ発音する場合、L ↔ R 間のデチューンを設定します。

PITCH ENVELOPE

パラメーター [◀▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Depth	-100 ~ +100	ピッチ・エンベロープの効き具合を設定します。値を大きくするほどピッチ・エンベロープによる変化が大きくなります。「-」の値にするとエンベロープの形が反転します。 OSC Type が、VA ではない場合、± 63 で頭打ちになります。
Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでピッチ・エンベロープの効き具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、ピッチ・エンベロープの効き具合を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Time 1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでピッチ・エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time 4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さでピッチ・エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time Keyfollow	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によってピッチ・エンベロープの時間 (Time 2 ~ Time 4) を変化させるときに設定します。 C4 キー (中央のド) のピッチ・エンベロープの時間を基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど時間が短くなり、「-」の値にすると時間が長くなります。値を大きくするほど変化が大きくなります。 
Time 1 ~ 4	0 ~ 1023	ピッチ・エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。値を大きくするほど、次のピッチに達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Time 2 が無効になります。 
Level 0 ~ 4	-511 ~ +511	ピッチ・エンベロープのレベル (Level 0 ~ Level 4) を設定します。各ポイントでのピッチを基準のピッチ (Pitch 画面で設定したコース・チューンとファイン・チューンの値) からどれくらい変化させるかを決めます。「+」の値にすると基準ピッチより高くなり、「-」の値にすると低くなります。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Level 3 (Sustain) のみ有効になります。また、このとき負の値の設定は無効になります。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Resonance	0 ~ 1023	カットオフ周波数付近の音の成分を強調し、音色にクセを付けます。設定値を上げすぎると発振して音が歪むことがあります。
Resonance Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでレゾナンスのかかり具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほどレゾナンスの効果を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Vibrato Cutoff Sens	-100 ~ +100	プログラムの MODIFY : Vib Depth に応じて、LFO1 の TVF Depth の変化量を設定します。

FLITER ENVELOPE

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Depth	-63 ~ +63	フィルター・エンベロープの効き具合を設定します。値を大きくするほど Filter エンベロープによる変化が大きくなります。「-」の値にするとエンベロープの形が反転します。
Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	キーを押す強さで Filter エンベロープの効き具合を変化させるときの変化カーブを次の 7 種類の中から選びます。 キーを押す強さによって Filter エンベロープの効き具合を変化させないときは「FIXED」に設定します。
Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで Filter エンベロープの効き具合を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Filter エンベロープの効き具合を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Time 1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで Filter エンベロープの Time 1 (時間) を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time 4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さで Filter エンベロープの Time 4 (時間) を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time Keyfollow	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によって Filter エンベロープの時間 (Time 2 ~ Time 4) を変化させるときに設定します。C4 キー (中央のド) の Filter エンベロープの時間を基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど時間が短くなり、「-」の値にすると時間が長くなります。値を大きくするほど変化が大きくなります。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Time 1 ~ 4	0 ~ 1023	Filter エンベロープの時間 (Time 1 ~ Time 4) を設定します。値を大きくするほど、次のカットオフ周波数に達するまでの時間 (たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間) が長くなります。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Time 2 が無効になります。
Level 0 ~ 4	0 ~ 1023	Filter エンベロープのレベル (Level 0 ~ Level 4) を設定します。 各ポイントでのカットオフ周波数を基準のカットオフ周波数 (Filter 画面で設定したカットオフ周波数の値) からどれくらい変化させるかを決めます。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Level 3 (Sustain) のみ有効になります。
TVF Env Fine Depth	-63 ~ +63	フィルター・エンベロープの効き具合を微調整します。
LFO Trigger Switch	OFF、ON	ON にすると、フィルター・エンベロープを LFO1 によって周期的にトリガーします。 ※ Env Mode が SUSTAIN のときのみ有効になります。

AMP

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Level	0 ~ 127	パーシャルの音量を設定します。主に各パーシャルの音量バランスをとるときに使用します。
Level Velocity Curve	FIXED、1 ~ 7	キーを押す強さでパーシャルの音量を変化させるときの変化カーブを次の 7 種類の中から選びます。キーを押す強さによってパーシャルの音量を変化させないときは「FIXED」に設定します。
Level Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さでパーシャルの音量を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、パーシャルの音量を大きくするには「+」の値に、小さくするには「-」の値にします。
Bias Level	-100 ~ +100	バイアス・ディレクションの方向に対して音量変化の角度を設定します。値を大きくするほど変化が大きくなります。「-」の値にすると変化が逆になります。
Bias Position	0 ~ 127	音量を変化させる基準のキーを設定します。64 が C4 (中央のド) になります。
Bias Direction	バイアス・ポジションに対して変化を与える方向を設定します。	
	LOWER	バイアス・ポイントより低音域の音量を変えます。
	UPPER	バイアス・ポイントより高音域の音量を変えます。
	LOWER&UPPER	バイアス・ポイントより左右対称に音量を変えます。
Pan	ALL	バイアス・ポイントを中心にして直線的に音量を変えます。
	L64 ~ 63R	パーシャルのパンを設定します。[L64] で最も左、「0」で中央、「63R」で最も右に定位します。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Pan Keyfollow	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によってパンを変化させます。C4 キー（中央のド）のパンを基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど右に定位し、「-」の値にすると左に定位します。値を大きくするほど変化が大きくなります。
Random Pan Depth	0 ~ 63	キーを押すたびに、不規則にパンを変化させるときに設定します。値を大きくするほど変化幅が大きくなります。
Alternate Pan Depth	L63 ~ 63R	キーを押すたびに、左右交互にパンを移動させるときに設定します。値を大きくするほど変化幅が大きくなります。値には「L」と「R」があり、左右に定位する順番が逆になります。 たとえば、2 つのパーシャルをそれぞれ「L」、「R」に設定すると、2 つのトーンのパンが交互に入れ替わって発音します。
Vibrato Level Sens	-100 ~ +100	プログラムの MODIFY : Vib Depth に応じて、LFO1 の Amp Depth の変化量を設定します。
Stereo Width	0 ~ 100	Stereo 発音する場合の広がり具合を調整します。Mono 発音時には無効になります。

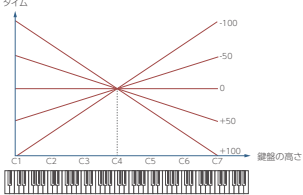
AMP ENVELOPE

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Time 1 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを押す強さで AMP エンベロープの Time 1（時間）を変化させるときに設定します。キーを強く押すほど、Time 1 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time 4 Velocity Sens	-100 ~ +100	キーを離す速さで AMP エンベロープの Time 4（時間）を変化させるときに設定します。キーを速く離すほど、Time 4 の時間を速くするには「+」の値に、遅くするには「-」の値にします。
Time Keyfollow	-100 ~ +100	押さえる鍵盤の位置によって AMP エンベロープの時間（Time 2 ~ Time 4）を変化させるときに設定します。C4 キー（中央のド）の AMP エンベロープの場合を基準に、「+」の値にすると C4 より高音域のキーを押すほど時間が短くなり、「-」の値にすると時間が長くなります。値を大きくするほど変化が大きくなります。
Time 1 ~ 4	0 ~ 1023	AMP エンベロープの時間（Time 1 ~ Time 4）を設定します。値を大きくするほど、次の音量に達するまでの時間（たとえば、Time 2 は Level 1 から Level 2 に達する時間）が長くなります。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Time 2 が無効になります。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Level 1 ~ 3	0 ~ 1023	AMP エンベロープのレベル（Level 1 ~ Level 3）を設定します。 各ポイントでの音量を基準の音量（Amp 画面で設定したパーシャル・レベルの値）からどれくらい変化させるかを決めます。 ※ ADSR Envelope Switch が ON のときは、Level 3 (Sustain) のみ有効になります。
LFO Trigger Switch	OFF, ON	ON にすると、アンプ・エンベロープを LFO1 によって周期的にトリガーします。 ※ Env Mode が SUSTAIN のときのみ有効になります。

LFO1 / LFO2

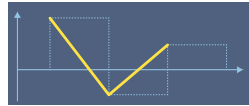
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Waveform (LFO1, LFO2)	LFO の波形を設定します。	
	SIN	正弦波
	TRI	三角波
	SAW-UP	鋸歯状波
	SAW-DW	鋸歯状波（負極性）
	SQR	矩形波
	RND	ランダム波
	TRP	台形波
	S&H	サンプル&ホールド波（1 周期に 1 回 LFO 値を変換）
	CHS	カオス波
Rate Sync (LFO1, LFO2)	VSIN	変形した正弦波。正弦波の振幅を 1 周期に 1 回ランダムに変化させます。
	STEP	LFO Step 1 ~ 16 で設定されたデータから生成される波形。ステップ・モジュレーターのような一定パターンのステップ変化が得られます。
Rate Sync (LFO1, LFO2)	OFF ON	LFO の周期をテンポに同期したい場合は ON にします。
Rate Note (LFO1, LFO2)	1/64T ~ 4	Rate Sync が ON のときに有効になります。 LFO の周期を音符長で設定します。
Rate (LFO1, LFO2)	0 ~ 1023	Rate Sync が OFF のときに有効になります。 LFO の周期をテンポには無関係に設定します。値を大きくすると LFO の周期が短くなります。
Offset (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	LFO の波形を、中心となる値（ピッチやカットオフ周波数）から上下にずらします。「+」の値にすると中心となる値から上で揺れるように波形が移動し、「-」の値にすると中心となる値から下で揺れるように波形が移動します。
Rate Detune (LFO1, LFO2)	0 ~ 127	キーを押すたびに、LFO の周期の速さ（Rate）を微妙に変えます。設定値が大きくなるほど、変化幅が広がります。 Rate が「音符」に設定されているときは、このパラメーターは無効です。
Delay Time (LFO1, LFO2)	0 ~ 1023	キーを押した（離れた）あと、LFO の効果がかかる（効果が持続する）までの時間を設定します。 ※ 「LFO のかけかた」(P.28) を参考に、目的に合わせて設定してください。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Delay Time Keyfollow (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	C4 キー（中央のド）を基準に押さえるキーの位置によって、Delay Time の値を変えます。高音域のキーを押すほど LFO の効果がかかる（効果が持続する）までの場合間を短くするには「+」の値に、長くするには「-」の値にします。値を大きくするほど変化が大きくなります。押さえるキーの位置によって LFO の効果がかかる（効果が持続する）までの時間を変えないときは「0」にします。 
Fade Mode (LFO1, LFO2)	ON-IN ON-OUT OFF-IN OFF-OUT	LFO のかかりかたを設定します。 ※ 「LFO のかけかた」 (P.28) を参考に、目的に合わせて設定してください。
Fade Time (LFO1, LFO2)	0 ~ 1023	LFO の振幅が最大（最小）になるまでの時間を設定します。 ※ 「LFO のかけかた」 (P.28) を参考に、目的に合わせて設定してください。
Key Trigger (LFO1, LFO2)	OFF, ON	キーを弾いたタイミングと、LFO の周期が始まるタイミングを合わせるか（ON）、合わせないか（OFF）設定します。
Pitch Depth (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	LFO をピッチ（音の高さ）にかけるとき、そのかかり具合を設定します。 ※ OSC Type が VA 以外のときは、設定範囲が -63 ~ +63 に制限されます。
Filter Depth (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	LFO をカットオフ周波数にかけるとき、そのかかり具合を設定します。
Amp Depth (LFO1, LFO2)	-100 ~ +100	LFO を音量にかけるとき、そのかかり具合を設定します。
Pan Depth (LFO1, LFO2)	-63 ~ +63	LFO をパンにかけるとき、そのかかり具合を設定します。 メモ それぞれのデプスが「+」の値のときと「-」の値の場合では、ピッチや音量の変化のしかたが逆になります。たとえば、1 つのパーシャルでデプスを「+」の値に設定し、もう 1 つのパーシャルで「-」側に同じだけデプスをかけると、うねりの位相が逆になります。これによって、異なるパーシャルを入れ替わりで鳴らしたり、パンと組み合わせて周期的に音像を動かしたりできます。
Phase Position (LFO1, LFO2)	0 1 2 3	Key Trigger が ON のときの LFO の開始位相値を設定します。 ※ Waveform が RND、S&H、CHS のときは無効になります。 0 1 周期 1 1/4 周期 2 1/2 周期 3 3/4 周期
Step Size (LFO1, LFO2)	1 ~ 16	Waveform が STEP のときに有効になります。 ループする STEP サイズを設定します。
Step 1-16 (LFO1, LFO2)	-72 ~ +72	Waveform が STEP のときに有効になります。 各 STEP の Depth 値を設定します。 音階単位（100cent）で設定したい場合は以下ようになります。 1 Pitch Depth : 51、Step : 6 刻み ...1 オクターブまで変化可能 2 Pitch Depth : 74、Step : 3 刻み ...2 オクターブまで変化可能 3 Pitch Depth : 89、Step : 2 刻み ...3 オクターブまで変化可能 ※ OSC Type が VA でない場合は、Pitch Depth の設定範囲が -63 ~ +63 に制限されるので、上記の 1 のみとなります。

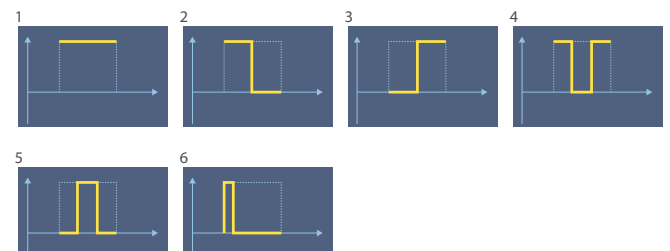
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Step Curve 1-16 (LFO1, LFO2)	0 ~ 36	各ステップのカーブの種類を設定します。 ⇒ 「ステップのカーブの種類」 (P.27)

ステップのカーブの種類

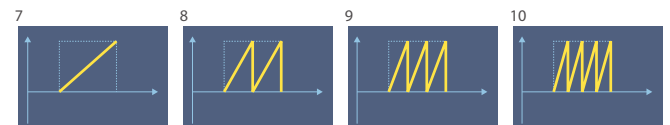
Step Curve 0



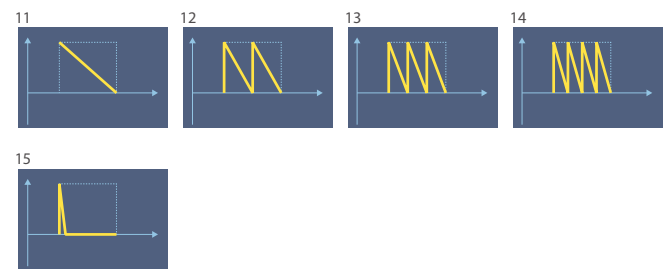
Step Curve 1 ~ 6 (矩形のパリエーション)



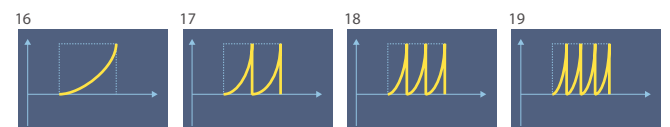
Step Curve 7 ~ 10 (SAW の上昇形のパリエーション)



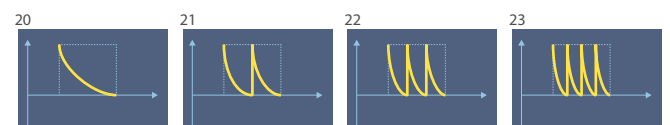
Step Curve 11 ~ 15 (SAW の下降形のパリエーション)



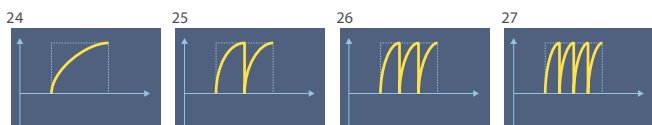
Step Curve 16 ~ 19 (指数関数的な上昇形のパリエーション)



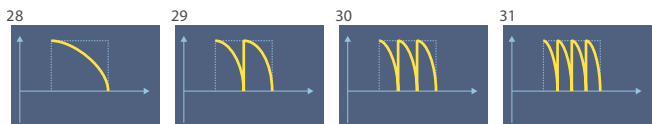
Step Curve 20 ~ 23 (指数関数的な下降形のパリエーション)



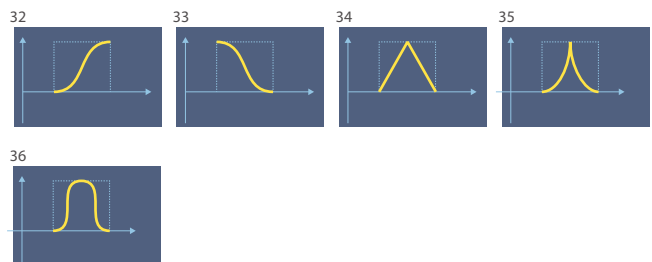
Step Curve 24 ~ 27 (充電カーブの上昇形のバリエーション)



Step Curve 28 ~ 31 (充電カーブの下降形のバリエーション)



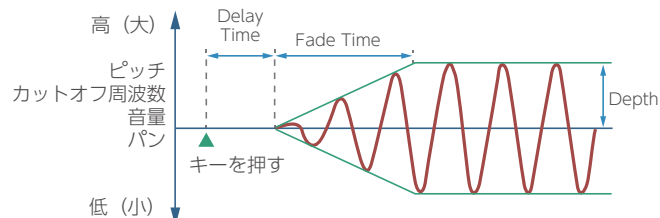
Step Curve 32 ~ 36 (その他のバリエーション)



LFO のかけかた

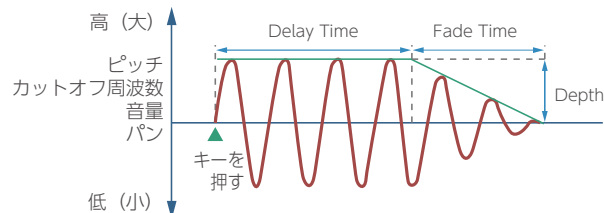
キーを押したあと、徐々に LFO をかける

Fade Mode : ON-IN



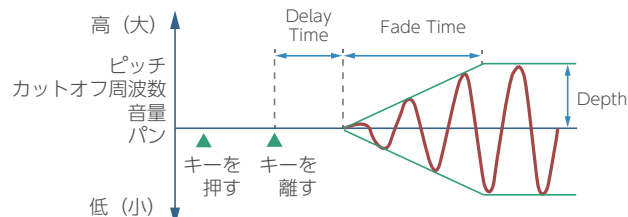
キーを押してすぐに LFO をかけ、徐々にその効果を弱める

Fade Mode : ON-OUT



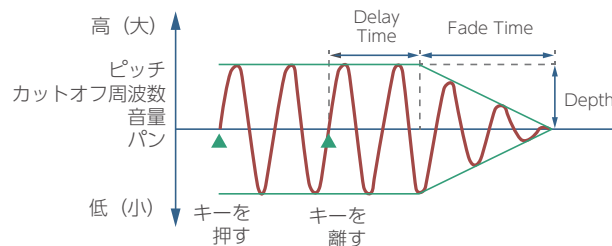
キーを離したあと、徐々に LFO をかける

Fade Mode : OFF-IN



キーを押してから離すまで LFO をかけ、キーを離したあと、徐々にその効果を弱める

Fade Mode : OFF-OUT



PARTIAL EQ

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF、ON	各パーシャルのイコライザーをオン/オフします。
Low Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	低域の増幅/減衰量を調節します。
Mid Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	中域の増幅/減衰量を調節します。
High Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	高域の増幅/減衰量を調節します。
Low Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	中域の基準周波数を設定します。
High Frequency	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。
Mid Q	0.5 ~ 16.0 (0.1step)	中域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

OUTPUT

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Output Assign	DRY、MFX	パーシャルごとに出力先を設定します。
Chorus Send Level	0 ~ 127	パーシャルごとにコーラスへ送る信号のレベルを設定します。
Reverb Send Level	0 ~ 127	パーシャルごとにリバーブへ送る信号のレベルを設定します。

CONTROL

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Envelope Mode	NO-SUS、SUSTAIN	SUSTAIN に設定すると、エンベロープが Time 3 を過ぎたら、ノート・オフするまで Envelope Level 3 を維持します。 ノート・オフすると、現在値から Time 4 区間 (リリース区間) に移行します。 NO-SUS に設定すると、ノート・オフのタイミングに関係なく、Time 3 を過ぎたらリリース区間に移行して、エンベロープで設定された時間どおりに動作します。
Damper Free Note	OFF、1 ~ 127	指定したノート・ナンバー以上のノートに対して Envelope Mode を NO-SUS にして動作させます。 ピアノ音色の Damper Free 鍵域を模擬するのに使用します。
Receive Bender	OFF、ON	パーシャルごとに、MIDI のピッチ・ベンド・メッセージを受信するか「ON」、受信しないか「OFF」を設定します。
Receive Expression	OFF、ON	パーシャルごとに、MIDI のエクスプレッション・メッセージを受信するか「ON」、受信しないか「OFF」を設定します。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Receive Hold-1	OFF, ON	パーシャルごとに、MIDI のホールド 1・メッセージを受信するか「ON」、受信しないか「OFF」を設定します。
Redamper Switch	OFF, ON	Redamper Switch を ON にすると、Piano 音色で使用する Half Damper の動作が行えるようになります。 ただし、動作するには以下の条件を満たしておく必要があります。 - Envelope Mode が NO-SUS - Amp Envelope の Level1, 2 が 1 以上 - Amp Envelope の Time が Time 3 > Time4
Soft EQ Sens	0 ~ 100	ペダル量に応じて、EQ の High Gain を下げる比率を上げます。 0 で無効になります。
Damper Free Decay Offset	-100 ~ 100	Damp Free の効果をかけるときの、音が減衰する時間を微調整します。
Wave Tempo Sync	OFF, ON	LFO の周期をテンポに同期したい場合は ON にします。

MATRIX CONTROL

外部 MIDI 機器からパーシャルのパラメーターを変えたいとき、通常はシステム・エクススクルーシブ・メッセージと呼ばれる AX-Edge 特有の MIDI メッセージを送信しなければなりません。しかし、システム・エクススクルーシブ・メッセージを使うと設定が煩雑になるだけでなく、転送するデータ量が多くなってしまいます。

そこで AX-Edge では、パーシャルのパラメーターのうち代表的なものをコントロール・チェンジ・メッセージなどの MIDI メッセージで変更できるようになっています。

たとえば、モジュレーション・バーを使って LFO の周期の速さを変えたり、鍵盤タッチによってフィルターを開けたり閉めたりなど、トーンの鳴らしかたをいろいろ変えることができます。

このように、MIDI メッセージを使ってパーシャルのパラメーターをリアルタイムに変化させる機能を「**マトリックス・コントロール**」と呼びます。

マトリックス・コントロールは、1 つのトーンで 4 つまで使うことができます。

マトリックス・コントロールを使うときは、どの MIDI メッセージ (Source: ソース) で、どのパラメーター (Destination: デスティネーション) を、どれくらいコントロール (Sens: センス) するかを設定します。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Source 1 ~ 4 (Matrix Control 1 ~ 4)		マトリックス・コントロールを使うとき、どの MIDI メッセージでパーシャルのパラメーターを変えるかを設定します。
	OFF	マトリックス・コントロールを使いません。
	CC01 ~ 31、 CC33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、33 ~ 95
	BEND	ピッチ・ベンド
	AFT	アフタータッチ
	SYS-CTRL1 ~ 4	SYSTEM パラメーター SYS-CTRL1 ~ 4 で設定された MIDI メッセージ。
	VELOCITY	ペロシティー (鍵盤を強く強く)
	KEYFOLLOW	キーフォロー (C4 を 0 とするキーの位置)
	TEMPO	テンポ・アサイン・ソースで設定したテンポ
	LFO1、LFO2	LFO 1 LFO 2
	PIT-ENV	ピッチ・エンベロープ
	FLT-ENV	TVF エンベロープ
	AMP-ENV	TVA エンベロープ
		※ ペロシティー、キーフォローは、ノート・メッセージに対応します。
		※ LFO 1 ~ TVA エンベロープは MIDI メッセージではありませんが、マトリックス・コントロールとして使うことができます。この場合、トーンを鳴らすことによってパーシャルの設定をリアルタイムに変化させることができます。
		※ AX-Edge 全体で共通のコントローラーを使いたいときは、[SYS-CTRL1] ~ [SYS-CTRL4] を選びます。システム・コントロール 1 ~ 4 として使う MIDI メッセージは、SysCtrlSrc1 ~ 4 で設定します (P.39)。
		➡ コントロール・チェンジ・メッセージについて、詳しくは「 MIDI インプリメンテーション 」(PDF) をご覧ください。
		ご注意！
		- パーシャルごとにピッチ・ベンド、コントローラー・ナンバー 11 (エクスプレッション)、コントローラー・ナンバー 64 (ホールド 1) を受信するかどうかを決めるパラメーターがあります (P.28)。これらの設定が「ON」になっていると、その MIDI メッセージを受信したときに、目的のパラメーターの設定を変えると同時にピッチ・ベンド/エクスプレッション/ホールド 1 の設定も変わってしまいます。目的のパラメーターの設定だけを変えたいときは「OFF」に設定してください。 - プログラムでは、パートごとに特定の MIDI メッセージを受信するかどうかを決めるパラメーターがあります (P.10)。マトリックス・コントロールの設定をしたトーンをパートに割り当てているときは、マトリックス・コントロールに使う MIDI メッセージが受信できる状態であることを確認してください。MIDI メッセージが受信できない状態のときは、マトリックス・コントロールは動作しません。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Destination 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4)		マトリックス・コントロールを使って、パーシャルのどのパラメーターをコントロールするかを設定します。コントロールできるパラメーターは以下のとおりです。 マトリックス・コントロールでパラメーターをコントロールしないときは「OFF」にします。 1つのマトリックス・コントロールに4つまでのパラメーターを指定でき、同時にコントロールできます。
	OFF	マトリックス・コントロールを使いません。
	PCH	ピッチを変えます。
	CUT	カットオフ周波数を変えます。
	RES	カットオフ周波数付近の音の成分を強調して、音にクセを付けます。
	LEV	音量を変えます。
	PAN	パンを変えます。
	CHO	コーラスのかかり具合を変えます。
	REV	リバーブのかかり具合を変えます。
	PIT-LFO1	ビブラート効果のかかり具合を変えます。
	PIT-LFO2	
	TVF-LFO1	ワウ効果のかかり具合を変えます。
	TVF-LFO2	
	TVA-LFO1	トレモロ効果のかかり具合を変えます。
	TVA-LFO2	
	PAN-LFO1	パンに LFO をかけるときのかかり具合を変えます。
	PAN-LFO2	
	LFO1-RATE	LFO の周期の速さを変えます。LFO Rate が「音符」に設定されていると、速さは変わりません。
	LFO2-RATE	
	PIT-ATK	ピッチ・エンベロープの Time 1 を変えます。
	PIT-DCY	ピッチ・エンベロープの Time 2、Env Time 3 を変えます。
	PIT-REL	ピッチ・エンベロープの Time 4 を変えます。
	TVF-ATK	TVF エンベロープの Time 1 を変えます。
	TVF-DCY	TVF エンベロープの Time 2、Env Time 3 を変えます。
	TVF-REL	TVF エンベロープの Time 4 を変えます。
	TVA-ATK	TVA エンベロープの Time 1 を変えます。
	TVA-DCY	TVA エンベロープの Time 2、Env Time 3 を変えます。
	TVA-REL	TVA エンベロープの Time 4 を変えます。
	PMT	マトリックス・コントロールでパーシャルを鳴らし分けるときは、PMT Velocity Control (P.19) を「OFF」にします。 - マトリックス・コントロールでパーシャルを鳴らし分けるとき、Sens (P.30) は「+63」に設定することをおすすめします。これより小さい値に設定すると、パーシャルがうまく切り替わらないことがあります。また、効果を逆転させたいときは「-63」に設定します。 - マトリックス・コントロールでパーシャルをなめらかに切り替えたいときは、Velocity Fade Lower、Velocity Fade Upper を設定してください (P.21)。大きな値にするほど、なめらかに切り替わります。
	FXM	FXM による周波数変調の深さを変えます。
	MFx-CTRL1	MFx CONTROL1 ~ 4 Source に対して変化を与えます。複数 Partial で指定されたときは、それぞれを加算した値になります。
	MFx-CTRL2	
	MFx-CTRL3	
	MFx-CTRL4	
	PW	PW に変化を与えます。
	PWM	PWM に変化を与えます。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Destination 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4)	FAT	FAT に変化を与えます。
	CROSS-MOD	設定はキャリア側 (Partial1 または 3) の Partial のみ有効で、CrossMod1-2 Depth または CrossMod3-4 Depth に対して変化を与えます。
	LFO1-STEP	LFO1/LFO2 の Waveform が STEP のときに有効で、ステップ位置を指定します。このとき、Sens の値は無効になります。
	LFO2-STEP	
	SSAW-DETN	OSC Type が SuperSAW のときに有効で、Super-SAW Detune に対して変化を与えます。
	PIT_DEPTH	ピッチ・エンベロープの Depth に変化を与えます。
	TVF_DEPTH	Filter エンベロープの Depth に変化を与えます。
	TVA_DEPTH	AMP エンベロープの Depth に変化を与えます。
	CROSS-MOD2	Structure1-2 (3-4) が CROSS-MOD2 のときに有効で、XMd2 12 (34) Dpth に変化を与えます。
	ATT	OSC のレベルを変えます。
	RING-OSC1-LEV	Partial1、3 のみ有効で、Strucure12 (Partial3 のときは Strucure34) が RING のとき、Partial1 (Partial3 のときは 3) の OSC レベルを変えます。
	RING-OSC2-LEV	Partial1、3 のみ有効で、Strucure12 (Partial3 のときは Strucure34) が RING のとき、Partial2 (Partial3 のときは 4) の OSC レベルを変えます。
	CROSS-MOD-OSC1-LEV	Partial1、3 のみ有効で、Strucure12 (Partial3 のときは Strucure34) が CROSS-MOD/CROSS-MOD2 のとき、Partial1 (Partial3 のときは 3) の OSC レベルを変えます。
	CROSS-MOD-OSC2-LEV	Partial1、3 のみ有効で、Strucure12 (Partial3 のときは Strucure34) が CROSS-MOD/CROSS-MOD2 のとき、Partial2 (Partial3 のときは 4) の OSC レベルを変えます。
Sens 1 ~ 4 (MATRIX CONTROL 1 ~ 4)	-63 ~ +63	マトリックス・コントロールの効果のかかり具合を設定します。 現在の値からプラス方向 (大きい値、右方向、速いなど) に変化させるときは「+」の値に、マイナス方向 (小さい値、左方向、遅いなど) に変化させるときは「-」の値に設定します。 「+」、「-」共に数値が大きいほど変化は大きくなります。 効果をかけないときは「0」にします。

SYSTEM EFFECT パラメーター

SYSTEM EFFECT (システム・エフェクト)

1. **[MENU/WRITE] ボタンを押します。**
2. カーソル **[◀ ▶]** ボタンで **[SYSTEM EFFECT]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. カーソル **[◀ ▶]** ボタンでパラメーターを選び、**[-] [+]** ボタンで値を変更します。

メモ

変更を保存するときは、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[MENU/WRITE]** ボタンを押します。

実行：**[ENTER]** ボタンを押します。

中止：**[EXIT]** ボタンを押します。

※ システム・エフェクトを保存するときは、システム・エフェクト設定画面で、ライト操作をしてください。他の画面では、システム・エフェクトの保存ができません。

SYS CHORUS

パラメーター [◀ ▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
コーラス・タイプ (Chorus Type)	コーラスのタイプを選びます。 [Enter] ボタンを押すと、選ばれたタイプのパラメーターが表示されます。	
Switch	OFF, ON	コーラスのオン/オフを設定します。
Level	0 ~ 127	コーラスをかけた音の出力レベルを設定します。
コーラス・パラメーター	選んだコーラスのパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、Chorus Type で設定したコーラスの種類によって異なります。 ➡ 「コーラス・パラメーター」 (P.32)	
Rev Send (Reverb Send)	0 ~ 127	リバーブへのセンド・レベルを設定します。

SYS REVERB

パラメーター [◀ ▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
リバーブ・タイプ (Reverb Type)	リバーブのタイプを選びます。 [Enter] ボタンを押すと、選ばれたタイプのパラメーターが表示されます。	
Switch	OFF, ON	リバーブのオン/オフを設定します。
Level	0 ~ 127	リバーブをかけた音の出力レベルを設定します。
リバーブ・パラメーター	選んだリバーブのパラメーターを設定します。選べるパラメーターは、Reverb Type で設定したリバーブの種類によって異なります。 ➡ 「リバーブ・パラメーター」 (P.34)	

MASTER COMP

パラメーター [◀ ▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	マスター COMP (AX-Edge の音源全体にかけられるコンプレッサー) を、使う (ON) か使わない (OFF) かを設定します。
Split Low (Low Split Frequency)	16 ~ 16000 [Hz]	低域 (LOW) と中域 (MID) の帯域を分割する周波数を設定します。
Split High (High Split Frequency)		高域 (HIGH) と中域 (MID) の帯域を分割する周波数を設定します。
Low Attack (Low Attack)	0.1 ~ 100 [ms]	Low Thres を超える入力があったときに、低域の音量を圧縮するまでの時間を設定します。
Low Rels (Low Release)	10 ~ 1000 [ms]	圧縮がかかっている状態から、入力が Low Thres より小さくなって、低域の圧縮をやめるまでの時間を設定します。

パラメーター [◀ ▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Low Thres (Low Threshold)	-60 ~ 0 [dB]	低域の圧縮を始める音量レベルを設定します。
Low Ratio (Low Ratio)	1:1、2:1、3:1、4:1、8:1、16:1、32:1、INF:1	低域の圧縮比を設定します。
Low Knee (Low Knee)	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Low Thres より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
Low Gain (Low Gain)	-24.0 ~ +24.0 [dB]	低域の出力音量を設定します。
Mid Attack (Mid Attack)	0.1 ~ 100 [ms]	Mid Thres を超える入力があったときに、中域の音量を圧縮するまでの時間を設定します。
Mid Rels (Mid Release)	10 ~ 1000 [ms]	圧縮がかかっている状態から、入力が Mid Thres より小さくなって、中域の圧縮をやめるまでの時間を設定します。
Mid Thres (Mid Threshold)	-60 ~ 0 [dB]	中域の圧縮を始める音量レベルを設定します。
Mid Ratio (Mid Ratio)	1:1、2:1、3:1、4:1、8:1、16:1、32:1、INF:1	中域の圧縮比を設定します。
Mid Knee (Mid Knee)	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Mid Thres より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
Mid Gain (Mid Gain)	-24.0 ~ +24.0 [dB]	中域の出力音量を設定します。
High Attack (High Attack)	0.1 ~ 100 [ms]	High Thres を超える入力があったときに、高域の音量を圧縮するまでの時間を設定します。
High Rels (High Release)	10 ~ 1000 [ms]	圧縮がかかっている状態から、入力が High Thres より小さくなって、高域の圧縮をやめるまでの時間を設定します。
High Thres (High Threshold)	-60 ~ 0 [dB]	高域の圧縮を始める音量レベルを設定します。
High Ratio (High Ratio)	1:1、2:1、3:1、4:1、8:1、16:1、32:1、INF:1	高域の圧縮比を設定します。
High Knee (High Knee)	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 High Thres より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
High Gain (High Gain)	-24.0 ~ +24.0 [dB]	高域の出力音量を設定します。

MASTER EQ

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Switch	OFF, ON	マスター EQ (AX-Edge の音源全体にかけるイコライザー) を、使う (ON) が使わない (OFF) かを設定します。
In Gain (Input Gain)	-24 ~ +24 [dB]	EQ への入力の増幅／減衰量を調節します。
Lo Gain (Low Gain)	-24 ~ +24 [dB]	低域の増幅／減衰量を調節します。
Lo Freq (Low Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	低域の基準周波数を設定します。
Mid1 Gain (Mid1 Gain)	-24 ~ +24 [dB]	中域 1 の増幅／減衰量を調節します。
Mid1Freq (Mid1 Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	中域 1 の基準周波数を設定します。
Mid1 Q (Mid1 Q)	0.5 ~ 16.0	中域 1 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid2 Gain (Mid2 Gain)	-24 ~ +24 [dB]	中域 2 の増幅／減衰量を調節します。
Mid2Freq (Mid2 Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	中域 2 の基準周波数を設定します。
Mid2 Q (Mid2 Q)	0.5 ~ 16.0	中域 2 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid3 Gain (Mid3 Gain)	-24 ~ +24 [dB]	中域 3 の増幅／減衰量を調節します。
Mid3 Freq (Mid3 Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	中域 3 の基準周波数を設定します。
Mid3 Q (Mid3 Q)	0.5 ~ 16.0	中域 3 の帯域幅を設定します。値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Gain (High Gain)	-24 ~ +24 [dB]	高域の増幅／減衰量を調節します。
HighFreq (High Frequency)	20 ~ 16000 [Hz]	高域の基準周波数を設定します。

コーラス・パラメーター

ご注意！

SYSTEM EFFECT のコーラスは、現在選ばれているプログラムの CHORUS Src が **[PRG]** に設定されている場合は、変更できません (PROGRAM SOUND パラメーター)。プログラム側でコーラスの値を設定するか、Src を **[SYS]** に変更してから設定します。

CHORUS

ステレオ仕様のコーラスです。

パラメーター	設定値	説明
Rate	0 ~ 127	揺れの周期を調節します。
Depth	0 ~ 127	揺れの深さを調節します。
Feedback	0 ~ 127	コーラスの音を入力に戻すレベルを調節します。

CE-1

BOSS 往年のコーラス・エフェクターの名機 CE-1 のモデリングです。アナログ独特の温かみのあるコーラス・サウンドです。

パラメーター	設定値	説明
Intensity	0 ~ 127	コーラスのかかり具合を調節します。

SDD-320

ローランドの DIMENSION D (SDD-320) のモデリングです。さわやかなコーラス・サウンドです。

パラメーター	設定値	説明
Mode	1 ~ 4, 1+4, 2+4, 3+4	モードを切り替えます。

DELAY

ステレオ仕様のディレイです。

パラメーター	設定値	説明
Dly Sync (sync sw)	OFF, ON	ON のとき、テンポに同期します。
Dly Msec (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Dly Note (note)	音符 → 「音符」 (P.77)	
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス：逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS：カットしない)。

T-CTRL DELAY

ディレイ・タイムをなめらかに変化させることができるディレイです。

パラメーター	設定値	説明
Dly Sync (sync sw)	OFF, ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Dly Msec (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Dly Note (note)	音符 → 「音符」 (P.77)	
Acceleration	0 ~ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの時間を調節します。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス：逆相)。

パラメーター	設定値	説明
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS: カットしない)。

DELAY → TREMOLO

ディレイ音にトレモロがかかります。

パラメーター	設定値	説明
Input	MONAURAL	入力をモノ・ミックスします。
	STEREO	ステレオで入力します。
Dly Sync (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Dly Msec (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Dly Note (note)	音符 → 「音符」 (P.77)	
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS: カットしない)。
Trm Switch	OFF、ON	トレモロ効果のオン/オフを設定します。
Trm ModWave	定位の変化のしかた	
	TRI	三角波
	SQR	矩形波
	SIN	正弦波
	SAW1	のこぎり波
	SAW2	
	TRP	台形波
Trm Sync (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、トレモロがテンポに同期します。
Trm Hz (Hz)	0.05 ~ 10.00 [Hz]	トレモロのかかる周期を調節します。
Trm Note (note)	音符 → 「音符」 (P.77)	
Trm Depth	0 ~ 127	トレモロのかかる深さを調節します。

2TAP PAN DELAY

お好みの 2 方向にディレイ音が鳴らせます。

パラメーター	設定値	説明
Dly Sync (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Dly Msec (msec)	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから 2 番目のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Dly Note (note)	音符 → 「音符」 (P.77)	
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS: カットしない)。
Dly 1 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 1 の定位を調節します。
Dly 2 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 2 の定位を調節します。
Dly 1 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 の音量を調節します。
Dly 2 Level	0 ~ 127	ディレイ 2 の音量を調節します。

3TAP PAN DELAY

お好みの 3 方向にディレイ音が鳴らせます。

パラメーター	設定値	説明
Dly Sync (sync sw)	OFF、ON	ON のとき、ディレイがテンポに同期します。
Dly Msec (msec)	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから 3 番目のディレイ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Dly Note (note)	音符 → 「音符」 (P.77)	

パラメーター	設定値	説明
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合を調節します (マイナス: 逆相)。
HF Damp	200 ~ 8000 [Hz]、 BYPASS	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS: カットしない)。
Dly 1 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 1 の定位を調節します。
Dly 2 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 2 の定位を調節します。
Dly 3 Pan	L64 ~ 63R	ディレイ 3 の定位を調節します。
Dly 1 Level	0 ~ 127	ディレイ 1 の音量を調節します。
Dly 2 Level	0 ~ 127	ディレイ 2 の音量を調節します。
Dly 3 Level	0 ~ 127	ディレイ 3 の音量を調節します。

JUNO-106 CHORUS

ローランドの JUNO-106 のコーラスのモデリングです。

パラメーター	設定値	説明
Mode	I、II、I+II、JX I、 JX II	コーラスのモードです。 I+II: 同時に 2 つのボタンを押したときの状態です。
Noise Level	0 ~ 127	ノイズの音量を調節します。

リバーブ・パラメーター

ご注意！

SYSTEM EFFECT のリバーブは、現在選ばれているプログラムの REVERB Src が **[PRG]** に設定されている場合は、変更できません (PROGRAM SOUND パラメーター)。プログラム側でリバーブの値を設定するか、Src を **[SYS]** に変更してから設定します。

INTEGRA

パラメーター	設定値	説明
Type	01 : ROOM1 02 : ROOM2 03 : HALL1 04 : HALL2 05 : PLATE	リバーブのタイプを選びます。 OFF : リバーブ未使用 Room 1/2 : ルーム Hall 1/2 : ホール Plate : プレート
Pre Delay	0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	0.1 ~ 10.0 [sec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Density	0 ~ 127	リバーブ音の密度を調節します。
Diffusion	0 ~ 127	リバーブ音の密度の時間変化値が大きいほど時間がたつにしたがって、濃密な音になります。 (リバーブタイムを長くした場合に効果がよくあらわれます。)
LF Damp	0 ~ 100	リバーブ音の低域成分を調節します。
HF Damp	0 ~ 100	リバーブ音の高域成分を調節します。
Spread	0 ~ 127	リバーブ音の広がりを調節します。
Tone	0 ~ 127	リバーブ音の音質を調節します。

WARM HALL

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	0.3 ~ 30 [sec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
PreLPF	16 ~ 15000 [Hz]、Bypass	リバーブに入力する音の広域成分をカットする基準周波数を調節します。
PreHPF	16 ~ 15000 [Hz]、Bypass	リバーブに入力する音の低域成分をカットする基準周波数を調節します。
PreLoop LPF	16 ~ 15000 [Hz]、Bypass	長い残響音の広域成分をカットする基準周波数を調節します。
Diffusion	0 ~ 127	リバーブ音の密度の時間変化を調節します。
HF Damp Freq	1000 ~ 8000 [Hz]	リバーブ音の広域成分をカットする基準周波数を調節します。
HF Damp Ratio	0.1 ~ 1.0	リバーブ音の広域成分の減衰量を調節します。

HALL

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Size	1 ~ 8	部屋／ホールの大きさを調節します。
High Cut	160 ~ 12500 [Hz]、BYPASS	最終出力音の高域成分をカットする基準周波数を調節します (BYPASS: カットしない)。
Density	0 ~ 127	リバーブ音の密度を調節します。
Diffusion	0 ~ 127	リバーブ音の密度の時間変化値が大きいほど時間がたつに従って、濃密な音になります (リバーブ・タイムを長くした場合に効果がよくあらわれます)。
LF Damp F	50 ~ 4000 [Hz]	リバーブ音の低域成分をカットする基準周波数を調節します。

パラメーター	設定値	説明
LF Damp G	-36 ~ 0 [dB]	LF ダンプの減衰量を調節します (0: 効果なし)。
HF DampF	4000 ~ 12500 [Hz]	リバーブ音の高域成分をカットする基準周波数を調節します。
HF Damp G	-36 ~ 0 [dB]	HF ダンプの減衰量を調節します (0: 効果なし)。

GS

パラメーター	設定値	説明
Char	ROOM1 ~ 3、HALL1 ~ 2、PLATE、DELAY、PAN-DELAY	リバーブの種類を選びます。
Pre LPF	0 ~ 7	リバーブに入力する音の、高域成分の減衰量を調節します。
Level	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
Feedback	0 ~ 127	リバーブ音を入力に戻すレベルを調節します。

SRV2000

パラメーター	設定値	説明
Selection	Roland DIGITAL REVERB SRV-2000 のリバーブの種類を選びます。	
	R37 ~ R0.3	ルーム・リバーブ。 値が大きくなるほど部屋の大きさが大きくなります。
	H37 ~ H15	ホール・リバーブ。 値が大きくなるほどコンサート・ホールの大きさが大きくなります。
	P-B	プレート・リバーブ。 P-A よりも派手なリバーブ音です。
	P-A	プレート・リバーブ。
Pre Delay	0 ~ 160	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	1 ~ 990 [msec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
HF Damp	0.05 ~ 1.00	リバーブ音の高域成分を調節します。
Density	0 ~ 9	後部残響音の密度を調節します。
Attack Gain	0 ~ 9	初期反射音のゲインを調節します。
Attack Time	0 ~ 9	初期反射音の時間を調節します。
ER Density	0 ~ 9	初期反射音の密度を調節します。
ER Level	0 ~ 99	初期反射音の音量を調節します。
Low Freq	0.04 ~ 1.00 [kHz]	低域の基準周波数を設定します。
Low Gain	-24 ~ +12 [dB]	低域の増幅／減衰量を調節します。
Mid Freq	0.25 ~ 9.99 [kHz]	中域の基準周波数を設定します。
Mid Gain	-24 ~ +12 [dB]	中域の増幅／減衰量を調節します。
Mid Q	0.2 ~ 9.0	中域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
High Freq	0.80 ~ 9.99 [kHz]	高域の基準周波数を設定します。
High Gain	-24 ~ +12 [dB]	高域の増幅／減衰量を調節します。
HIGH Q	0.2 ~ 9.0	高域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

SRV2000 NONLINEAR

パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0 ~ 120 [msec]	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間を調節します。
Time	-0.9 ~ +99.0 [sec]	リバーブ音の余韻の長さを調節します。
GateTime	10 ~ 450	リバーブ音の余韻の長さを調節します。

パラメーター	設定値	説明
EQ Low Frequency	0.04 ~ 1.00 [kHz]	低域の基準周波数を設定します。
EQ Low Gain	-24 ~ +12 [dB]	低域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Mid Frequency	0.25 ~ 9.99 [kHz]	中域の基準周波数を設定します。
EQ Mid Gain	-24 ~ +12 [dB]	中域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Mid Q	0.2 ~ 9.0	中域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。
EQ High Frequency	0.80 ~ 9.99 [kHz]	高域の基準周波数を設定します。
EQ High Gain	-24 ~ +12 [dB]	高域の増幅／減衰量を調節します。
EQ Hi Q	0.2 ~ 9.0	高域の帯域幅を設定します。 値を大きくするほど幅が狭くなります。

GM2 REVERB

パラメーター	設定値	説明
Character	0 ~ 5	リバーブの種類を選びます。
Time	0 ~ 127	リバーブ音の余韻の長さを調節します。

システム・パラメーター

AX-Edge 全体の設定をします。

GENERAL

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
MasterTune	415.3 ~ 466.2	全体のチューニングをします。表示の値は A4 キー（中央のラ）の周波数です。
MasKeyShift (Master Key Shift)	-24 ~ 24	全体の音域を半音単位で移動します。
Scale Tune Sw (Scale Tune Switch)	OFF, ON	プログラムの SCALE TUNE の設定を有効 (ON) / 無効 (OFF) にします。
Tempo	20 ~ 250	システムのテンポを設定します。
Tempo Src (Tempo Source)	PRG, SYS	プログラムを切り替えたとき、システムのテンポに従うか (SYS)、プログラムに記憶されているテンポに従うか (PRG) を設定します。
Player Level	0 ~ 127	Song Player の音量を調整します。
Out Gain (Output Gain)	-12 ~ +12 [dB]	AX-Edge の出力ゲインを調節します。
Bluetooth	OFF, ON	Bluetooth の通信を有効 (ON) / 無効 (OFF) にします。
Auto Off	OFF, 30, 240 [min]	一定時間がたつと自動で電源が切れるようにします。 自動で電源を切る必要がない場合は、[OFF] に設定します。
LCD Contrast	1 ~ 10	ディスプレイの文字表示の濃さを調節します。

KEYBOARD

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Velocity		鍵盤を弾いたときに送信されるペロシティーの値を設定します。
	REAL	キーを押さえる強さに応じたペロシティーを送信します。
	1 ~ 127	キーを押さえる強さに関係なく、常に一定のペロシティーを送信します。
Velo Crv (Velocity Curve)		鍵盤タッチを設定します。
	LIGHT	鍵盤のタッチ感を軽めの設定にします。 MEDIUMより弱いタッチでフォルティッシモ (ff) が出せるので、鍵盤が軽くなったように感じられます。力の弱いかたでも、演奏しやすい設定です。
	MEDIUM	鍵盤のタッチ感を標準設定にします。
	HEAVY	鍵盤のタッチ感を重めの設定にします。 MEDIUMより強いタッチで弾かないとフォルティッシモ (ff) が出せなくなるので、鍵盤が重くなったように感じられます。ダイナミックに弾くとき、さらに感情がこめられます。
Velo Offset (Velocity Curve Offset)	-10 ~ +9	キーボード・ペロシティー・カーブを調節します。 値を小さくするほど、タッチ感がより軽くなります。 値を大きくするほど、タッチ感がより重くなります。

MIC

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
NS Switch (Noise Suppressor Switch)	OFF, ON	ノイズ・サプレッサーのオン、オフを設定します。 ノイズ・サプレッサーは無音時のノイズを抑える機能です。
NS Threshold (Noise Suppressor Threshold)	0 ~ 127	ノイズを抑え始める音量を調整します。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
NS Release (Noise Suppressor Release)	0 ~ 127	ノイズを抑え始めてから、音量が 0 になるまでの時間を調節します。

CTRL BUTTON

CTRL BUTTON の設定は、現在選ばれているプログラムの設定に従うか、システムの設定に従うかを変更することができます。

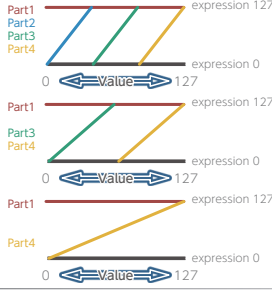
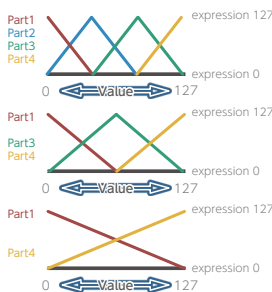
現在選ばれているプログラムのパラメーター CTRL BUTTON : Source で **[SYS]** を選んだときは、システムの設定に従います。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
S1 (F) -S7 (F) (S1 ~ S7 (Function))		プログラムの CTRL BUTTON:Source で [SYS] を選んだときの、各ボタンに割り当てる機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31, 32 (OFF), 33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95
	AFT	アフタータッチ
	MONO/POLY	モノフォニック/ポリフォニックを切り替えます。
	PRG DOWN (PROGRAM DOWN)	プログラムを前の番号に切り替えます。
	PRG UP (PROGRAM UP)	プログラムを次の番号に切り替えます。
	OCT DOWN (OCTAVE DOWN)	鍵域をオクターブ単位で下げます (-3 オクターブまで)。
	OCT UP (OCTAVE UP)	鍵域をオクターブ単位で上げます (+3 オクターブまで)。
	TRANS DOWN (TRANPOSE DOWN)	鍵域を半音下げます (-5 半音まで)。
	TRANS UP (TRANPOSE UP)	鍵域を半音上げます (+6 半音まで)。
	CHO SW (CHORUS SWITCH)	コーラスをオン/オフします。
	REV SW (REVERB SWITCH)	リバーブをオン/オフします。
	EQ SW (MASTER EQ SWITCH)	マスター EQ をオン/オフします。
	COMP SW (MASTER COMP SWITCH)	マスターコンプレッサーをオン/オフします。
	IFX SW (IFX SWITCH)	IFX をオン/オフします。
	ARP SW (ARPEGGIO SWITCH)	アルペジオをオン/オフします。
	ARP HOLD (ARPEGGIO HOLD)	アルペジオ・ホールドをオン/オフします。
	VOCODER SW (VOCODER SWITCH)	ボコーダーをオン/オフします。
	UNISON SW (UNISON SWITCH)	パート 1 のトーンのユニゾンをオン/オフします。
S1 (M) -S7 (M) (S1 ~ S7 (Mode))	BEND MODE	BEND MODE を切り替えます (NORMAL か C+L)。
	START/STOP	Song Player を再生/停止します。
	TAP TEMPO	ボタンを押す間隔でテンポを設定します (タップ・テンポ)。
S1 (M) -S7 (M) (S1 ~ S7 (Mode))		各操作子の動作を設定します。
	LATCH	ボタンを押すたびにオン/オフが切り替わります。
S1 (M) -S7 (M) (S1 ~ S7 (Mode))		
	MOMENTARY	ボタンを押している間だけオンになり、離すとオフになります。

CTRL KNOB

プログラムの CTRL KNOB の設定は、現在選ばれているプログラムの設定に従うか、システムの設定に従うかを変更することができます。

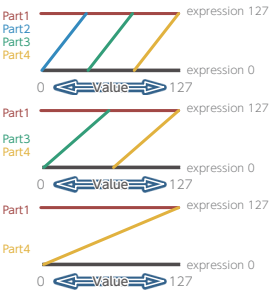
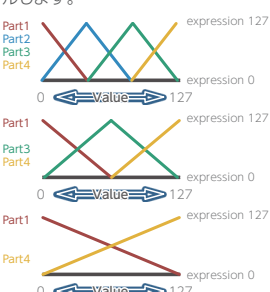
現在選ばれているプログラムのパラメーター CTRL KNOB: Source で **[SYS]** を選んだときは、システムの設定に従います。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Func (Function)	CTRL KNOB: Source で「SYS」を選んだときの、コントロールつまみに割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 

CTRL PEDAL

CTRL PEDAL の設定は、現在選ばれているプログラムの設定に従うか、システムの設定に従うかを変更することができます。

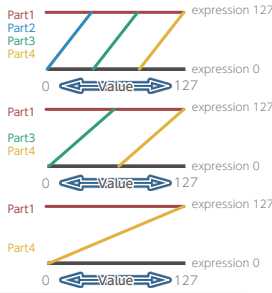
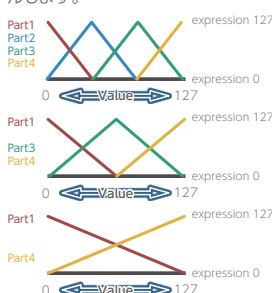
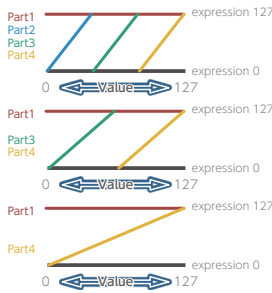
現在選ばれているプログラムのパラメーター CTRL PEDAL: Source で **[SYS]** を選んだときは、システムの設定に従います。

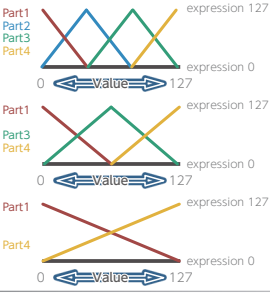
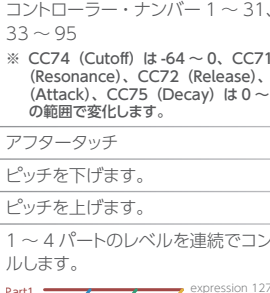
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Func (Function)	プログラムの CTRL PEDAL: Source で「SYS」を選んだときの、ペダルに割り当てる機能を設定します。	
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
Pole (Pedal Polarity)	STANDARD、REVERSE	PEDAL 端子に接続したペダルの極性を設定します。

CTRL RIBBON

CTRL RIBBON の設定は、現在選ばれているプログラムの設定に従うか、システムの設定に従うかを変更することができます。

現在選ばれているプログラムのパラメーター CTRL RIBBON : Source で **[SYS]** を選んだときは、システムの設定に従います。

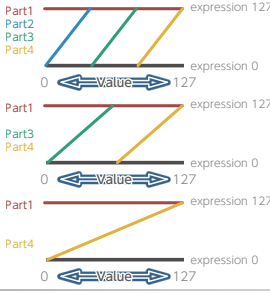
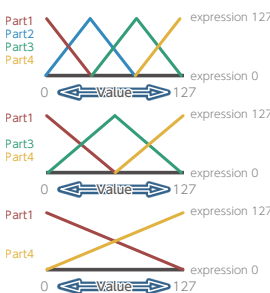
パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Posi (Position Function)		プログラムの CTRL RIBBON : Source で [SYS] を選んだときの、リボン・コントローラー（左右方向）に割り当てる機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95
	AFT	アフタータッチ
	PITCH BEND	ピッチを上げ下げします。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
Pres (Pressure Function)	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Pres (Pressure Function)		1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。

CTRL MOD BAR

CTRL MOD BAR の設定は、現在選ばれているプログラムの設定に従うか、システムの設定に従うかを変更することができます。

現在選ばれているプログラムのパラメーター CTRL MOD BAR : Source で **[SYS]** を選んだときは、システムの設定に従います。

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Func (Modulation Bar Function)		プログラムの CTRL MOD BAR : Source で [SYS] を選んだときの、モジュレーション・バーに割り当てる機能を設定します。
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。
	AFT	アフタータッチ
	BEND DOWN	ピッチを下げます。
	BEND UP	ピッチを上げます。
	PART FADE1	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	PART FADE2	1 ~ 4 パートのレベルを連続でコントロールします。 
	OFF	機能を割り当てません。
	CC01 ~ 31、32 (OFF)、33 ~ 95	コントローラー・ナンバー 1 ~ 31、32、33 ~ 95 ※ CC74 (Cutoff) は -64 ~ 0、CC71 (Resonance)、CC72 (Release)、CC73 (Attack)、CC75 (Decay) は 0 ~ +63 の範囲で変化します。

MIDI

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Basic Ch (Basic Channel)	1 ~ 10	各パートに割り当てる MIDI チャンネルを設定します。MIDI チャンネルは連続で割り当てられます。 たとえば、Basic Ch = 1 にした場合、パート 1 の MIDI チャンネル = 1、パート 2 の MIDI チャンネル = 2、パート 3 の MIDI チャンネル = 3、パート 4 の MIDI チャンネル = 4 となります。 たとえば、Basic Ch = 5 にした場合、パート 1 の MIDI チャンネル = 5、パート 2 の MIDI チャンネル = 6、パート 3 の MIDI チャンネル = 7、パート 4 の MIDI チャンネル = 8 となります。
Ctrl Ch (Program Control Channel)	1 ~ 16、OFF	外部 MIDI 機器から MIDI メッセージ（プログラム・チェンジ／バンク・セレクト）を送信して、プログラムを切り替えるときの MIDI 受信チャンネルを設定します。接続している MIDI 機器からプログラムを切り替えないときは「OFF」に設定します。
Ctrl Src Sel (Control Source Select)	SYS	トーン・コントロールに SysCtrlSrc1 ~ 4 を使います。
	PRG	トーン・コントロールにプログラムの CtrlSrc1 ~ 4 を使います。
SysCtrlSrc1 ~ 4 (System Control Source 1 ~ 4)	OFF、CC01 ~ 31、CC33 ~ 95、BEND、AFT	システム・コントロールとして使う MIDI メッセージを設定します。 システム・コントロールは、AX-Edge 全体で共通に使う、音量や音色などを MIDI メッセージでコントロールするための設定です。コントロールに使う MIDI メッセージを 4 つまで設定することができます。 音色やエフェクトをリアルタイムにコントロールする設定をトーンごとに作りたいときは、「マトリックス・コントロール」や「マルチエフェクト・コントロール」を使います。
USB-MIDIThru	OFF、ON	USB COMPUTER 端子／MIDI IN 端子から入ってきた MIDI 信号をそのまま MIDI OUT 端子／USB COMPUTER 端子から送信するか（ON）、送信しないか（OFF）を設定します。
Remote Kbd (Remote Keyboard Switch)	OFF、ON	外部 MIDI キーボードを AX-Edge の鍵盤の代用として使う場合に「ON」にします。この場合、外部 MIDI キーボードの MIDI 送信チャンネルは何チャンネルでもかまいません。通常は「OFF」にしておきます。 ※ アルペジオを使った演奏を、外部 MIDI 機器からコントロールする場合は「ON」にします。
Soft Thru	OFF、ON	ON にすると、MIDI IN 端子から入力された MIDI メッセージを MIDI OUT 端子へそのまま出力します。
Device ID	17 ~ 32	システム・エクススクルーシブ・メッセージを送受信するときは、相互の機器のデバイス ID ナンバーを合わせます。

MIDI TX

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Tx PC (Transmit Program Change)	OFF、ON	プログラム・チェンジ・メッセージを送信するか（ON）、送信しないか（OFF）を設定します。
Tx Bank (Transmit Bank Select)	OFF、ON	バンク・セレクト・メッセージを送信するか（ON）、送信しないか（OFF）を設定します。
Tx Edit (Transmit Edit Data)	OFF、ON	プログラムの設定変更を、システム・エクススクルーシブ・メッセージとして送信するか（ON）、送信しないか（OFF）を設定します。

MIDI RX

パラメーター [◀] [▶] ボタン	設定値 [-] [+] ボタン	説明
Rx PC (Receive Program Change)	OFF、ON	プログラム・チェンジ・メッセージを受信するか（ON）、受信しないか（OFF）を設定します。
Rx Bank (Receive Bank Select)	OFF、ON	バンク・セレクト・メッセージを受信するか（ON）、受信しないか（OFF）を設定します。
Rx Exclusive (Receive Exclusive)	OFF、ON	システム・エクススクルーシブ・メッセージを受信するか（ON）、受信しないか（OFF）を設定します。

MFX/IFX パラメーター

MFX/IFX には、79 種類のエフェクト・タイプがあります。

エフェクト・タイプの中には、2 種類以上のエフェクトを直列に接続したものもあります。

00 THRU 41 ページ

フィルター系

01 EQUALIZER (イコライザー) 41 ページ
02 SPECTRUM (スペクトラム) 41 ページ
03 ISOLATOR (アイソレーター) 42 ページ
04 LOW BOOST (ロー・ブースト) 42 ページ
05 SUPER FILTER (スーパー・フィルター) 42 ページ
06 STEP FILTER (ステップ・フィルター) 43 ページ
07 ENHANCER (エンハンサー) 43 ページ
08 AUTO WAH (オート・ワウ) 43 ページ
09 HUMANIZER (ヒューマナイザー) 44 ページ
10 SPEAKER SIMULATOR (スピーカー・シミュレーター) 44 ページ

モジュレーション系

11 PHASER (フェイザー) 45 ページ
12 SMALL PHASER (スモール・フェイザー) 45 ページ
13 SCRIPT 90 (スクリプト 90) 45 ページ
14 STEP PHASER (ステップ・フェイザー) 46 ページ
15 MULTI STAGE PHASER (マルチ・ステージ・フェイザー) 46 ページ
16 INFINITE PHASER (インフィニット・フェイザー) 46 ページ
17 RING MODULATOR (リング・モジュレーター) 46 ページ
18 TREMOLO (トレモロ) 47 ページ
19 AUTO PAN (オート・パン) 47 ページ
20 SLICER (スライサー) 47 ページ
21 ROTARY (ロータリー) 48 ページ
22 VK ROTARY (VK ロータリー) 48 ページ

コーラス系

23 CHORUS (コーラス) 49 ページ
24 FLANGER (フランジャー) 49 ページ
25 STEP FLANGER (ステップ・フランジャー) 50 ページ
26 HEXA-CHORUS (ヘキサ・コーラス) 50 ページ
27 TREMOLO CHORUS (トレモロ・コーラス) 51 ページ
28 SPACE-D (スペース D) 51 ページ

ダイナミクス系

29 OVERDRIVE (オーバードライブ) 51 ページ
30 DISTORTION (ディストーション) 51 ページ
31 T-SCREAM (T スクリーム) 52 ページ
32 GUITAR AMP SIMULATOR (ギター・アンプ・シミュレーター) 52 ページ
33 COMPRESSOR (コンプレッサー) 53 ページ
34 LIMITER (リミッター) 53 ページ
35 SUSTAINER (サスティナー) 54 ページ
36 GATE (ゲート) 54 ページ

ディレイ系

37 DELAY (ディレイ) 54 ページ
38 MODULATION DELAY (モジュレーション・ディレイ) 55 ページ
39 3TAP PAN DELAY (3 タップ・パン・ディレイ) 55 ページ
40 4TAP PAN DELAY (4 タップ・パン・ディレイ) 56 ページ
41 MULTI TAP DELAY (マルチ・タップ・ディレイ) 56 ページ
42 REVERSE DELAY (リバース・ディレイ) 57 ページ
43 TIME CTRL DELAY (タイム・コントロール・ディレイ) 57 ページ
44 TAPE ECHO (テープ・エコー) 58 ページ

ローファイ系

45 LOFI COMPRESS (ローファイ・コンプレス) 58 ページ
46 BIT CRUSHER (ビット・クラッシャー) 58 ページ

ピッチ系

47 PITCH SHIFTER (ピッチ・シフター) 58 ページ
48 2V PITCH SHIFTER (2 ボイス・ピッチ・シフター) 59 ページ

コンビネーション系

49 OVERDRIVE → CHORUS (オーバードライブ → コーラス) 59 ページ
50 OVERDRIVE → FLANGER (オーバードライブ → フランジャー) 59 ページ
51 OVERDRIVE → DELAY (オーバードライブ → ディレイ) 60 ページ
52 DISTORTION → CHORUS (ディストーション → コーラス) 60 ページ
53 DISTORTION → FLANGER (ディストーション → フランジャー) 60 ページ
54 DISTORTION → DELAY (ディストーション → ディレイ) 60 ページ
55 OD/DS → TWAH (オーバードライブ/ディストーション → タッチ・ワウ) 61 ページ
56 OD/DS → AWAH (オーバードライブ/ディストーション → オート・ワウ) 61 ページ
57 GTAMPSIM → CHORUS (ギター・アンプ・シミュレーター → コーラス) 62 ページ
58 GTAMPSIM → FLNGR (ギター・アンプ・シミュレーター → フランジャー) 63 ページ
59 GTAMPSIM → PHASER (ギター・アンプ・シミュレーター → フェイザー) 64 ページ
60 GTAMPSIM → DELAY (ギター・アンプ・シミュレーター → ディレイ) 65 ページ
61 EP → TREMOLO (EP アンプ・シミュレーター → TREMOLO) 66 ページ
62 EP → CHORUS (EP アンプ・シミュレーター → コーラス) 66 ページ
63 EP → FLANGER (EP アンプ・シミュレーター → フランジャー) 66 ページ
64 EP → PHASER (EP アンプ・シミュレーター → フェイザー) 67 ページ
65 EP → DELAY (EP アンプ・シミュレーター → ディレイ) 67 ページ
66 ENHANCER → CHORUS (エンハンサー → コーラス) 67 ページ
67 ENHANCER → FLNGR (エンハンサー → フランジャー) 68 ページ
68 ENHANCER → DELAY (エンハンサー → ディレイ) 68 ページ
69 CHORUS → DELAY (コーラス → ディレイ) 68 ページ
70 FLANGER → DELAY (フランジャー → ディレイ) 69 ページ
71 CHORUS → FLANGER (コーラス → フランジャー) 69 ページ

その他

72 CE-1 (コーラス) 69 ページ
73 SBF-325 (フランジャー) 70 ページ
74 SDD-320 (ディメンション D) 70 ページ
75 2TAP PAN DELAY (2 タップ・パン・ディレイ) 70 ページ
76 TRANSIENT (トランジェント) 71 ページ
77 MID-SIDE EQ (ミッド・サイド・イコライザー) 71 ページ
78 MID-SIDE COMP (ミッド・サイド・コンプレッサー) 72 ページ
79 TONE FATTENER (トーン・ファッター) 72 ページ
80 M/S DELAY (ミッド・サイド・ディレイ) 73 ページ
81 EP AMP SIM (RD EP アンプ・シミュレーター) 73 ページ
82 DJFX LOOPER (DJFX ルーパー) 74 ページ
83 BPM LOOPER (BPM ルーパー) 74 ページ
84 SATURATOR (サチュレーター) 74 ページ
85 W SATURATOR (ワーム・サチュレーター) 75 ページ
86 FUZZ (ファズ) 75 ページ
87 JUNO-106 CHORUS (JUNO-106 コーラス) 75 ページ
88 MM FILTER (マルチ・モード・フィルター) 76 ページ
89 HMS DISTORT (HMS ディストーション) 76 ページ
90 SCRIPT 100 (スクリプト 100) 76 ページ

00 THRU

01 EQUALIZER (イコライザー)

低域、中域× 2、高域の音質を調節します。

L in

4-Band EQ

L out

R in

4-Band EQ

R out

パラメーター	設定値	説明
Low Freq (Low Frequency)	20、25、31、40、 50、63、80、 100、125、160、 200、250、315、 400 [Hz]	低域の基準周波数
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
Mid1 Freq (Mid1 Frequency)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、 1250、1600、 2000、2500、 3150、4000、 5000、6300、 8000 [Hz]	中域 1 の基準周波数
Mid1 Gain	-15 ～ +15 [dB]	中域 1 の増幅／減衰量
Mid1 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、 8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
Mid2 Freq (Mid2 Frequency)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、 1250、1600、 2000、2500、 3150、4000、 5000、6300、 8000 [Hz]	中域 2 の基準周波数
Mid2 Gain	-15 ～ +15 [dB]	中域 2 の増幅／減衰量
Mid2 Q	0.5、1.0、2.0、4.0、 8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
HighFreq (High Frequency)	2000、2500、 3150、4000、 5000、6300、 8000、10000、 12500、16000 [Hz]	高域の基準周波数
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

02 SPECTRUM (スペクトラム)

ステレオ仕様のスペクトラムです。特定の周波数のレベルを増減させて音色を変えます。

L in

Spectrum

L out

R in

Spectrum

R out

パラメーター	設定値	説明
Band1 (Band1 (250 Hz))		
Band2 (Band2 (500 Hz))		
Band3 (Band3 (1000 Hz))		
Band4 (Band4 (1250 Hz))		
Band5 (Band5 (2000 Hz))	-15 ～ +15 [dB]	各周波数帯の増幅／減衰量
Band6 (Band6 (3150 Hz))		
Band7 (Band7 (4000 Hz))		
Band8 (Band8 (8000 Hz))		
Q	0.5、1.0、2.0、4.0、 8.0	周波数帯の幅 (各バンド共通)
Level	0 ～ 127	出力音量

03 ISOLATOR (アイソレーター)

音量をカットする度合いが非常に大きなイコライザーで、各音域の音量をカットすることにより特殊な効果が得られます。

L in → Isolator → Low Boost → L out

R in → Isolator → Low Boost → R out

パラメーター	設定値	説明
Low Level (Boost/Cut Low)	-60 ~ +4 [dB]	低域／中域／高域の増幅／減衰量
Mid Level (Boost/Cut Mid)	-60 ~ +4 [dB]	-60dB にすると、その帯域は聴こえなくなります。0dB で入力音と同じレベルです。
High Level (Boost/Cut High)	-60 ~ +4 [dB]	
Low AP Sw (Anti Phase Low Switch)	OFF、ON	低域 (Low) の帯域別アンチ・フェイズ機能のオン／オフ オンにすると、ステレオの反対チャンネルの音が位相反転されて加えられます。
Low AP Level (Anti Phase Low Level)	0 ~ 127	低域 (Low) の帯域別アンチ・フェイズ機能のレベル レベルの設定によって、特定のパートだけを抽出するような効果が得られます (ステレオ入力のみ有効)。
Mid AP Sw (Anti Phase Mid Switch)	OFF、ON	中域 (Middle) の帯域別アンチ・フェイズ機能の設定
Mid AP Level (Anti Phase Mid Level)	0 ~ 127	設定項目は低域 (Low) と同じです。
Boost Sw (Low Boost Switch)	OFF、ON	ロー・ブースターのオン／オフ 低域を増強して重低音を作り出します。
Boost Level (Low Boost Level)	0 ~ 127	ブースト量 アイソレーターやフィルターの設定によっては、効果がわかりにくい場合があります。
Level	0 ~ 127	出力音量

04 LOW BOOST (ロー・ブースト)

低域の音量を増幅させ、重低音を作り出します。

L in → Low Boost → 2-Band EQ → L out

R in → Low Boost → 2-Band EQ → R out

パラメーター	設定値	説明
Boost Freq (Boost Frequency)	50、56、63、71、80、90、100、112、125 [Hz]	増幅する低域の基準周波数
Boost Gain	0 ~ +12 [dB]	増幅する低域の基準周波数
Boost Wid (Boost Width)	WIDE、MID、NARROW	増幅する低域の幅
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

05 SUPER FILTER (スーパー・フィルター)

非常に急峻な傾き (減衰特性) を持つフィルターです。カットオフ周波数を周期的に変化させることもできます。

L in → Super Filter → L out

R in → Super Filter → R out

パラメーター	設定値	説明
Filt Type (Filter Type)	LPF、BPF、HPF、NOTCH	フィルターの種類 各フィルターを通過する周波数 LPF : Cutoff 以下の周波数 BPF : Cutoff 付近の周波数 HPF : Cutoff 以上の周波数 NOTCH : Cutoff 付近以外の周波数
Filt Slope (Filter Slope)	-12、-24、-36 [dB]	フィルターの傾き (減衰特性、1 オクターブあたりの減衰量) -12dB : 緩やか、 -24dB : 急峻、 -36dB : 非常に急峻
Filt Cutoff (Filter Cutoff)	0 ~ 127	フィルターのカットオフ周波数 値を大きくするほど高い周波数になります。
Filt Reso (Filter Resonance)	0 ~ 100	フィルターの共振レベル 値を大きくするほどカットオフ周波数付近が強調されます。
Filt Gain (Filter Gain)	0 ~ +12 [dB]	フィルター出力の増幅量
Mod Switch (Modulation Switch)	OFF、ON	周期的な変化のオン／オフ
Mod Wave (Modulation Wave)	TRI、SQR、SIN、SAW1、SAW2	カットオフ周波数の変化のしかた TRI : 三角波 SQR : 矩形波 SIN : 正弦波 SAW1 : のこぎり波 (上昇) SAW2 : のこぎり波 (下降)
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	揺れの周期
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Attack	0 ~ 127	カットオフ周波数の変化の速さ Modulation Wave が SQR、SAW1、SAW2 の場合に効果があります。
Level	0 ~ 127	出力音量



06 STEP FILTER (ステップ・フィルター)

カットオフ周波数を段階的に変化させるフィルターです。変化のパターンを任意に設定することができます。

MFX CONTROL を使って、ステップのシーケンスを先頭から再開させることができます (P.9)。

L in

Step Filter

L out

R in

Step Filter

R out

パラメーター	設定値	説明
Step 01 ~ 16	0 ~ 127	各ステップにおけるカットオフ周波数
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	揺れの周期
Attack	0 ~ 127	カットオフ周波数がステップ間で変化する 速さ
Filt Type (Filter Type)	LPF、BPF、HPF、 NOTCH	フィルターの種類 各フィルターを通過する周波数 LPF : Cutoff 以下の周波数 BPF : Cutoff 付近の周波数 HPF : Cutoff 以上の周波数 NOTCH : Cutoff 付近以外の周波数
Filt Slope (Filter Slope)	-12、-24、-36 [dB]	フィルターの傾き (減衰特性、1 オクターブ あたりの減衰量) -12dB : 緩やか、 -24dB : 急峻、 -36dB : 非常に急峻
Filt Reso (Filter Resonance)	0 ~ 127	フィルターの共振レベル 値を大きくするほどカットオフ周波数付近が 強調されます。
Filt Gain (Filter Gain)	0 ~ +12 [dB]	フィルター出力の増幅量
Level	0 ~ 127	出力音量

08 AUTO WAH (オート・ワウ)

C フィルターを周期的に動かすことで、ワウ効果 (音色が周期的に変化する効果) を得るエフェクターです。

L in

Auto Wah

2-Band EQ

L out

R in

Auto Wah

2-Band EQ

R out

パラメーター	設定値	説明
Mode (Filter Type)	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF : 広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF : 狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
Manual	0 ~ 127	ワウ効果を与える基準周波数
Peak	0 ~ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅 値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
Sens	0 ~ 127	フィルターを変化させる感度
Polarity	UP、DOWN	フィルターの動く方向 UP : 高い周波数方向 DOWN : 低い周波数方向
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	ワウ効果の揺れの周期
Depth	0 ~ 127	ワウ効果の揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	左右の音でワウ効果の揺れをずらすときの 割合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

07 ENHANCER (エンハンサー)

高域の倍音成分をコントロールすることで、音にメリハリを付け、音ヌケをよくします。

L in

Enhancer

Mix

2-Band EQ

L out

R in

Enhancer

Mix

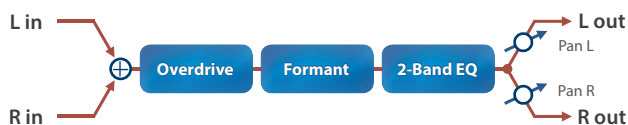
2-Band EQ

R out

パラメーター	設定値	説明
Sens	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Mix	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

09 HUMANIZER (ヒューマナイザー)

人間の声のように、音に母音を付けることができます。



パラメーター	設定値	説明
Drive Sw (Drive Switch)	OFF、ON	オーバードライブのオン/オフ
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Vowel1	a、e、i、o、u	母音 1
Vowel2	a、e、i、o、u	母音 2
Rate Sync (Rate Sync switch)	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → 「Tempo」 (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	母音 1/2 の切り替え周期
Rate Note (Rate (note))	音符 → 「音符」 (P.77)	
Depth	0 ~ 127	効果の深さ
In Sync Sw (Input Sync Switch)	OFF、ON	LFO リセットのオン/オフ ON にすると、母音を切り替えるための LFO が入力音によってリセットされます。
In Sync Thre (Input Sync Threshold)	0 ~ 127	リセットをかける音量レベル
Manual	0 ~ 100	母音 1/2 の切り替えポイント 0 ~ 49 : Vowel 1 の時間が長くなります。 50 : Vowel 1 と 2 が同じ時間で切り替わります。 51 ~ 100 : Vowel 2 の時間が長くなります。
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

10 SPEAKER SIMULATOR (スピーカー・シミュレーター)

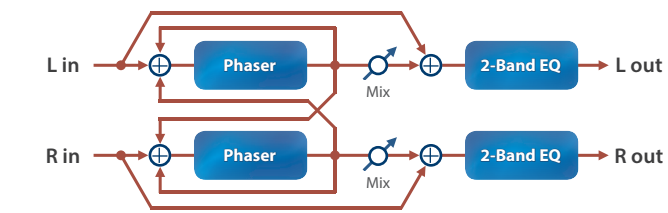
スピーカーのタイプとスピーカーの音を録るマイクの設定をシミュレートします。



Parameter	Value	Explanation		
Type (Speaker Type)		キャビネット	スピーカーの径 (インチ) と個数	マイク
	SMALL 1	小型後面開放型	10	ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型	10	ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型	12 x 1	ダイナミック
	JC-120	後面開放型	12 x 2	ダイナミック
	BUILT-IN 1	後面開放型	12 x 2	ダイナミック
	BUILT-IN 2	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
	BUILT-IN 3	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
	BUILT-IN 4	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
	BUILT-IN 5	後面開放型	12 x 2	コンデンサー
	BG STACK 1	密閉型	12 x 2	コンデンサー
	BG STACK 2	大型密閉型	12 x 2	コンデンサー
	MS STACK 1	大型密閉型	12 x 4	コンデンサー
	MS STACK 2	大型密閉型	12 x 4	コンデンサー
Mic Setting	1、2、3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかります。		
	Mic Level	0 ~ 127	マイクの音量	
	Direct Level	0 ~ 127	ダイレクト音の音量	
	Level	0 ~ 127	出力音量	

11 PHASER (フェイザー)

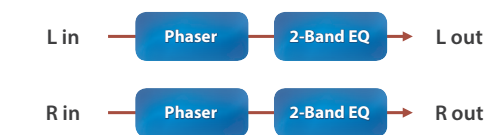
ステレオ仕様のフェイザーです。原音に位相をずらした音を加えてうねらせます。



パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ～ 127	音をうねらせる基準周波数
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ～ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	うねりの周期
Depth	0 ～ 127	Depth of modulation
Polarity	INVERSE、SYNCHRO	モジュレーションの左右の位相 INVERSE : 左右逆相 モノ・ソースを使用したときに音の広がりがあります。 SYNCHRO : 左右同相 ステレオ・ソースを使用するときに選びます。
Resonance	0 ～ 127	フィードバック量
Feedback (Cross Feedback)	-98 ～ +98 [%]	フェイザー音を入力に戻す割合 (マイナス : 逆相)
Mix	0 ～ 127	位相をずらした音の音量
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

12 SMALL PHASER (スモール・フェイザー)

往年のアナログ・フェイザーをシミュレートしたものです。
エレクトリック・ピアノに適しています。

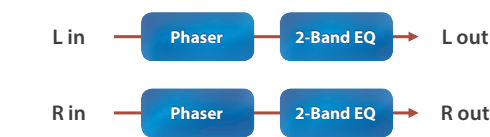


パラメーター	設定値	説明
Rate	0 ～ 100	うねりの周期
Color	1、2	うねりのキャラクター
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

13 SCRIPT 90 (スクリプト 90)

スモール・フェイザーとは異なるアナログ・フェイザーをシミュレートしたものです。

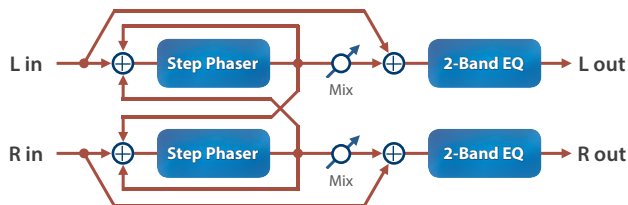
エレクトリック・ピアノに適しています。



パラメーター	設定値	説明
Speed	0 ～ 100	うねりの速さ
Depth	0 ～ 127	うねりの深さ
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

14 STEP PHASER (ステップ・フェイザー)

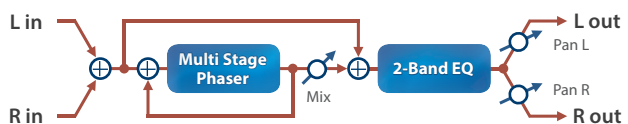
ステレオ仕様のフェイザーです。フェイザー効果が段階的に変化します。



パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 → [音符] (P.77)	うねりの周期
Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Polarity	INVERSE、SYNCHRO	モジュレーションの左右の位相 INVERSE : 左右逆相 モノ・ソースを使用したときに音の広がりがあります。 SYNCHRO : 左右同相 ステレオ・ソースを使用するときに選びます。
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Feedback (Cross Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フェイザー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
S Rate Sync (Step Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
S RateHz (Step Rate (Hz))	0.10 ~ 20.00 [Hz]	
S RateNote (Step Rate (note))	音符 → [音符] (P.77)	フェイザー効果の段階的変化の周期
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

15 MULTI STAGE PHASER (マルチ・ステージ・フェイザー)

位相のずれを非常に大きくすることにより、深いフェイザー効果が得られます。

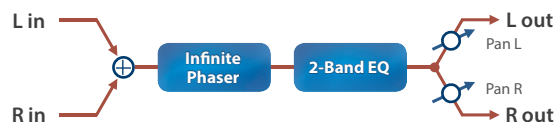


パラメーター	設定値	説明
Mode	4-STAGE、8-STAGE、12-STAGE、16-STAGE、20-STAGE、24-STAGE	フェイザーの段数
Manual	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)

パラメーター	設定値	説明
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 → [音符] (P.77)	うねりの周期
Depth	0 ~ 127	うねりの深さ
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

16 INFINITE PHASER (インフィニット・フェイザー)

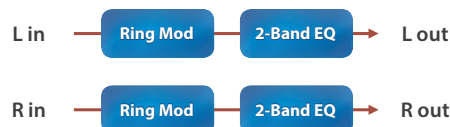
音がうねる周波数を上昇/下降させ続けることのできるフェイザーです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4	値が大きいほどフェイザーの効果が深くなります。
Speed	-100 ~ +100	音がうねる周波数が上昇/下降する速度 (+: 上昇 / -: 下降)
Resonance	0 ~ 127	フィードバック量
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

17 RING MODULATOR (リング・モジュレーター)

入力信号に振幅変調 (AM 変調) をかけることによりベルのような音を出すことができます。入力音の音量により、変調周波数を変化させることもできます。



パラメーター	設定値	説明
Frequency	0 ~ 127	変調をかける周波数
Sens	0 ~ 127	周波数の変調のかかり具合
Polarity	UP、DOWN	周波数の変調を動かす方向 UP : 高い周波数方向 DOWN : 低い周波数方向
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

18 TREMOLO (トレモロ)

音量を周期的に動かしします。



パラメーター	設定値	説明
Mod Wave (Modulation Wave)	TRI, SQR, SIN, SAW1, SAW2, TRP	音量の揺れかた TRI : 三角波 SQR : 矩形波 SIN : 正弦波 SAW1/2 : のこぎり波 TRP : 台形波
	SAW1 SAW2	
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	エフェクトのかかる周期
Depth	0 ~ 127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

19 AUTO PAN (オート・パン)

音の定位を周期的に変化させます。



パラメーター	設定値	説明
Mod Wave (Modulation Wave)	TRI, SQR, SIN, SAW1, SAW2, TRP	定位の変化のしかた TRI : 三角波 SQR : 矩形波 SIN : 正弦波 SAW1/2 : のこぎり波 TRP : 台形波
	SAW1 SAW2	
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	エフェクトのかかる周期
Depth	0 ~ 127	エフェクトのかかる深さ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

20 SLICER (スライサー)

音を連続的にカットすることで、普通に音を鳴らしているだけで、パッキング・フレーズを刻んでいるような効果を作り出します。特に持続音にかけると効果的です。

MFX CONTROL を使って、ステップのシーケンスを先頭から再開させることができます (P.9)。

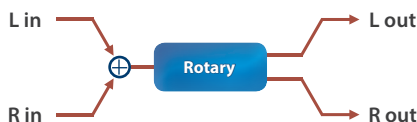


パラメーター	設定値	説明
Step 01 ~ 16	0 ~ 127	各ステップにおける音のレベル
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	16 ステップのシーケンスを繰り返す周期
Attack	0 ~ 127	音のレベルがステップ間で変化する速さ
In Sync Sw (Input Sync Sw)	OFF, ON	入力音の発生に応じてステップのシーケンスを先頭から再開する (ON) かしないか (OFF) を選択
In Sync Thre (Input Sync Threshold)	0 ~ 127	入力音の発生を検出する音量
Mode	LEGATO, SLASH	次の Step に移行するときの音量変化のしかた LEGATO : ある Step のレベルから次の Step のレベルへ、音量がそのまま変化します。次の Step のレベルが前の Step のレベルと同じである場合は、音量変化は起きません。 SLASH : 次の Step のレベルへ移行する前に、いったんレベルが 0 になります。次の Step のレベルが前の Step のレベルと同じである場合であっても、この変化は起きます。
Shuffle	0 ~ 127	偶数番目の Step (Step 2, Step 4, Step 6 ...) のレベルへの音量変化のタイミング値が大きいほど移行のタイミングが遅くなります。
Level	0 ~ 127	出力音量

21 ROTARY (ロータリー)

往年の回転スピーカー・サウンドをシミュレートします。

高域と低域のローターの動作をそれぞれ独立して設定できるので、独特のうねり感をリアルに再現できます。オルガンのパッチに最も効果的です。

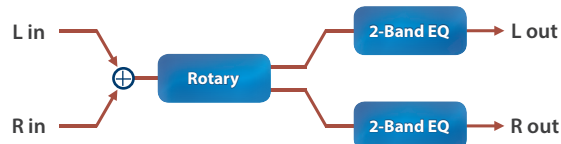


パラメーター	設定値	説明
Speed	SLOW、FAST	低域と高域のローターの回転速度（周期） SLOW ：低速（Slow Rate） FAST ：高速（Fast Rate）
Wf Slow (Woofer Slow Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	低域ローターの低速回転時（SLOW）の周期
Wf Fast (Woofer Fast Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	低域ローターの高速回転時（FAST）の周期
Wf Accel (Woofer Acceleration)	0 ～ 15	回転速度の切り替え時、低域ローターの回転周期が変化する速度
Wf Level (Woofer Level)	0 ～ 127	低域ローターの音量
Tw Slow (Tweeter Slow Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	高域ローターの設定 設定項目は低域ローターと同じです。
Tw Fast (Tweeter Fast Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	
Tw Accel (Tweeter Acceleration)	0 ～ 15	
Tw Level (Tweeter Level)	0 ～ 127	
Separation	0 ～ 127	音の広がり具合
Level	0 ～ 127	出力音量

22 VK ROTARY (VK ロータリー)

ロータリーのスピーカー特性を変えたタイプで、低域がより強調されています。

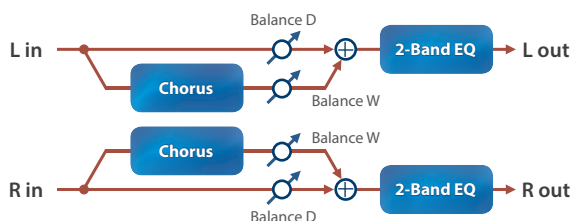
VK-7に搭載されているロータリーと同じ仕様のエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Speed	SLOW、FAST	スピーカーの回転速度（周期） SLOW ：低速 FAST ：高速
Brake	OFF、ON	スピーカーの回転のオン／オフ オンにするとスピーカーの回転は徐々に止まり、オフにすると回転を始めます。
Wf Slow (Woofer Slow Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	ウーファの低速回転時の回転速度
Wf Fast (Woofer Fast Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	ウーファの高速回転時の回転速度
Wf Trans Up (Woofer Trans Up)	0 ～ 127	Speed を SLOW から FAST に切り替えたときに、ウーファの回転速度が変化する速さ
Wf Trans Dw (Woofer Trans Down)	0 ～ 127	Speed を FAST から SLOW に切り替えたときに、ウーファの回転速度が変化する速さ
Wf Level (Woofer Level)	0 ～ 127	ウーファの音量
Tw Slow (Tweeter Slow Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	ツイーターの設定 設定項目はウーファと同じです。
Tw Fast (Tweeter Fast Speed)	0.05 ～ 10.00 [Hz]	
Tw Trans Up (Tweeter Trans Up)	0 ～ 127	
Tw Trans Dw (Tweeter Trans Down)	0 ～ 127	
Tw Level (Tweeter Level)	0 ～ 127	
Spread	0 ～ 10	回転スピーカーの音の広がり
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量
OD Switch (Overdrive Switch)	OFF、ON	オーバードライブのオン／オフ
OD Gain (Overdrive Gain)	0 ～ 127	オーバードライブの入力レベル 値を大きくするほど歪みが増します。
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ～ 127	歪み具合
OD Level (Overdrive Level)	0 ～ 127	オーバードライブの音量

23 CHORUS (コーラス)

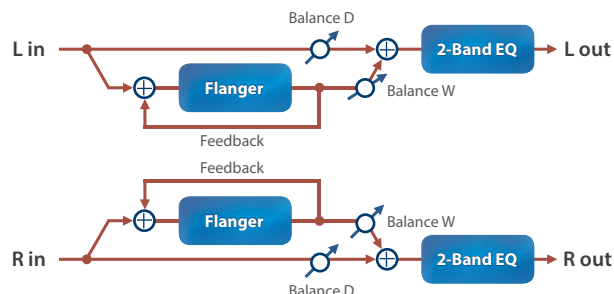
ステレオ仕様のコーラスです。フィルターを使ってコーラス音の音質を調節できます。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF, LPF, HPF	フィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Cof Freq (Cutoff Freq)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、 1250、1600、 2000、2500、 3150、4000、 5000、6300、 8000 [Hz]	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	揺れの周期
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	コーラス音の広がり具合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

24 FLANGER (フランジャー)

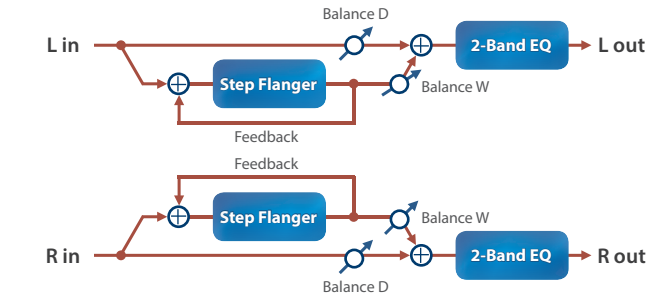
ステレオ仕様のフランジャーです (LFO は左右同相)。
ジェット機の上昇音／下降音のような金属的な響きが得られます。
フィルターを使ってフランジャー音の音質を調節できます。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF, LPF, HPF	フィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Cof Freq (Cutoff Freq)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、 1250、1600、 2000、2500、 3150、4000、 5000、6300、 8000 [Hz]	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	揺れの周期
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

25STEP FLANGER (ステップ・フランジャー)

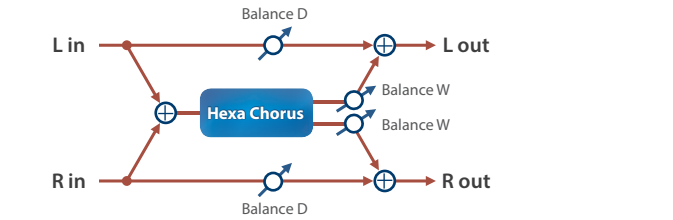
フランジャー音のピッチが段階的に変化します。ピッチ変化の周期は、特定のテンポに対する音符の長さで設定することもできます。



パラメーター	設定値	説明
Filter Type	OFF, LPF, HPF	フィルターの種類 OFF : フィルター未使用 LPF : 高域をカット HPF : 低域をカット
Cof Freq (Cutoff Freq)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	フィルターで特定の周波数帯をカットする場合の基準周波数
Pre Delay	0.0 ~ 100.0 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	揺れの周期
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	フランジャー音の広がり具合
Feedback	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
S Rate Sync (Step Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
S RateHz (Step Rate (Hz))	0.10 ~ 20.00 [Hz]	
S RateNote (Step Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	ピッチ変化の周期
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

26HEXA-CHORUS (ヘキサ・コーラス)

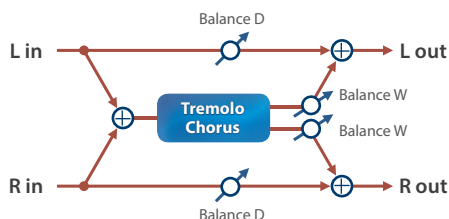
音に厚みと広がりを与える 6 相コーラス (ディレイ・タイムの異なる 6 つのコーラス音が重なる) です。



パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	揺れの周期
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Pre Delay Dev (Pre Delay Deviation)	0 ~ 20	各コーラス音の発音のずれ
Depth Dev (Depth Deviation)	-40	各コーラス音の揺れの深さの偏差
Pan Dev (Pan Deviation)	-20 ~ +20	各コーラス音の定位の偏差 0 : すべて中央に定位 20 : 中央を基準に各コーラス音が 60 度間隔で定位
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

27 TREMOLO CHORUS (トレモロ・コーラス)

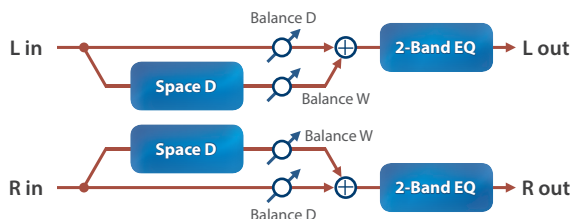
トレモロ効果（音量を周期的に揺らす）のかかったコーラスです。



パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 → [音符] (P.77)	コーラス音の揺れの周期
CHO_DEPTH (Chorus Depth)	0 ~ 127	コーラス音の揺れの深さ
Trm Sync (Tremolo Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Trm Hz (Tremolo Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Trm Note (Tremolo Rate (note))	音符 → [音符] (P.77)	トレモロ効果の揺れの周期
Trm Separate (Tremolo Separation)	0 ~ 127	トレモロ効果の広がり具合
Trm Phase (Tremolo Phase)	0 ~ 180 [deg]	トレモロ効果の広がり具合
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とトレモロ・コーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

28 SPACE-D (スペース D)

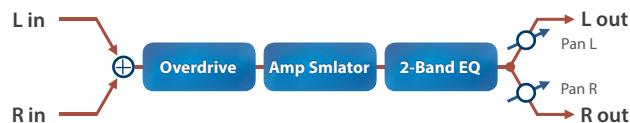
2 相のモジュレーションをステレオでかける多重コーラスです。変調感はありませんが、透明感のあるコーラス効果が得られます。



パラメーター	設定値	説明
Pre Delay	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 → [音符] (P.77)	揺れの周期
Depth	0 ~ 127	揺れの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	コーラス音の広がり具合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

29 OVERDRIVE (オーバードライブ)

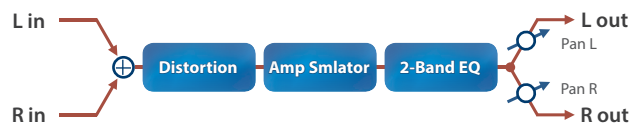
強い歪みが得られるオーバードライブです。



パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	音質
Amp Switch	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン／オフ
AmpType (Amp Type)	SMALL、 BUILT-IN、 2-STACK、 3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL : 小型アンプ BUILT-IN : ビルト・イン・タイプ 2-STACK : 大型 2 段積みアンプ 3-STACK : 大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

30 DISTORTION (ディストーション)

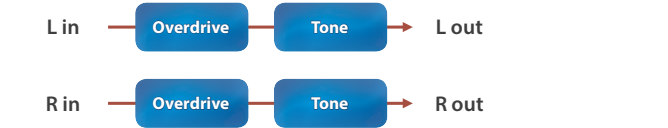
強い歪みが得られるディストーションです。



パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ~ 127	音質
Amp Switch	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン／オフ
AmpType (Amp Type)	SMALL、 BUILT-IN、 2-STACK、 3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL : 小型アンプ BUILT-IN : ビルト・イン・タイプ 2-STACK : 大型 2 段積みアンプ 3-STACK : 大型 3 段積みアンプ
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

31 T-SCREAM (Tスクリーム)

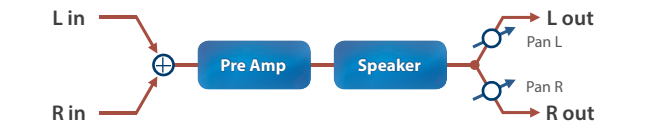
往年のアナログ・オーバードライブをモデリングしたものです。音が汚くならず適度な倍音加わるのが特長です。



パラメーター	設定値	説明
Distortion	0 ～ 127	歪み具合 音量も変化します。
Tone	0 ～ 127	オーバードライブの音質
Level	0 ～ 127	出力音量

32 GUITAR AMP SIMULATOR (ギター・アンプ・シミュレーター)

ギター・アンプをシミュレートします。



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw (Pre Amp Switch)	OFF、ON	アンプのスイッチ
ギター・アンプの種類		
Type (Pre Amp Type)	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半～ 80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。 I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。 80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Volume (Pre Amp Volume)	0 ～ 127	アンプの音量と歪み具合
Master (Pre Amp Master)	0 ～ 127	プリ・アンプ全体の音量
Gain (Pre Amp Gain)	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合
Bass (Pre Amp Bass)	0 ～ 127	低域／中域／高域の音質 Pre Amp Type が「Match Drive」のとき、Middle は無効です。
Middle (Pre Amp Middle)		
Treble (Pre Amp Treble)		
Presence (Pre Amp Presence)	0 ～ 127	超高域の音質
Bright (Pre Amp Bright)	OFF、ON	「ON」にすると、歯切れの良い明るい音になります。 ※ プリ・アンプ・タイプが「JC-120」「CLEAN TWIN」「BG LEAD」のときのみ有効です。

パラメーター	設定値	説明
Speaker Sw (Speaker Switch)	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン)／通さないか(オフ)を選択
SpType (Speaker Type)		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN 2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN 5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4 コンデンサー
Mic Setting	1、2、3	スピーカーの音を収録するマイクの位置 1/2/3 の順でマイクの位置が遠ざかり ます。
Mic Level	0 ~ 127	マイクの音量
Direct Level	0 ~ 127	ダイレクト音の音量
Pan	L64 ~ 63R	出力音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量

33 COMPRESSOR (コンプレッサー)

大きなレベルの音を抑え、小さなレベルの音を持ち上げることで、全体の音量のばらつきを抑えます。



パラメーター	設定値	説明
Attack	0 ~ 124	Threshold を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間
Release	0 ~ 124	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
Threshold	-60 ~ 0 [dB]	圧縮を始める音量レベル
Knee	0 ~ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 Threshold より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
Ratio	1:1、1.5:1、2:1、4:1、16:1、INF:1	圧縮比
Post Gain	0 ~ +18 [dB]	出力する音のレベル
Level	0 ~ 127	出力音量

34 LIMITER (リミッター)

指定の音量より大きな音を圧縮し、音の歪みを抑えます。



パラメーター	設定値	説明
Release	0 ~ 127	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
Threshold	0 ~ 127	圧縮を始める音量レベル
Ratio	1.5:1、2:1、4:1、100:1	圧縮比
Post Gain	0 ~ +18 [dB]	出力する音のレベル
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

35 SUSTAINER (サステイナー)

大入力を圧縮し、小入力を増幅することで音量を均一化して音を歪ませずにサステイン効果（音を延ばす効果）を得るエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Sustain	0 ~ 127	小入力信号を増幅し一定の音量にする範囲を調節します。 値を大きくするほどサステインが長くなります。
Attack	0 ~ 127	音量を圧縮するまでの時間
Release	0 ~ 127	圧縮をやめるまでの時間
Post Gain	-15 ~ +15 [dB]	出力する音のレベル
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

36 GATE (ゲート)

エフェクターへの入力音の音量によって、残響音の余韻をカットします。音の余韻を強制的に短くするときなどに使います。

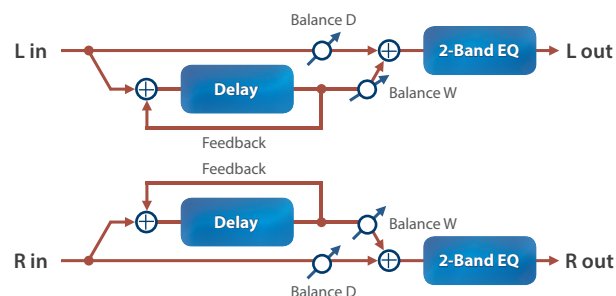


パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ~ 127	ゲートを閉じ始める音量レベル
Mode	GATE、DUCK	ゲートの種類 GATE (ゲート) ：原音の音量が小さくなるとゲートが閉じ、原音がカットされます。 DUCK (ダッキング) ：原音の音量が大きくなるとゲートが閉じ、原音がカットされます。
Attack	0 ~ 127	ゲートが開き始めてから、開ききるまでの所要時間
Hold	0 ~ 127	原音がスレッシュホールド・レベルを下回った瞬間から、ゲートが閉じ始めるまでの時間
Release	0 ~ 127	ホールド・タイム経過後、ゲートが閉じ始めてから閉じ終わるまでの所要時間
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

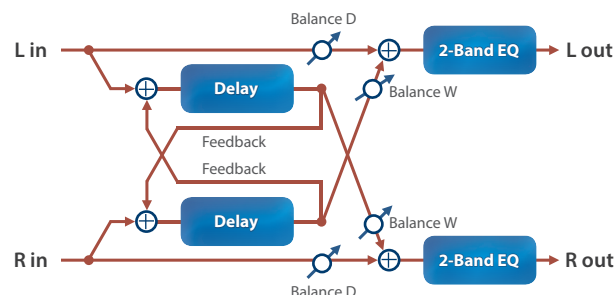
37 DELAY (ディレイ)

ステレオ仕様のディレイです。

Feedback Mode が NORMAL の場合



Feedback Mode が CROSS の場合

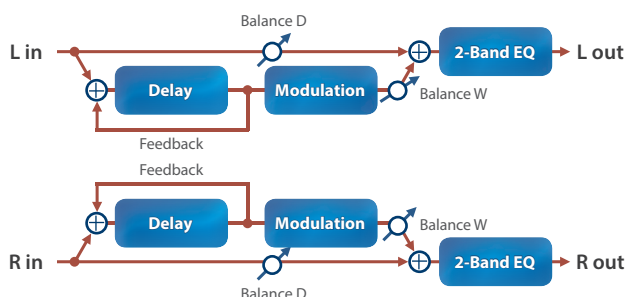


パラメーター	設定値	説明
Dly L Sync (Delay Left (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly L Msec (Delay Left (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly L Note (Delay Left (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly R Sync (Delay Right (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly R Msec (Delay Right (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly R Note (Delay Right (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Phase L (Phase Left)	NORMAL、INVERSE	左右のディレイ音の位相 NORMAL ：非反転 INVERT ：反転
Phase R (Phase Right)		
Fbk Mode (Feedback Mode)	NORMAL、CROSS	ディレイ音を戻す入力先 (アルゴリズム図をご覧ください)
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

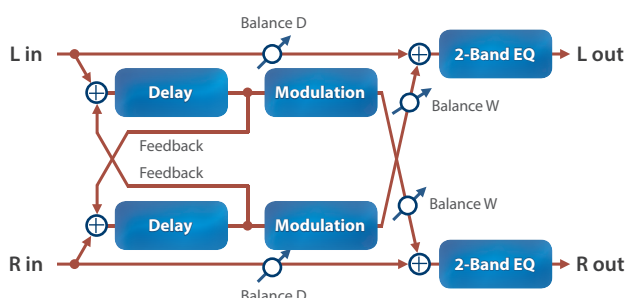
38 MODULATION DELAY (モジュレーション・ディレイ)

ディレイ音に揺れが加えられます。

Feedback Mode が NORMAL の場合



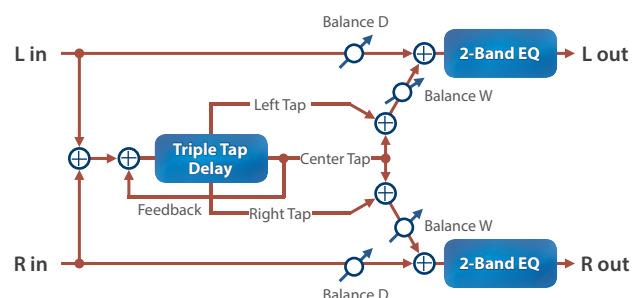
Feedback Mode が CROSS の場合



パラメーター	設定値	説明
Dly L Sync (Delay Left (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly L Msec (Delay Left (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly L Note (Delay Left (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly R Sync (Delay Right (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly R Msec (Delay Right (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly R Note (Delay Right (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Fbk Mode (Feedback Mode)	NORMAL、CROSS	ディレイ音を戻す入力先 (アルゴリズム図をご覧ください)
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	モジュレーションの周期
Depth	0 ~ 127	モジュレーションの深さ
Phase	0 ~ 180 [deg]	モジュレーションの広がり
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

39 3TAP PAN DELAY (3タップ・パン・ディレイ)

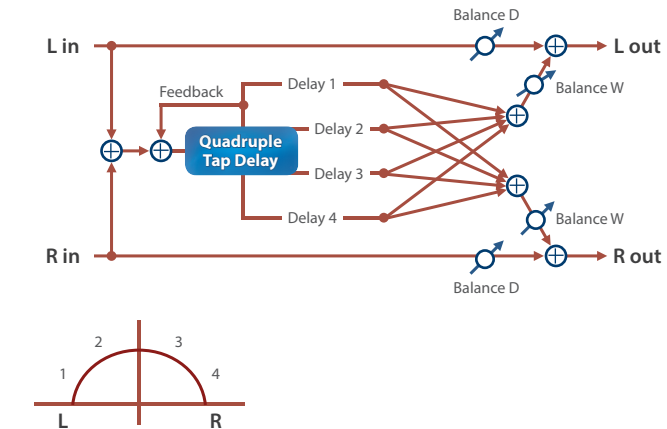
中央、左、右の3方向にディレイ音が鳴らせます。



パラメーター	設定値	説明
Dly L Sync (Delay Left (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly L Msec (Delay Left (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから左のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly L Note (Delay Left (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly R Sync (Delay Right (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly R Msec (Delay Right (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから右のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly R Note (Delay Right (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly C Sync (Delay Center (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly C Msec (Delay Center (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから中央のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly C Note (Delay Center (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
C Feedback (Center Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Left Level	0 ~ 127	
Right Level	0 ~ 127	左／右／中央のディレイ音の音量
Center Level	0 ~ 127	
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

40 4TAP PAN DELAY
(4 タップ・パン・ディレイ)

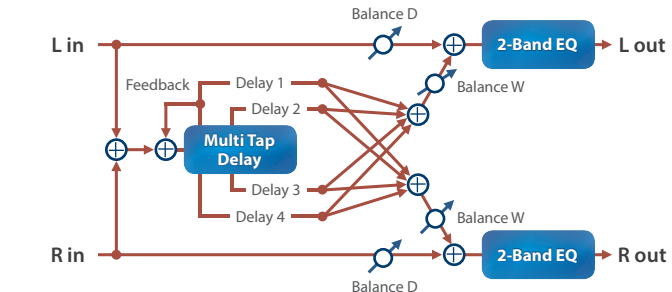
4 つのディレイ音を鳴らせます。



パラメーター	設定値	説明
Dly 1 Sync (Delay 1 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 1 Msec (Delay 1 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 1 Note (Delay 1 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 2 Sync (Delay 2 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 2 Msec (Delay 2 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 2 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 2 Note (Delay 2 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 3 Sync (Delay 3 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 3 Msec (Delay 3 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 3 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 3 Note (Delay 3 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 4 Sync (Delay 4 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 4 Msec (Delay 4 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから、ディレイ 4 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 4 Note (Delay 4 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 1 Fbk (Delay 1 Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Dly 1 Level (Delay 1 Level)	0 ~ 127	ディレイ 1 ~ 4 の音量
Dly 2 Level (Delay 2 Level)		
Dly 3 Level (Delay 3 Level)		
Dly 4 Level (Delay 4 Level)		
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

41 MULTI TAP DELAY
(マルチ・タップ・ディレイ)

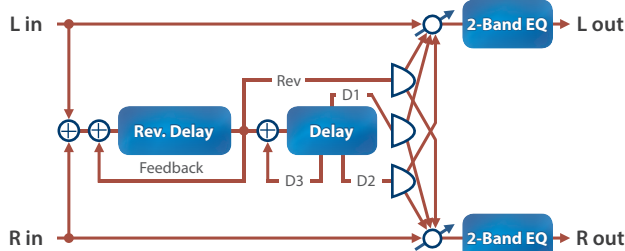
4 つのディレイ音を鳴らせます。ディレイ・タイムは指定のテンポに対する音符の長さで設定することもできます。また、各ディレイ音の定位やレベルを設定することができます。



パラメーター	設定値	説明
Dly 1 Sync (Delay 1 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 1 Msec (Delay 1 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 1 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 1 Note (Delay 1 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 2 Sync (Delay 2 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 2 Msec (Delay 2 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 2 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 2 Note (Delay 2 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 3 Sync (Delay 3 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 3 Msec (Delay 3 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 3 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 3 Note (Delay 3 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 4 Sync (Delay 4 Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly 4 Msec (Delay 4 Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ 4 の音が鳴るまでの遅延時間
Dly 4 Note (Delay 4 Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly 1 Fbk (Delay 1 Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
HF Damp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Dly 1 Pan (Delay 1 Pan)	L64 ~ 63R	ディレイ 1 ~ 4 の定位
Dly 2 Pan (Delay 2 Pan)		
Dly 3 Pan (Delay 3 Pan)		
Dly 4 Pan (Delay 4 Pan)		
Dly 1 Level (Delay 1 Level)	0 ~ 127	ディレイ 1 ~ 4 の音量
Dly 2 Level (Delay 2 Level)		
Dly 3 Level (Delay 3 Level)		
Dly 4 Level (Delay 4 Level)		
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

42 REVERSE DELAY (リバース・ディレイ)

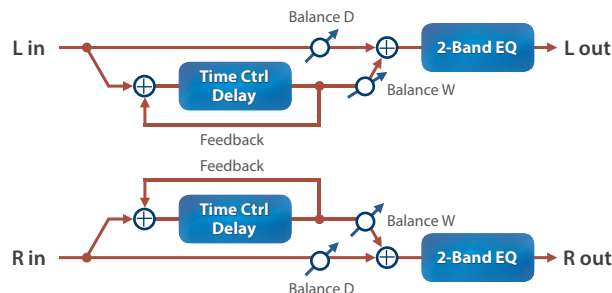
入力された音のリバース音をディレイ音として付加するリバース・ディレイです。リバース・ディレイの直後にはタップ・ディレイが接続されています。



パラメーター	設定値	説明
Threshold	0 ~ 127	リバース・ディレイがかかり始める音量
Dly R Sync (Reverse Delay Time (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Dly R Msec (Reverse Delay Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	リバース・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly R Note (Reverse Delay Time (note))	音符 → [音符] (P.77)	
Dly R Fbk (Reverse Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音をリバース・ディレイの入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly R HF (Reverse Delay HF Damp)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	リバース・ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly R Pan (Reverse Delay Pan)	L64 ~ 63R	リバース・ディレイ音の定位
Dly R Level (Reverse Delay Level)	0 ~ 127	リバース・ディレイ音の音量
Dly 1 Sync (Delay 1 Time (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Dly 1 Msec (Delay 1 Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly 1 Note (Delay 1 Time (note))	音符 → [音符] (P.77)	
Dly 2 Sync (Delay 2 Time (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Dly 2 Msec (Delay 2 Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly 2 Note (Delay 2 Time (note))	音符 → [音符] (P.77)	
Dly 3 Sync (Delay 3 Time (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Dly 3 Msec (Delay 3 Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	タップ・ディレイに音が入力されてからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly 3 Note (Delay 3 Time (note))	音符 → [音符] (P.77)	
Dly 3 Fbk (Delay 3 Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音をタップ・ディレイの入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	タップ・ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly 1 Pan (Delay 1 Pan)	L64 ~ 63R	タップ・ディレイ音の定位
Dly 2 Pan (Delay 2 Pan)	L64 ~ 63R	タップ・ディレイ音の定位
Dly 1 Level (Delay 1 Level)	0 ~ 127	タップ・ディレイ音の音量
Dly 2 Level (Delay 2 Level)	0 ~ 127	タップ・ディレイ音の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量

43 TIME CTRL DELAY (タイム・コントロール・ディレイ)

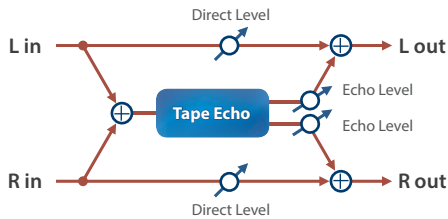
ディレイ・タイムをなめらかに変化させることができるディレイです。



パラメーター	設定値	説明
Dly Sync (Delay Time (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 → [音符] (P.77)	
Acceleration	0 ~ 15	ディレイ・タイムを変化させた場合、現在のディレイ・タイムから指定のディレイ・タイムに達するまでの速さ。ディレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
HF Damp	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とディレイ音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

44 TAPE ECHO (テープ・エコー)

リアルなテープ・ディレイ・サウンドが得られる、バーチャル・テープ・エコーです。ローランド RE-201 スペース・エコーの、テープ・エコー部のシミュレートです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	S、M、L、S+M、S+L、M+L、S+M+L S: ショート M: ミドル L: ロング	使用する再生ヘッドの組み合わせ 遅れ時間の異なる3個のヘッドから選びます。
Repeat Rate	0 ~ 127	テープ・スピード 値を大きくすると、ディレイ音の間隔が短くなります。
Intensity	0 ~ 127	ディレイ音の繰り返し量
Bass	-15 ~ +15 [dB]	エコー音の低域の増幅/減衰量
Treble	-15 ~ +15 [dB]	エコー音の高域の増幅/減衰量
Head S Pan	L64 ~ 63R	ショート/ミドル/ロングの再生ヘッドごとの定位
Head M Pan	L64 ~ 63R	
Head L Pan	L64 ~ 63R	
Distortion (Tape Distortion)	0 ~ 5	テープ独特の歪みを付加する量 測定器で測るとわかるような微妙な音色変化を再現します。値を大きくすると、歪みが深くなります。
Wf Rate (W/F Rate)	0 ~ 127	ワウ・フラッター (テープの劣化や回転ムラによる、複雑なピッチの揺れ) の速さ
Wf Depth (W/F Depth)	0 ~ 127	ワウ・フラッターの深さ
Echo Level	0 ~ 127	エコー音の音量
Direct Level	0 ~ 127	原音の音量
Level	0 ~ 127	出力音量

45 LOFI COMPRESS (ローファイ・コンプレス)

音質を荒くします。

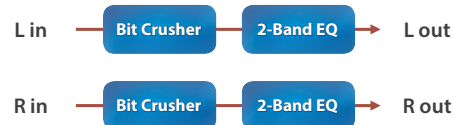


パラメーター	設定値	説明
Pre Filter (Pre Filter Type)	1、2、3、4、5、6	LoFi を通る前のフィルターの種類 1: Compressor オフ 2~6: Compressor オン
LoFi Type	1、2、3、4、5、6、7、8、9	音質を荒くします。値が大きいほど音質が粗くなります。
Post Filter (Post Filter Type)	OFF、LPF、HPF	LoFi を通ったあとのフィルターの種類 OFF: フィルター未使用 LPF: 高域をカット HPF: 低域をカット

パラメーター	設定値	説明
Cutoff (Post Filter Cutoff)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000 [Hz]	Post Filter の基準周波数
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とエフェクト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

46 BIT CRUSHER (ビット・クラッシャー)

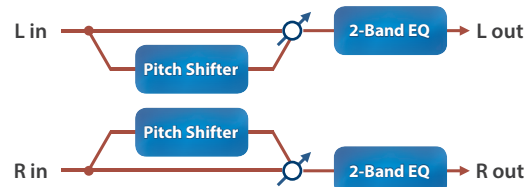
ローファイ・サウンドを作ります。



パラメーター	設定値	説明
Sample Rate	0 ~ 127	サンプリング周波数を調節。
Bit Down	0 ~ 20	ビット数を調整。
Filter	0 ~ 127	フィルターの効き具合を調節。
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

47 PITCH SHIFTER (ピッチ・シフター)

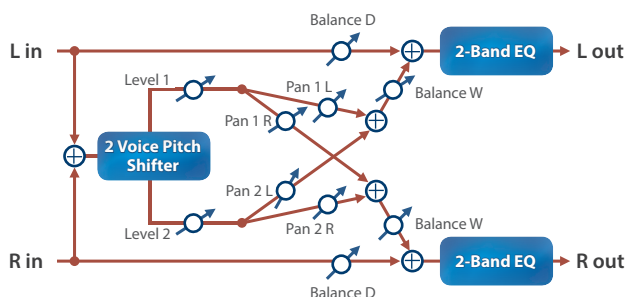
ステレオ仕様のピッチ・シフターです。



パラメーター	設定値	説明
Coarse	-24 ~ +12 [semi]	ピッチ・シフト量 (半音単位)
Fine	-100 ~ +100 [cent]	ピッチ・シフト量 (2 セント単位)
Dly Sync (Delay Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからピッチ・シフト音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Feedback	-98 ~ +98 [%]	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

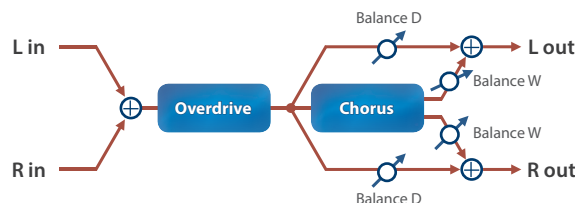
48 2V PITCH SHIFTER (2 ボイス・ピッチ・シフター)

原音のピッチをずらしします。ピッチをずらした 2 つの音を原音に重ねて鳴らすことができます。



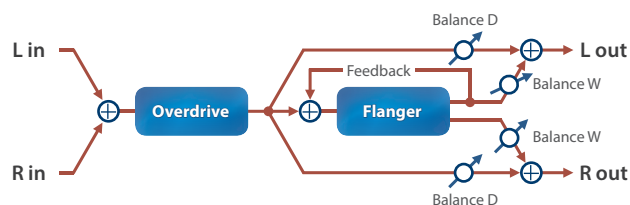
パラメーター	設定値	説明
P1 Coarse (Pitch1 Coarse)	-24 ~ +12 [semi]	ピッチ・シフト 1 のピッチ・シフト量 (半音単位)
P1 Fine (Pitch1 Fine)	-100 ~ +100 [cent]	ピッチ・シフト 1 のピッチ・シフト量 (2 セント単位)
P1 Dly Sync (Pitch1 Delay (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
P1 Dly Msec (Pitch1 Delay (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからピッチ・シフト 1 の音が鳴るまでの遅延時間
P1 DlyNote (Pitch1 Delay (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
P1 Feedback (Pitch1 Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ピッチ・シフト音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
P1 Pan (Pitch1 Pan)	L64 ~ 63R	ピッチ・シフト 1 の音の定位
P1 Level (Pitch1 Level)	0 ~ 127	ピッチ・シフト 1 の音量
P2 Coarse (Pitch2 Coarse)	-24 ~ +12 [semi]	
P2 Fine (Pitch2 Fine)	-100 ~ +100 [cent]	
P2 Dly Sync (Pitch2 Delay (sync switch))	OFF、ON	
P2 Dly Msec (Pitch2 Delay (msec))	1 ~ 1300 [msec]	ピッチ・シフト 2 の設定
P2 DlyNote (Pitch2 Delay (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	設定項目はピッチ・シフト 1 と同じです。
P2 Feedback (Pitch2 Feedback)	-98 ~ +98 [%]	
P2 Pan (Pitch2 Pan)	L64 ~ 63R	
P2 Level (Pitch2 Level)	0 ~ 127	
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とピッチ・シフト音 (W) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

49 OVERDRIVE → CHORUS (オーバードライブ → コーラス)



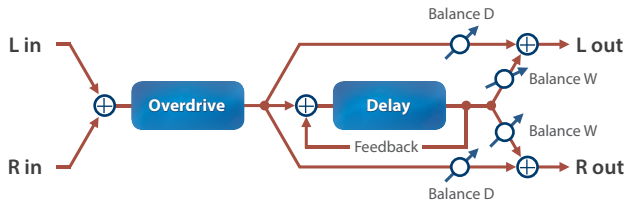
パラメーター	設定値	説明
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
OD Pan (Overdrive Pan)	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100:0W ~ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

50 OVERDRIVE → FLANGER (オーバードライブ → フランジャー)



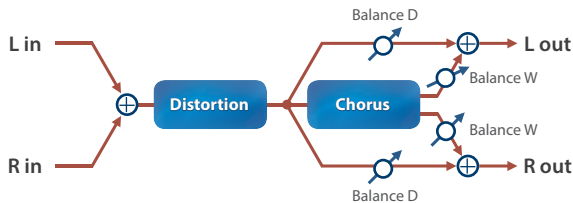
パラメーター	設定値	説明
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
OD Pan (Overdrive Pan)	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flg Sync (Flanger Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flg Note (Flanger Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
Flg Depth (Flanger Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

51 OVERDRIVE → DELAY (オーバードライブ → ディレイ)



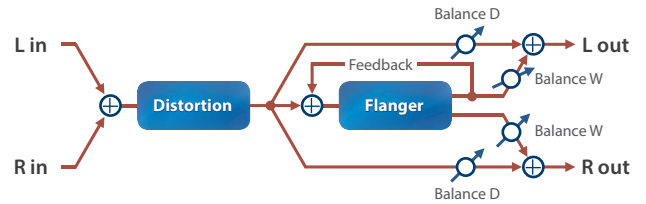
パラメーター	設定値	説明
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
OD Pan (Overdrive Pan)	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Dly Sync (Delay Time sync switch)	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの 遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、1250、 1600、2000、2500、 3150、4000、5000、 6300、8000、 BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカット する周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100: 0W ~ D0: 100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

52 DISTORTION → CHORUS (ディストーション → コーラス)



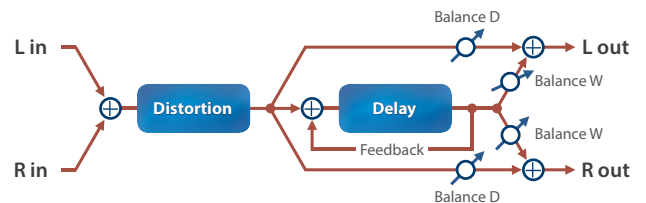
パラメーター	設定値	説明
Dist Drive (Distortion Drive)	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Dist Pan (Distortion Pan)	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの 遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate sync switch)	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100: 0W ~ D0: 100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

53 DISTORTION → FLANGER (ディストーション → フランジャー)



パラメーター	設定値	説明
Dist Drive (Distortion Drive)	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Dist Pan (Distortion Pan)	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るま での遅延時間
Flg Sync (Flanger Rate sync switch)	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flg Note (Flanger Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
Flg Depth (Flanger Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナ ス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100: 0W ~ D0: 100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

54 DISTORTION → DELAY (ディストーション → ディレイ)



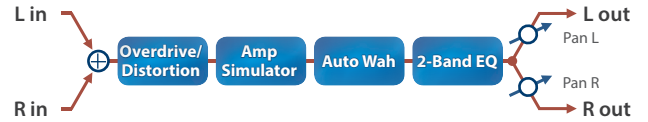
パラメーター	設定値	説明
Dist Drive (Distortion Drive)	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Dist Pan (Distortion Pan)	L64 ~ 63R	歪ませた音の定位
Dly Sync (Delay Time sync switch)	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの 遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、1250、 1600、2000、2500、 3150、4000、5000、 6300、8000、 BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカット する周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100: 0W ~ D0: 100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

55 OD/DS → TWAH (オーバードライブ／ディストーション → タッチ・ワウ)



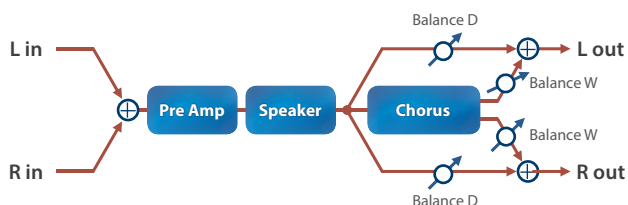
パラメーター	設定値	説明
Drive Switch	OFF、ON	オーバードライブ／ディストーションのオン／オフ
Type (Drive Type)	OVERDRIVE、DISTORTION	歪みの種類
Drive	0 ～ 127	歪み具合。音量も変化します。
Tone	0 ～ 127	音質
Amp Switch	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン／オフ
AmpType (Amp Type)	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL ：小型アンプ BUILT-IN ：ビルト・イン・タイプ 2-STACK ：大型 2 段積みアンプ 3-STACK ：大型 3 段積みアンプ
TWah Switch (TouchWah Switch)	OFF、ON	ワウのオン／オフ
TWah Mode (TouchWah Mode)	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF ：広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF ：狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
TWah Polar (TouchWah Polarity)	DOWN、UP	フィルターの動く方向 UP ：高い周波数方向 DOWN ：低い周波数方向
TWah Sens (TouchWah Sens)	0 ～ 127	フィルターを変化させる感度
TWah Manual (TouchWah Manual)	0 ～ 127	ワウ効果を与える基準周波数
TWah Peak (TouchWah Peak)	0 ～ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅 値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
TWah Bal (TouchWah Balance)	D100:0W ～ D0:100W	ワウを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

56 OD/DS → AWAH (オーバードライブ／ディストーション → オート・ワウ)



パラメーター	設定値	説明
Drive Switch	OFF、ON	オーバードライブ／ディストーションのオン／オフ
Type (Drive Type)	OVERDRIVE、DISTORTION	歪みの種類
Drive	0 ～ 127	歪み具合。音量も変化します。
Tone	0 ～ 127	音質
Amp Switch	OFF、ON	アンプ・シミュレーターのオン／オフ
AmpType (Amp Type)	SMALL、BUILT-IN、2-STACK、3-STACK	ギター・アンプの種類 SMALL ：小型アンプ BUILT-IN ：ビルト・イン・タイプ 2-STACK ：大型 2 段積みアンプ 3-STACK ：大型 3 段積みアンプ
AWah Switch (AutoWah Switch)	OFF、ON	ワウのオン／オフ
AWah Mode (AutoWah Mode)	LPF、BPF	フィルターの種類 LPF ：広い周波数範囲でワウ効果が得られます。 BPF ：狭い周波数範囲でワウ効果が得られます。
AWah Manual (AutoWah Manual)	0 ～ 127	ワウ効果を与える基準周波数
AWah Peak (AutoWah Peak)	0 ～ 127	ワウ効果のかかる周波数帯の幅 値を大きくするほど周波数帯の幅が狭くなります。
AWah Sync (AutoWah Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
AWah Hz (AutoWah Rate (Hz))	0.05 ～ 10.00 [Hz]	ワウ効果の揺れの周期
AWah Hz (AutoWah Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
AWah Depth (AutoWah Depth)	0 ～ 127	ワウ効果の揺れの深さ
AWah Bal (AutoWah Balance)	D100:0W ～ D0:100W	ワウを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Low Gain	-15 ～ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ～ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ～ 127	出力音量

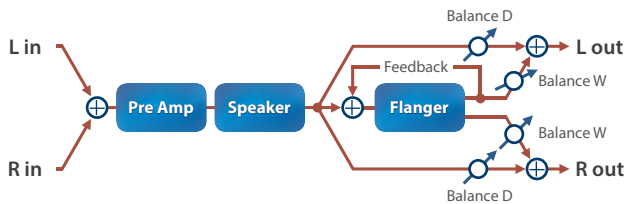
57 GTAMPSIM → CHORUS (ギター・アンプ・シミュレーター → コーラス)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw (Pre Amp Switch)	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Type (Pre Amp Type)		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半～80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。 I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。 80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Volume (Pre Amp Volume)	0 ～ 127	アンプの音量と歪み具合
Master (Pre Amp Master)	0 ～ 127	プリ・アンプ全体の音量
Gain (Pre Amp Gain)	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合
Bass (Pre Amp Bass)	0 ～ 127	
Middle (Pre Amp Middle)	0 ～ 127	低域／中域／高域の音質 Pre Amp Type が「MatchDrive」のとき、Middle は無効です。
Treble (Pre Amp Treble)	0 ～ 127	

パラメーター	設定値	説明
Speaker Sw (Speaker Switch)	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン)／通さないか(オフ) を選びます。
SpType (Speaker Type)		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4 コンデンサー
Cho Switch (Chorus Switch)	OFF、ON	コーラスのオン/オフ
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ～ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ～ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ～ 127	揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100:0W ～ D0:100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

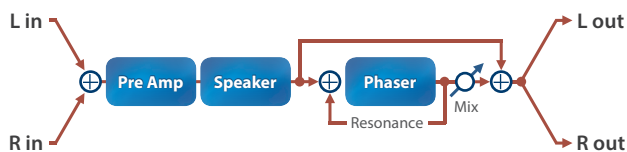
58 GTAMPSIM → FLNGR (ギター・アンプ・シミュレーター → フランジャー)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw (Pre Amp Switch)	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Type (Pre Amp Type)		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半～80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Volume (Pre Amp Volume)	0 ～ 127	アンプの音量と歪み具合
Master (Pre Amp Master)	0 ～ 127	プリ・アンプ全体の音量
Gain (Pre Amp Gain)	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合
Bass (Pre Amp Bass)	0 ～ 127	低域／中域／高域の音質 Pre Amp Type が「MatchDrive」のとき、Middle は無効です。
Middle (Pre Amp Middle)	0 ～ 127	
Treble (Pre Amp Treble)	0 ～ 127	

パラメーター	設定値	説明
Speaker Sw (Speaker Switch)	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン)／通さないか(オフ) を選択
SpType (Speaker Type)		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4 コンデンサー
Flg Switch (Flanger Switch)	OFF、ON	フランジャーのオン/オフ
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ～ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ～ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flg Depth (Flanger Depth)	0 ～ 127	揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ～ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100: 0W ～ D0: 100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ～ 127	出力音量

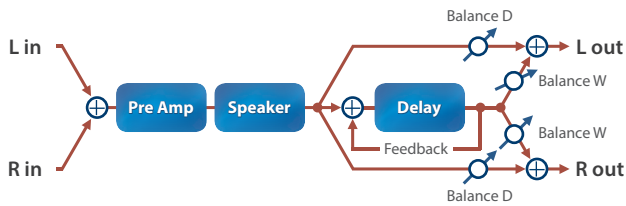
59 GTAMPSIM → PHASER (ギター・アンプ・シミュレーター → フェイザー)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw (Pre Amp Switch)	OFF、ON	アンプのオン/オフ
Type (Pre Amp Type)		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。70 年代後半～80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Volume (Pre Amp Volume)	0 ～ 127	アンプの音量と歪み具合
Master (Pre Amp Master)	0 ～ 127	プリ・アンプ全体の音量
Gain (Pre Amp Gain)	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合
Bass (Pre Amp Bass)	0 ～ 127	低域／中域／高域の音質 Pre Amp Type が「MATCH DRIVE」のとき、Middle は無効です。
Middle (Pre Amp Middle)	0 ～ 127	
Treble (Pre Amp Treble)	0 ～ 127	

パラメーター	設定値	説明
Speaker Sw (Speaker Switch)	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン)／通さないか(オフ) を選択
SpType (Speaker Type)		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MTL STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	2-STACK	大型 2 段重ね 12 x 4 コンデンサー
	3-STACK	大型 3 段重ね 12 x 4 コンデンサー
Phs Switch (Phaser Switch)	OFF、ON	フェイザーのオン/オフ
Phs Hz (Phaser Rate (Hz))	0.05 ～ 10.00 [Hz]	うねりの周期
Phs Manual (Phaser Manual)	0 ～ 127	音をうねらせる基準周波数
Phs Depth (Phaser Depth)	0 ～ 127	うねりの深さ
Phs Reso (Phaser Resonance)	0 ～ 127	フィードバック量
Phs Mix (Phaser Mix)	0 ～ 127	位相をずらした音の音量
Level	0 ～ 127	出力音量

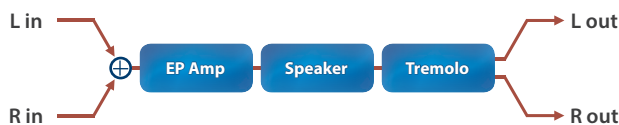
60 GTAMPSIM → DELAY (ギター・アンプ・シミュレーター → ディレイ)



パラメーター	設定値	説明
Pre Amp Sw (Pre Amp Switch)	OFF、ON	アンプのオン／オフ
Type (Pre Amp Type)		ギター・アンプの種類
	JC-120	ローランド JC-120 のサウンドをモデリングしています。
	CLEAN TWIN	Fender の Twin Reverb をモデリングしています。
	MATCH DRIVE	Matchless D/C-30 の左インプットに入力したサウンドをモデリングしています。 ブルース・ロックからフュージョンまで幅広く使われている真空管アンプのサウンドが得られます。
	BG LEAD	MESA/Boogie コンボ・アンプのリード・サウンドをモデリングしています。 70 年代後半～80 年代を代表する真空管アンプのサウンドです。
	MS1959I	Marshall 1959 のインプット I に入力したサウンドをモデリングしています。 ハード・ロックに適したトレブリーなサウンドです。
	MS1959II	Marshall 1959 のインプット II に入力したサウンドをモデリングしています。
	MS1959I+II	Marshall 1959 のインプット I と II をパラレル接続したサウンドをモデリングしています。I よりも低域が強調されたサウンドです。
	SLDN LEAD	Soldano SLO-100 をモデリングしています。80 年代の代表的なサウンドです。
	METAL 5150	Peavey EVH5150 のリード・チャンネルをモデリングしています。
	METAL LEAD	ヘビーなリフを演奏するのに最適なディストーション・サウンドです。
	OD-1	ボス OD-1 のサウンドをモデリングしています。 甘くマイルドな歪みが得られます。
	OD-2 TURBO	ボス OD-2 風の、ハイ・ゲインなオーバードライブ・サウンドです。
	DISTORTION	オーソドックスなディストーション・サウンドです。
	FUZZ	倍音成分が豊かなファズ・サウンドです。
Volume (Pre Amp Volume)	0 ～ 127	アンプの音量と歪み具合
Master (Pre Amp Master)	0 ～ 127	プリ・アンプ全体の音量
Gain (Pre Amp Gain)	LOW、MIDDLE、HIGH	プリ・アンプの歪み具合
Bass (Pre Amp Bass)	0 ～ 127	低域／中域／高域の音質 Pre Amp Type が「MATCH DRIVE」のとき、Middle は無効です。
Middle (Pre Amp Middle)	0 ～ 127	
Treble (Pre Amp Treble)	0 ～ 127	

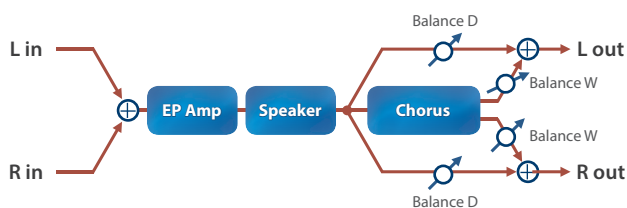
パラメーター	設定値	説明
Speaker Sw (Speaker Switch)	OFF、ON	スピーカーを通すか(オン)／通さないか(オフ) を選択
SpType (Speaker Type)		キャビネット スピーカーの径 (インチ) と個数 マイク
	SMALL 1	小型後面開放型 10 ダイナミック
	SMALL 2	小型後面開放型 10 ダイナミック
	MIDDLE	後面開放型 12 x 1 ダイナミック
	JC-120	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN1	後面開放型 12 x 2 ダイナミック
	BUILT-IN2	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN3	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN4	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BUILT-IN5	後面開放型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK1	密閉型 12 x 2 コンデンサー
	BG STACK2	大型密閉型 12 x 2 コンデンサー
	MS STACK1	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
	MS STACK2	大型密閉型 12 x 4 コンデンサー
Dly Switch (Delay Switch)	OFF、ON	ディレイのオン／オフ
	Dly Time (Delay Time)	1 ～ 1300 [msec] 原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ～ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス：逆相)
	Dly HF (Delay HF Damp)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz] ディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS：カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100:0W ～ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
	Level	0 ～ 127 出力音量

61 EP → TREMOLO (EP アンプ・シミュレーター → トレモロ)



パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70 年代後半から 80 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	WURLY	60 年代の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Trm Switch (Tremolo Switch)	OFF, ON	トレモロのオン/オフ
Trm Sync (Tremolo Speed (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Trm Hz (Tremolo Speed (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	トレモロ効果の周期
Trm Note (Tremolo Speed (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Trm Depth (Tremolo Depth)	0 ~ 127	トレモロ効果の深さ
Trm Duty (Tremolo Duty)	-10 ~ +10	トレモロをかける LFO 波形のデューティーを設定します。
Sp Type (Speaker Type)	LINE, OLD, NEW, WURLY, TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch (Overdrive Switch)	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain (Overdrive Gain)	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合
Level	0 ~ 127	出力音量

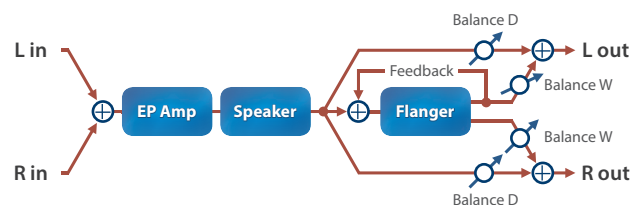
62 EP → CHORUS (EP アンプ・シミュレーター → コーラス)



パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70 年代後半から 80 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Cho Switch (Chorus Switch)	OFF, ON	コーラスのオン/オフ
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)

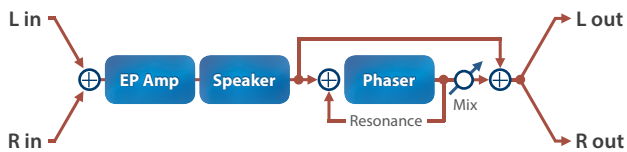
パラメーター	設定値	説明
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100 : 0W ~ D0 : 100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Sp Type (Speaker Type)	LINE, OLD, NEW, WURLY, TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch (Overdrive Switch)	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain (Overdrive Gain)	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合
Level	0 ~ 127	出力音量

63 EP → FLANGER (EP アンプ・シミュレーター → フランジャー)



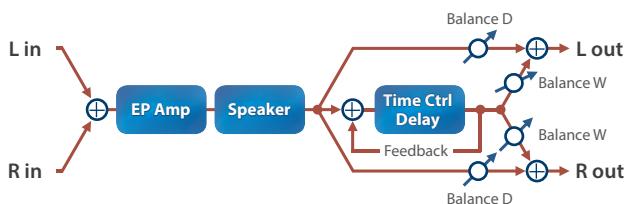
パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70 年代後半から 80 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Flg Switch (Flanger Switch)	OFF, ON	フランジャーのオン/オフ
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flg Sync (Flanger Rate (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flg Note (Flanger Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Flg Depth (Flanger Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100 : 0W ~ D0 : 100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Sp Type (Speaker Type)	LINE, OLD, NEW, WURLY, TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch (Overdrive Switch)	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain (Overdrive Gain)	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合
Level	0 ~ 127	出力音量

64 EP → PHASER (EP アンプ・シミュレーター → フェイザー)



パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70 年代後半から 80 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Phs Switch (Phaser Switch)	OFF, ON	フェイザーのオン/オフ
Phs Sync (Phaser Rate sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Phs Hz (Phaser Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Phs Note (Phaser Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	うねりの周期
Phs Manual (Phaser Manual)	0 ~ 127	音をうねらせる基準周波数
Phs Depth (Phaser Depth)	0 ~ 127	うねりの深さ
Phs Reso (Phaser Resonance)	0 ~ 127	フィードバック量
Phs Mix (Phaser Mix)	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Sp Type (Speaker Type)	LINE, OLD, NEW, WURLY, TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch (Overdrive Switch)	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain (Overdrive Gain)	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合
Level	0 ~ 127	出力音量

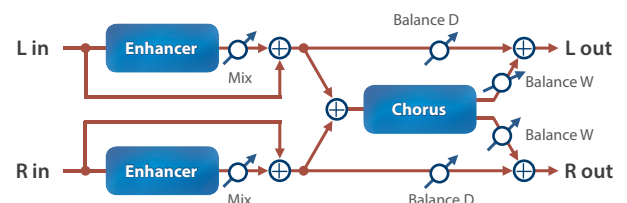
65 EP → DELAY (EP アンプ・シミュレーター → デイレイ)



パラメーター	設定値	説明
Type		アンプの種類
	OLDCASE	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	NEWCASE	70 年代後半から 80 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Dly Switch (Delay Switch)	OFF, ON	デイレイのオン/オフ
Dly Sync (Delay Time sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)

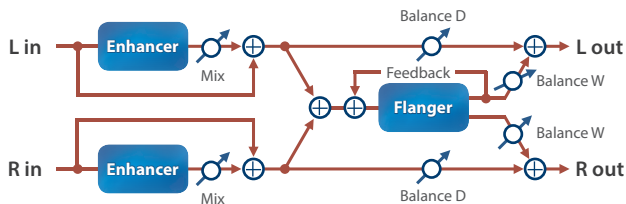
パラメーター	設定値	説明
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 1300 [msec]	原音が鳴ってからデイレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly Accel (Delay Accel)	0 ~ 15	デイレイ・タイムを変化させた場合、現在のデイレイ・タイムから指定のデイレイ・タイムに達するまでの速さ。 デイレイ・タイムと同時にピッチ変化の速さも変わります。
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	デイレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	デイレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100: 0W ~ D0: 100W	デイレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Sp Type (Speaker Type)	LINE, OLD, NEW, WURLY, TWIN	スピーカーの種類 LINE のときはスピーカーを通しません。
OD Switch (Overdrive Switch)	OFF, ON	オーバードライブのオン/オフ
OD Gain (Overdrive Gain)	0 ~ 127	オーバードライブの入力レベル
OD Drive (Overdrive Drive)	0 ~ 127	歪み具合
Level	0 ~ 127	出力音量

66 ENHANCER → CHORUS (エンハンサー → コーラス)



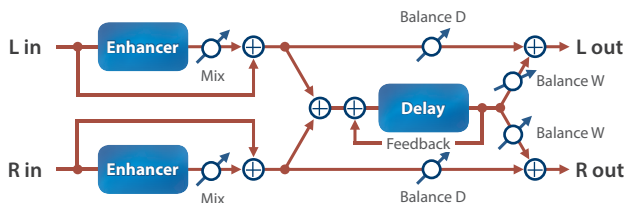
パラメーター	設定値	説明
Enh Sens (Enhancer Sens)	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Enh Mix (Enhancer Mix)	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100: 0W ~ D0: 100W	コーラスを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

67 ENHANCER → FLNGR (エンハンサー → フランジャー)



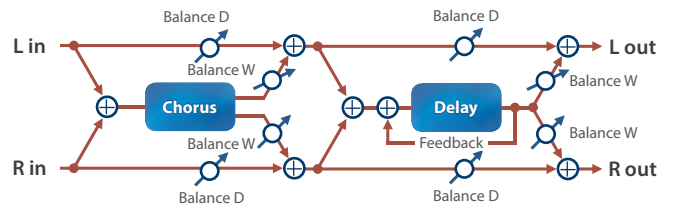
パラメーター	設定値	説明
Enh Sens (Enhancer Sens)	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Enh Mix (Enhancer Mix)	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flg Sync (Flanger Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flg Note (Flanger Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
FLG_DEPTH (Flanger Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

68 ENHANCER → DELAY (エンハンサー → ディレイ)



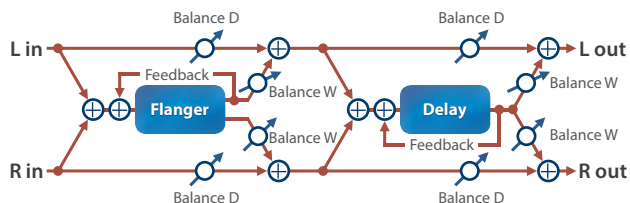
パラメーター	設定値	説明
Enh Sens (Enhancer Sens)	0 ~ 127	エンハンサーのかかり具合
Enh Mix (Enhancer Mix)	0 ~ 127	生成された倍音の音量
Dly Sync (Delay Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100:0W ~ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

69 CHORUS → DELAY (コーラス → ディレイ)



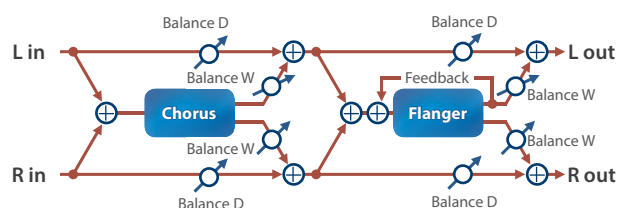
パラメーター	設定値	説明
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Dly Sync (Delay Time (sync switch))	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。⇒ [Tempo] (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100:0W ~ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

70 FLANGER → DELAY (フランジャー → ディレイ)



パラメーター	設定値	説明
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flg Sync (Flanger Rate sync switch)	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	揺れの周期
Flg Note (Flanger Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Flg Depth (Flanger Depth)	0 ~ 127	揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とフランジャー音 (W) の音量バランス
Dly Sync (Delay Time sync switch)	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の、高域成分をカットする周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly Bal (Delay Balance)	D100:0W ~ D0:100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

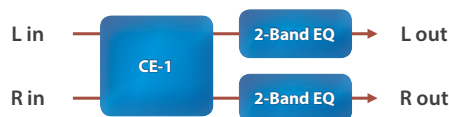
71 CHORUS → FLANGER (コーラス → フランジャー)



パラメーター	設定値	説明
Cho PreDly (Chorus Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからコーラス音が鳴るまでの遅延時間
Cho Sync (Chorus Rate sync switch)	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Cho Hz (Chorus Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	コーラス音の揺れの周期
Cho Note (Chorus Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Cho Depth (Chorus Depth)	0 ~ 127	コーラス音の揺れの深さ
Cho Bal (Chorus Balance)	D100:0W ~ D0:100W	原音 (D) とコーラス音 (W) の音量バランス
Flg PreDly (Flanger Pre Delay)	0.0 ~ 100 [msec]	原音が鳴ってからフランジャー音が鳴るまでの遅延時間
Flg Sync (Flanger Rate sync switch)	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ [Tempo] (P.7)
Flg Hz (Flanger Rate (Hz))	0.05 ~ 10.00 [Hz]	フランジャー音の揺れの周期
Flg Note (Flanger Rate (note))	音符 ⇒ [音符] (P.77)	
Flg Depth (Flanger Depth)	0 ~ 127	フランジャー音の揺れの深さ
Flg Fbk (Flanger Feedback)	-98 ~ +98 [%]	フランジャー音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Flg Bal (Flanger Balance)	D100:0W ~ D0:100W	フランジャーを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

72 CE-1 (コーラス)

BOSS 往年のコーラス・エフェクターの名機 CE-1 のモデリングです。アナログ独特の温かみのあるコーラス・サウンドです。



パラメーター	設定値	説明
Intensity	0 ~ 127	コーラスのかかり具合
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅/減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅/減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

73 SBF-325 (フランジャー)

ローランドのアナログ・フランジヤー SBF-325 を再現したエフェクトです。
3 種類のフランジング効果（原音に金属的なうねりを加える）とコーラ
ス風の効果が得られます。



パラメーター	設定値	説明
Mode		フランジング効果の種類
	FL1	一般的なモノ・フランジヤー
	FL2	原音のステレオ定位が活かせるステレオ・フランジヤー
	FL3	より強烈な効果が得られるクロス・ミックス・フランジヤー
	CHO	コーラス効果
Rate Sync (Rate (sync switch))	OFF, ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Rate Hz (Rate (Hz))	0.02 ～ 5.00 [Hz]	
Rate Note (Rate (note))	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	フランジヤー音の揺れの周期
Depth	0 ～ 127	フランジヤー音の揺れの深さ
Manual	0 ～ 127	フランジング効果をかける基準周波数
Feedback	0 ～ 127	フランジング効果の増強具合 Mode が CHO のとき、この設定は無効になります。
R Mod Phase (CH-R Modulation Phase)	NORM、INV	右チャンネルの揺れの位相 通常はノーマル (NORM) にします。 インバート (INV) にすると、右チャンネルの揺れ (上昇／下降) が反転します。
L Phase (CH-L Phase)		原音にフランジング音を混ぜるときの位相 NORM : 正相 INV : 逆相
R Phase (CH-R Phase)		
Level	0 ～ 127	出力音量

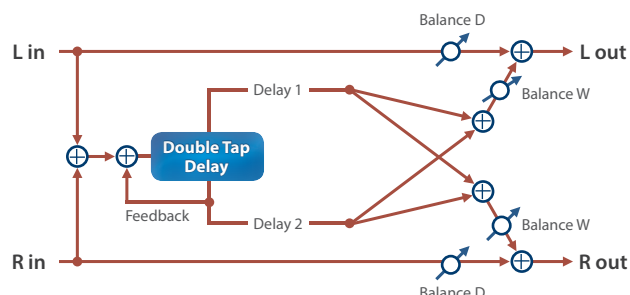
74 SDD-320 (ディメンション D)

ローランドの DIMENSION D (SDD-320) のモデリングです。さわやかなコーラス・サウンドです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	1、2、3、4、 1+4、2+4、3+4	モードを切り替えます。
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

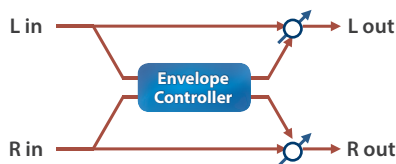
75 2TAP PAN DELAY (2タップ・パン・ディレイ)



パラメーター	設定値	説明
Dly Sync (Delay Time sync switch))	OFF、ON	ONのとき、ディレイがテンポに同期します。
Dly Msec (Delay Time (msec))	1 ~ 2600 [msec]	原音が鳴ってから 2 番目のディレイ音が鳴るまでの遅延時間
Dly Note (Delay Time (note))	音符 → 「音符」 (P.77)	
Dly Fbk (Delay Feedback)	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
Dly HF (Delay HF Damp)	200、250、315、 400、500、630、 800、1000、1250、 1600、2000、2500、 3150、4000、5000、 6300、8000、 BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする 基準周波数 (BYPASS: カットしない)
Dly 1 Pan (Delay 1 Pan)	L64 ~ 63R	ディレイ 1 の定位
Dly 2 Pan (Delay 2 Pan)	L64 ~ 63R	ディレイ 2 の定位
Dly 1 Level (Delay 1 Level)	0 ~ 127	ディレイ 1 の音量
Dly 2 Level (Delay 2 Level)	0 ~ 127	ディレイ 2 の音量
Low Gain	-15 ~ +15 [dB]	低域の増幅／減衰量
High Gain	-15 ~ +15 [dB]	高域の増幅／減衰量
Balance	D100: 0W ~ D0: 100W	ディレイを通した音 (W) と通さない音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量

76 TRANSIENT (トランジエント)

音の立ち上がりかたや、減衰のしかたを制御できるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Attack	-50 ~ +50	音の立ち上がりかた。 値を大きくすると音の立ち上がりかたがきつくなり、値を小さくすると緩やかになります。
Release	-50 ~ +50	音の減衰のしかた。 値を大きくすると音が残るようになり、値を小さくすると音が速やかに切れるようになります。
Out Gain (Output Gain)	-24 ~ +12 [dB]	出力ゲイン
Sens (Sense)	LOW, MID, HIGH	音の立ち上がりの検出の機敏さ
Level	0 ~ 127	出力音量

77 MID-SIDE EQ (ミッド・サイド・イコライザー)

左右の信号の、位相が近いものとそうでないもので、異なった音質に調整できるエフェクトです。

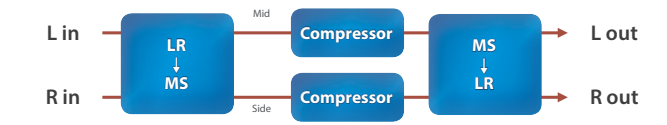


パラメーター	設定値	説明
M EQ Switch	OFF, ON	入力の左右の位相が近いもの (同相) の音質調整をするかどうかを切り替えます。
M In G (M Input Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	入力の左右の位相が近いもの (同相) の音量
M Low F (M Low Frequency)	20, 25, 31, 40, 50, 63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400 [Hz]	低域の基準周波数
M Low G (M Low Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	低域の増幅／減衰量
M Mid1 F (M Mid1 Frequency)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]	中域 1 の基準周波数
M Mid1G (M Mid1 Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 1 の増幅／減衰量
M Mid1 Q	0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
M Mid2 F (M Mid2 Frequency)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]	中域 2 の基準周波数
M Mid2G (M Mid2 Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 2 の増幅／減衰量
M Mid2 Q	0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
M Mid3 F (M Mid3 Frequency)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]	中域 3 の基準周波数

パラメーター	設定値	説明
M Mid3G (M Mid3 Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 3 の増幅／減衰量
M Mid3 Q	0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0	中域 3 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
M High F (M High Frequency)	2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, 10000, 12500, 16000 [Hz]	高域の基準周波数
M HighG (M High Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	高域の増幅／減衰量
S EQ Switch	OFF, ON	入力の左右の位相が遠いもの (逆相) の音質調整をするかどうかを切り替えます。
S In G (S Input Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	入力の左右の位相が遠いもの (逆相) の音量
S Low F (S Low Frequency)	20, 25, 31, 40, 50, 63, 80, 100, 125, 160, 200, 250, 315, 400 [Hz]	低域の基準周波数
S Low G (S Low Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	低域の増幅／減衰量
S Mid1 F (S Mid1 Frequency)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]	中域 1 の基準周波数
S Mid1G (S Mid1 Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 1 の増幅／減衰量
S Mid1 Q	0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0	中域 1 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
S Mid2 F (S Mid2 Frequency)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]	中域 2 の基準周波数
S Mid2G (S Mid2 Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 2 の増幅／減衰量
S Mid2 Q	0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0	中域 2 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
S Mid3 F (S Mid3 Frequency)	200, 250, 315, 400, 500, 630, 800, 1000, 1250, 1600, 2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000 [Hz]	中域 3 の基準周波数
S Mid3G (S Mid3 Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	中域 3 の増幅／減衰量
S Mid3 Q	0.5, 1.0, 2.0, 4.0, 8.0	中域 3 の幅 値を大きくするほど幅が狭くなります。
S High F (S High Frequency)	2000, 2500, 3150, 4000, 5000, 6300, 8000, 10000, 12500, 16000 [Hz]	高域の基準周波数
S HighG (S High Gain)	-12.00 ~ +12.00 [dB]	高域の増幅／減衰量
Level	0 ~ 127	出力音量

78 MID-SIDE COMP (ミッド・サイド・コンプレッサー)

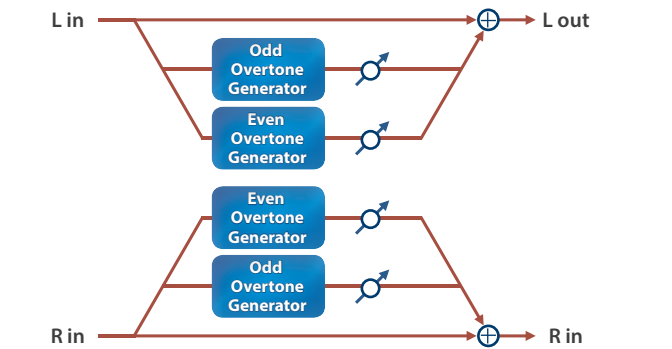
左右の信号の、位相が近いものとそうでないもので、異なった音量感に調整できるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
M Comp Sw (M Comp Switch)	OFF、ON	入力の左右の位相が近いもの（同相）の音量感の調整をするかどうかを切り替えます。
M Attack	0 ～ 124	Threshold を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間
M Release	0 ～ 124	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
M Thres (M Threshold)	-60 ～ 0 [dB]	圧縮を始める音量レベル
M Knee	0 ～ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 THRES より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
M Ratio	1:1、1.5:1、2:1、4:1、16:1、INF:1	圧縮比
M Gain (M Post Gain)	0 ～ +18 [dB] -	出力する音のレベル
S Comp Sw (S Compressor Switch)	OFF、ON	入力の左右の位相が遠いもの（逆相）の音量感の調整をするかどうかを切り替えます。
S Attack	0 ～ 124	Threshold を超える入力があったときに、音量を圧縮するまでの時間
S Release	0 ～ 124	圧縮がかかっている状態から、入力が Threshold より小さくなったときに、圧縮をやめるまでの時間
S Thres (S Threshold)	-60 ～ 0 [dB]	圧縮を始める音量レベル
S Knee	0 ～ 30 [dB]	圧縮されていない状態から、かかり始めるまでの推移をなめらかにする機能 THRES より手前から徐々に圧縮していきます。値を大きくするほどなめらかになります。
S Ratio	1:1、1.5:1、2:1、4:1、16:1、INF:1	圧縮比
S Gain (S Post Gain)	0 ～ +18 [dB]	出力する音のレベル
Level	0 ～ 127	出力音量

79 TONE FATTENER (トーン・ファッター)

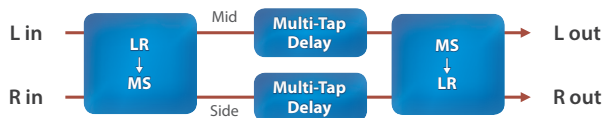
特殊な歪みをかけて、倍音を加えることで、音に厚みを加えるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Odd Level	0 ～ 400 [%]	値を上げると、奇数次倍音を加えていきます。
Even Level	0 ～ 400 [%]	値を上げると、偶数次倍音を加えていきます。
Level	0 ～ 127	出力音量

80 M/S DELAY (ミッド・サイド・ディレイ)

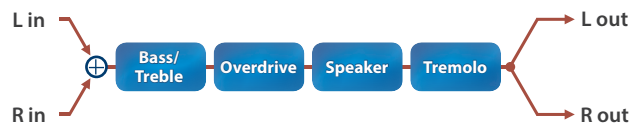
左右の信号の、位相が近いもの(同相)とそうでないもの(逆相)で、異なる遅延量のディレイをかけられるエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
MD Level	0 ~ 127	入力の左右の位相が近いもの(同相)のディレイの音量
MD Mode	2TAP、3TAP、4TAP	入力の左右の位相が近いもの(同相)のディレイの分割数
MD Tm Sync	OFF、ON	ONのとき、ディレイがテンポに同期します。
MD Time	1 ~ 1300	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
MD Time Nt	音符 → 「音符」 (P.77)	
MD Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
MD HFDamp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
MD1 Pan	L64 ~ 63R	1 番目のディレイ音の定位
MD2 Pan	L64 ~ 63R	2 番目のディレイ音の定位
MD3 Pan	L64 ~ 63R	3 番目のディレイ音の定位
MD4 Pan	L64 ~ 63R	4 番目のディレイ音の定位
SD Level	0 ~ 127	入力の左右の位相が遠いもの(逆相)のディレイの音量
SD Mode	2TAP、3TAP、4TAP	入力の左右の位相が遠いもの(逆相)のディレイの分割数
SD Tm Sync	OFF、ON	ONのとき、ディレイがテンポに同期します。
SD Time	1 ~ 1300	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間
SD Time Nt	音符 → 「音符」 (P.77)	
SD Feedback	-98 ~ +98 [%]	ディレイ音を入力に戻す割合 (マイナス: 逆相)
SD HFDamp	200、250、315、400、500、630、800、1000、1250、1600、2000、2500、3150、4000、5000、6300、8000、BYPASS [Hz]	入力に戻すディレイ音の高域成分をカットする基準周波数 (BYPASS : カットしない)
SD1 Pan	L64 ~ 63R	1 番目のディレイ音の定位
SD2 Pan	L64 ~ 63R	2 番目のディレイ音の定位
SD3 Pan	L64 ~ 63R	3 番目のディレイ音の定位
SD4 Pan	L64 ~ 63R	4 番目のディレイ音の定位
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、MD Level、MD Feedback、SD Level、SD Feedback	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

81 EP AMP SIM (RD EP アンプ・シミュレーター)

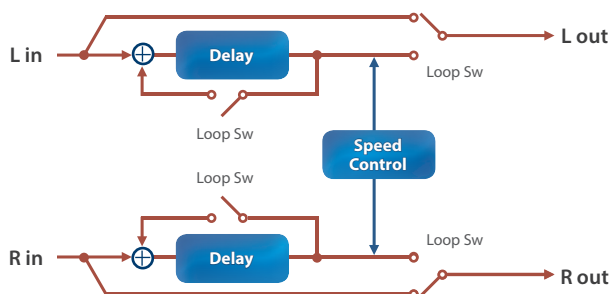
RD シリーズの SuperNatural E.Piano 用に開発されたエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Bass	-50 ~ +50	低音の増幅/減衰量
Treble	-50 ~ +50	高音の増幅/減衰量
Tremolo Sw	OFF、ON	トレモロのオン/オフ
Type		トレモロの種類
	OLD CASE MO	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド (モノ)
	OLD CASE ST	70 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド (ステレオ)
	NEW CASE	70 年代後半から 80 年代前半の定番 E. ピアノ・サウンド
	DYNO	定番の改造 E. ピアノ・タイプ
	WURLY	60 年代の定番 E. ピアノ・タイプ
Speed Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → 「Tempo」 (P.7)
Speed	0.05 ~ 10.00 [Hz]	トレモロ効果の周期
Speed Nt	音符 → 「音符」 (P.77)	
Depth	0 ~ 127	トレモロ効果の深さ
Shape	0 ~ 20	トレモロの波形を調節します。
AMP	OFF、ON	スピーカーと歪みのオン/オフ
Speaker	LINE、OLD、NEW、WURLY、TWIN	スピーカーの種類。LINE のときはスピーカーを通しません。
Drive	0 ~ 127	歪み具合 音量も変化します。
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Bass、Treble、Tremolo Sw、Speed、Depth	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

82 DJFX LOOPER (DJFX ルーパー)

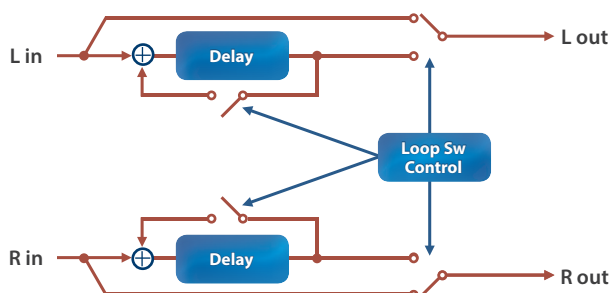
入力音を短い周期でループさせます。入力音の再生方向と再生スピードを変えて、ターンテーブルを触っているような効果を付加します。



パラメーター	設定値	説明
Length	230 ~ 23 (not straight)	ループの長さを設定。
Speed	-1.00 ~ +1.00	再生方向と再生スピードを調節。 -方向：逆再生 +方向：通常再生 0：再生停止 値が 0 から離れるほど、再生速度が速くなります。
Loop Sw	OFF、ON	音が鳴っているときに ON にすると、そのとき点の音をループ。OFF にすると、ループ解除。 ※ ON の状態でエフェクトが呼び出された場合、ループを動作させるには、このパラメーターを一度 OFF にしてから再び ON にする必要があります。
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Length、Speed、Loop Sw	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

83 BPM LOOPER (BPM ルーパー)

入力音を短い周期でループさせます。リズムに合わせて、自動的にループをオン/オフさせることができます。

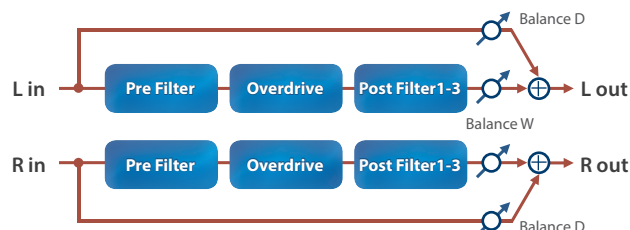


パラメーター	設定値	説明
Length	230 ~ 23 (not straight)	ループの長さを設定。
Rate Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 → [Tempo] (P.7)
Rate	0.05 ~ 10.00 [Hz]	ループを自動的にオン/オフする周期
Rate Note	音符 → [音符] (P.77)	
Timing	1 ~ 8	周期の中で、自動的にループが始まるタイミング (8 分割したタイミングの何番目で鳴るか)
Lenth	1 ~ 8	周期の中で、自動的にループが終わる長さ (8 分割した長さの何回分鳴るか)
Loop Mode	OFF、AUTO、ON	AUTO のとき、ループをリズムに合わせて自動的にオン/オフします。 ※ オンの状態でエフェクトが呼び出された場合、ループを動作させるには、このパラメーターをいったん ON 以外にする必要があります。

パラメーター	設定値	説明
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Length、Rate (Hz)	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

84 SATURATOR (サチュレーター)

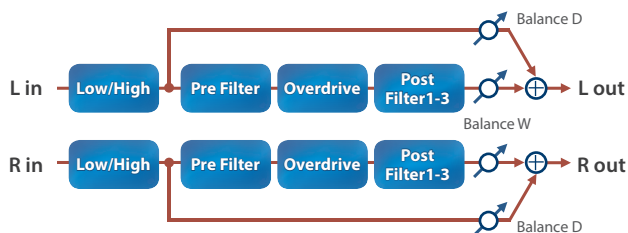
オーバードライブとフィルターを組み合わせたエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Pre Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理前の、フィルターの種類 THRU ：フィルターをかけない LPF ：指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF ：指定した周波数より高い音を通すフィルター LSV ：指定した周波数より低い音を増幅／減衰するフィルター HSV ：指定した周波数より高い音を増幅／減衰するフィルター
Pre Freq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理前の、フィルターの作用する周波数
Pre Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Drive	0.0 ~ 48.0 [dB]	歪みの強さ
Post1 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理後の、フィルター 1 の種類
Post1Frq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 1 の作用する周波数
Post1Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Post2 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理後の、フィルター 2 の種類
Post2Frq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 2 の作用する周波数
Post2Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Post3 Type	THRU、LPF、HPF、BPF、PKG	歪みの処理後の、フィルター 3 の種類 THRU ：フィルターをかけない LPF ：指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF ：指定した周波数より高い音を通すフィルター BPF ：指定した周波数だけを通すフィルター PKG ：指定した周波数を増幅／減衰するフィルター
Post3Frq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 3 の作用する周波数
Post3Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	PKG タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Post3 Q	0.5 ~ 16.0	フィルターに作用する周波数の幅
Sense	-60.0 ~ 0.0 [dB]	歪みをかけたとき、この設定値より音が大きくならないようにします。
PostGain	-48.0 +12.0 [dB]	歪みの処理後のゲイン
Balance	D100:0W ~ D0:100W	エフェクト音 (W) とドライ音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Drive、Drive Balance、Level	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

85 W SATURATOR (ワーム・サチュレーター)

サチュレーターのバリエーションで、より暖かみのある音が特長です。

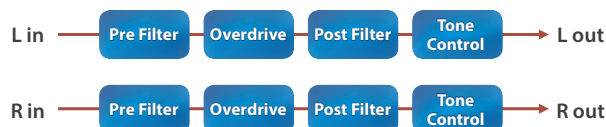


パラメーター	設定値	説明
LowFreq	20 ~ 16000 [Hz]	入力フィルター (低域) 指定した周波数より低い音を増幅／減衰します。
LowGain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	増幅／減衰させる量
Hi Slope	THRU、-12dB、-24dB	入力フィルター (高域) 指定した周波数より高い音を増幅／減衰します。
Hi Freq	20 ~ 16000 [Hz]	増幅／減衰させる量
Pre1 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理前の、フィルターの種類 THRU : フィルターをかけない LPF : 指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF : 指定した周波数より高い音を通すフィルター LSV : 指定した周波数より低い音を増幅／減衰するフィルター HSV : 指定した周波数より高い音を増幅／減衰するフィルター
Pre1Freq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理前の、フィルターの作用する周波数
Pre1Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Drive	0.0 ~ 48.0 [dB]	歪みの強さ
Post1 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理後の、フィルター 1 の種類
Post1Frq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 1 の作用する周波数
Post1Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Post2 Type	THRU、LPF、HPF、LSV、HSV	歪みの処理後の、フィルター 2 の種類
Post2Frq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 2 の作用する周波数
Post2Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	LSV / HSV タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Post3 Type	THRU、LPF、HPF、BPF、PKG	歪みの処理後の、フィルター 3 の種類 THRU : フィルターをかけない LPF : 指定した周波数より低い音を通すフィルター HPF : 指定した周波数より高い音を通すフィルター BPF : 指定した周波数だけを通すフィルター PKG : 指定した周波数を増幅／減衰するフィルター
Post3Frq	20 ~ 16000 [Hz]	歪みの処理後の、フィルター 3 の作用する周波数
Post3Gain	-24.0 ~ +24.0 [dB]	PKG タイプを選んだときに、増幅／減衰させる量
Post3 Q	0.5 ~ 16.0	フィルターに作用する周波数の幅
Sense	-60.0 ~ 0.0 [dB]	歪みをかけたとき、この設定値より音が大きくなりすぎないようにします。
PostGain	-48.0 ~ +12.0 [dB]	歪みの処理後のゲイン
Balance	D100:0W ~ D0:100W	エフェクト音 (W) とドライ音 (D) の音量バランス

パラメーター	設定値	説明
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、LowGain、Hi Freq、Drive、Balance、Level	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

86 FUZZ (ファズ)

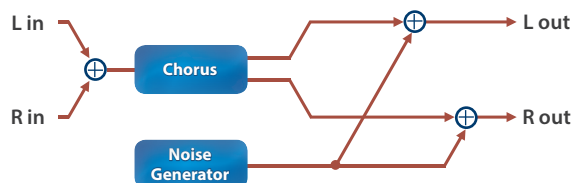
音に倍音を加えて激しく歪ませます。



パラメーター	設定値	説明
Drive	0 ~ 127	歪み具合を調節します。 音量も変わります。
Tone	0 ~ 127	音質
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Drive、Tone	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

87 JUNO-106 CHORUS (JUNO-106 コーラス)

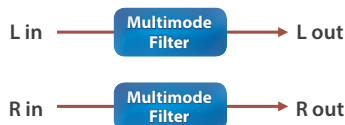
ローランドの JUNO-106 のコーラス部分をモデリングしたものです。



パラメーター	設定値	説明
Mode	I、II、I+II、JX I、JX II	コーラスの種類 I+II : 同時に 2 つのボタンを押したときの状態です。
Noise Lv	0 ~ 127	コーラスによって発生するノイズの音量
Balance	D100:0W ~ D0:100W	エフェクト音 (W) とドライ音 (D) の音量バランス
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Noise Level、Balance	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

88 MM FILTER (マルチ・モード・フィルター)

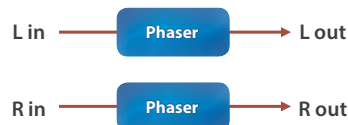
DJパフォーマンスに効果的に使えるよう調整されたフィルターです。



パラメーター	設定値	説明
Type	LPF/HPF、LPF、HPF、BPF	フィルターの種類 LPF/HPF : Filter Tone パラメーターの値に応じてフィルターのタイプが自動的に切り替わります。
Tone	0 ~ 255	フィルターの作用する周波数
Color	0 ~ 255	フィルターの共振レベル 値を大きくするほど作用する周波数付近が強調されます。
Slope	-12、-24、-36 [dB]	フィルターの傾き (減衰特性、1 オクターブあたりの減衰量) -12dB : 緩やか -24dB : 急峻 -36dB : 非常に急峻
Gain	0 ~ +12 [dB]	フィルター出力の増幅量
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Filter Type、Filter Tone、Filter Color、Filter Slope	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

90 SCRIPT 100 (スクリプト 100)

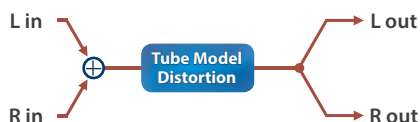
往年のアナログ・フェイザーをシミュレートしたものです。



パラメーター	設定値	説明
Rate Sync	OFF、ON	ON のとき、リズムのテンポに同期します。 ⇒ 「Tempo」 (P.7)
Rate	0.05 ~ 10.00 [Hz]	
Rate Note	音符 ⇒ 「音符」 (P.77)	うねりの周期
Duty	-50 ~ 50	うねりが上昇するときと下降するときの速さの比率を調整します。
Min	0 ~ 100	うねりが到達する下限
Max	0 ~ 100	うねりが到達する上限
Manual Sw	OFF、ON	自動的にうねるのではなく、Manual パラメーターの値に応じてうねりをかけます。
Manual	0 ~ 100	音をうねらせる基準周波数
Resonance	0 ~ 66	フィードバック量
Mix	0 ~ 127	位相をずらした音の音量
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Rate (Hz)、Min、Max、Manual、Resonance、Mix	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

89 HMS DISTORT (HMS ディストーション)

往年のロータリースピーカーの真空管アンプ部分をモデリングした歪みエフェクトです。



パラメーター	設定値	説明
Dist	0 ~ 127	歪みの強さ
Level	0 ~ 127	出力音量
Asgn1 ~ 4	OFF、Distortion	アサイン 1 ~ 4 に割り当てるパラメーターを設定します。

音符

	3連64分音符		64分音符		3連32分音符		32分音符
	3連16分音符		付点32分音符		16分音符		3連8分音符
	付点16分音符		8分音符		3連4分音符		付点8分音符
	4分音符		3連2分音符		付点4分音符		2分音符
	3連全音符		付点2分音符		全音符		3連倍全音符
	付点全音符		倍全音符				